

Ⅱ 成人調査結果

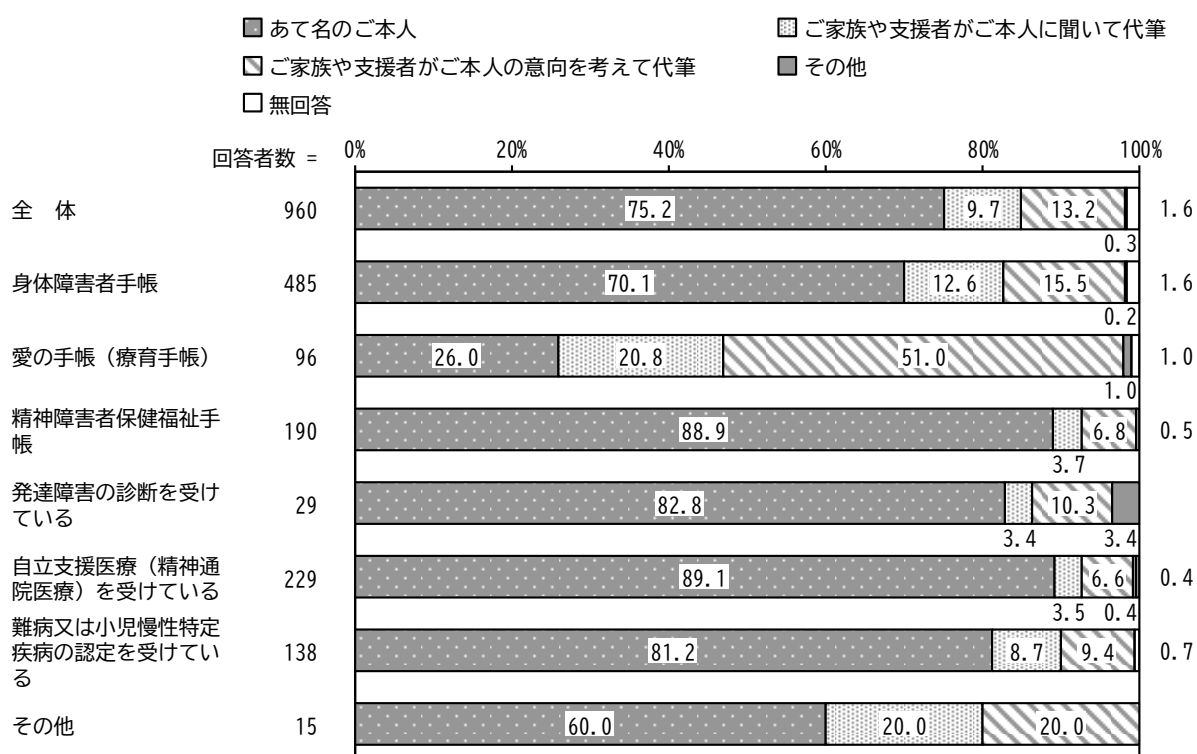
あなた（あて名のご本人）自身について

問1 この調査票にご回答いただくのは、どなたですか。（○印は1つ）

「あて名のご本人」の割合が 75.2%、「ご家族や支援者がご本人に聞いて代筆」の割合が 9.7%、「ご家族や支援者がご本人の意向を考えて代筆」の割合が 13.2%となっています。

【手帳の種類・診断別】

手帳の種類・診断別にみると、精神障害者保健福祉手帳、自立支援医療（精神通院医療）を受けているで「あて名のご本人」、愛の手帳（療育手帳）で「ご家族や支援者がご本人に聞いて代筆」「ご家族や支援者がご本人の意向を考えて代筆」の割合が高くなっています。

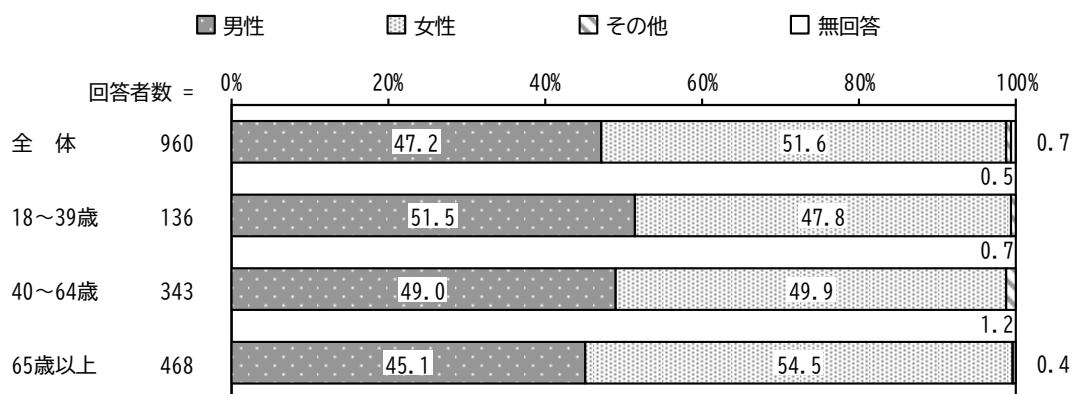


問2 あなたの性別は、次のうちどれですか。(○印は1つ)

「男性」の割合が47.2%、「女性」の割合が51.6%となっています。

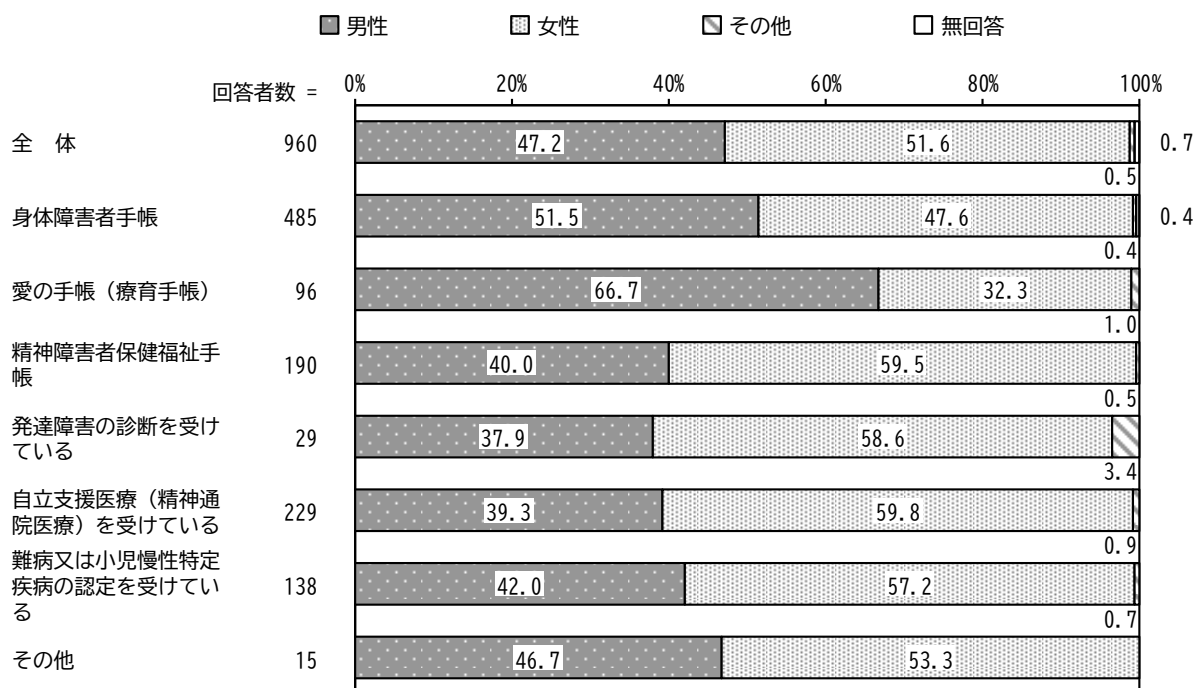
【年齢別】

年齢別にみると、年齢が上がるほど「女性」の割合が高くなっています。



【手帳の種類・診断別】

手帳の種類・診断別にみると、愛の手帳（療育手帳）で「男性」の割合が高くなっています。

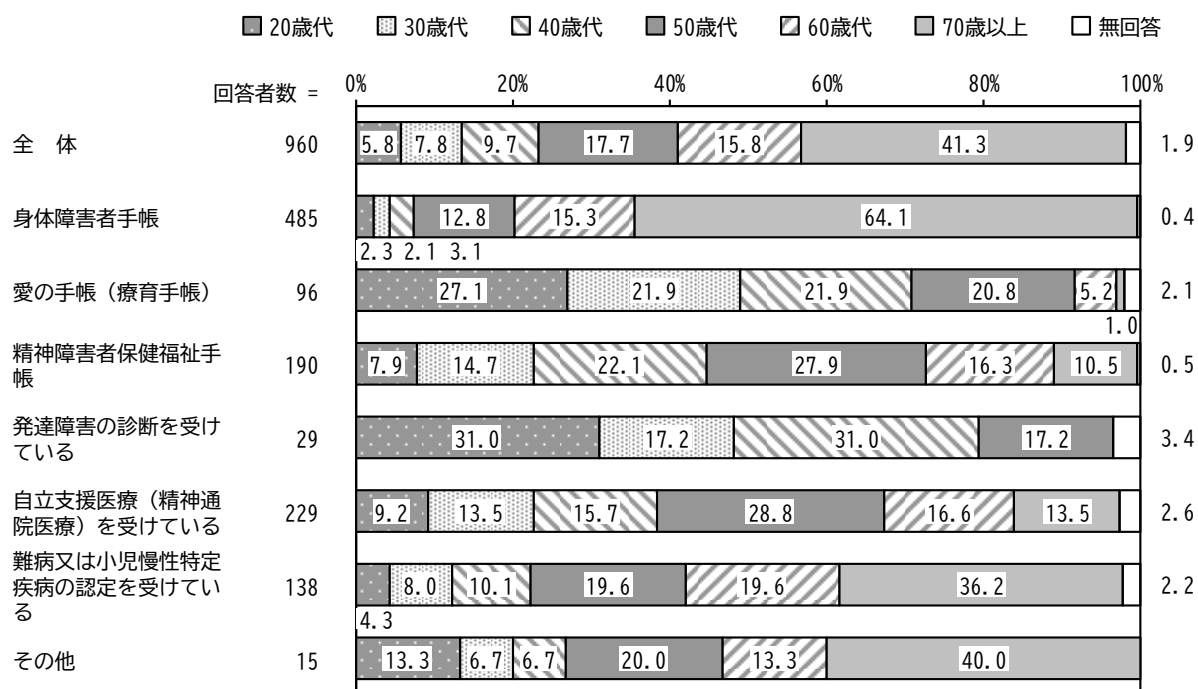


問3 あなたの年齢（令和8年4月1日現在）をお答えください。

「70歳以上」の割合が41.3%と最も高く、次いで「50歳代」の割合が17.7%、「60歳代」の割合が15.8%となっています。

【手帳の種類・診断別】

手帳の種類・診断別にみると、発達障害の診断を受けているで「20歳代」「40歳代」、愛の手帳（療育手帳）で「30歳代」、精神障害者保健福祉手帳、自立支援医療（精神通院医療）を受けているで「50歳代」、身体障害者手帳で「70歳以上」の割合が高くなっています。

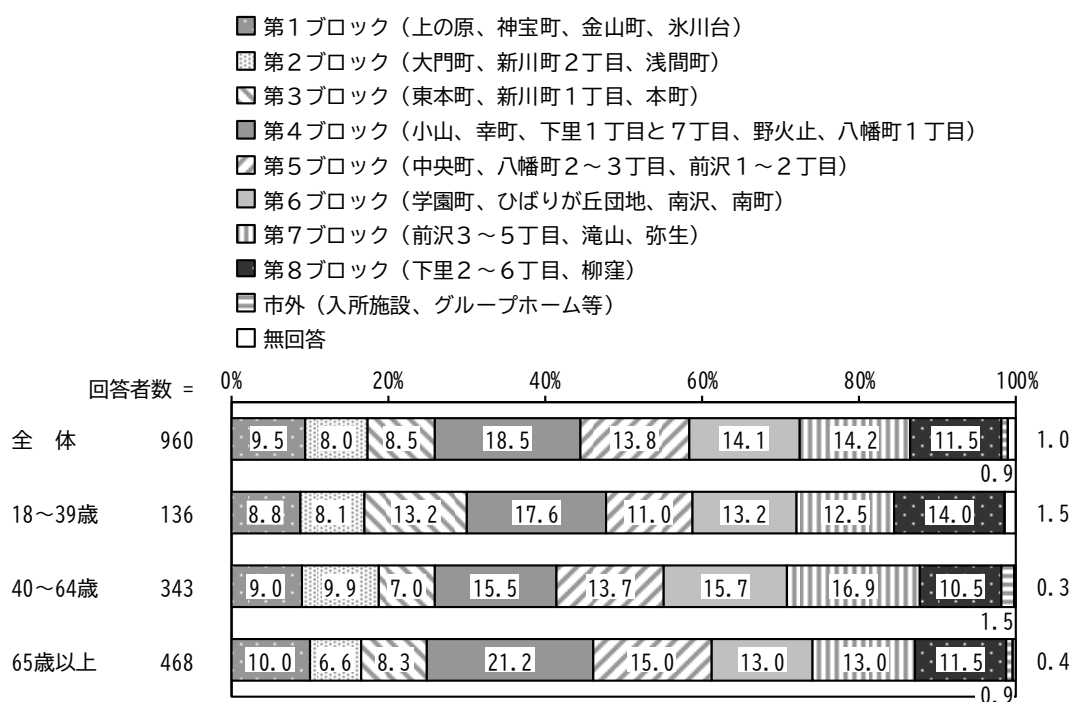


問4 あなたのお住まいをお聞きます。(○印は1つ)

「第4ブロック（小山、幸町、下里1丁目と7丁目、野火止、八幡町1丁目）」の割合が18.5%と最も高く、次いで「第7ブロック（前沢3～5丁目、滝山、弥生）」の割合が14.2%、「第6ブロック（学園町、ひばりが丘団地、南沢、南町）」の割合が14.1%となっています。

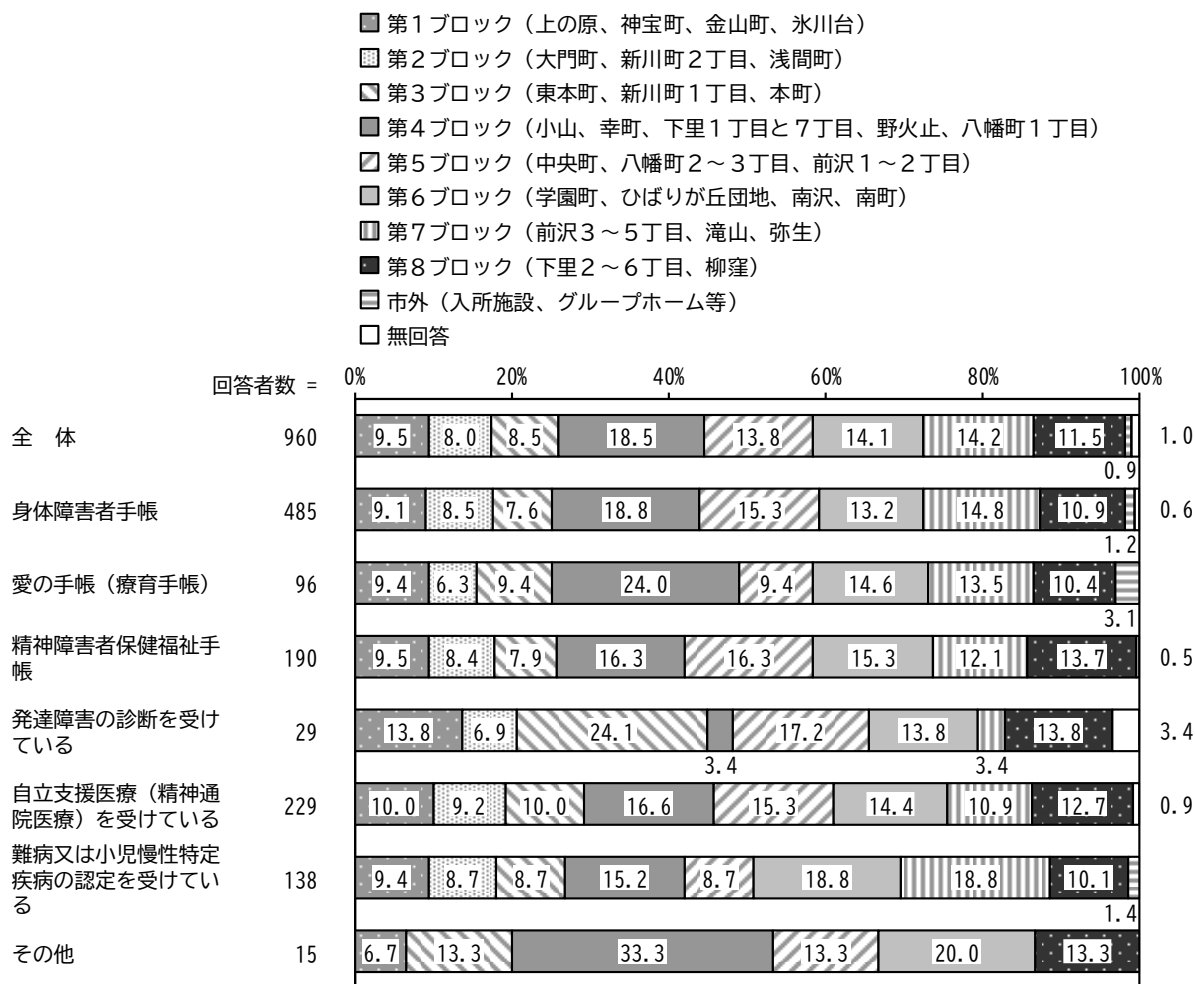
【年齢別】

年齢別にみると、大きな差はみられません。



【手帳の種類・診断別】

手帳の種類・診断別にみると、発達障害の診断を受けているで「第3ブロック（東本町、新川町1丁目、本町）」の割合が高く、難病又は小児慢性特定疾病の認定を受けているで「第5ブロック（中央町、八幡町2～3丁目、前沢1～2丁目）」、発達障害の診断を受けているで「第7ブロック（前沢3～5丁目、滝山、弥生）」の割合が低くなっています。

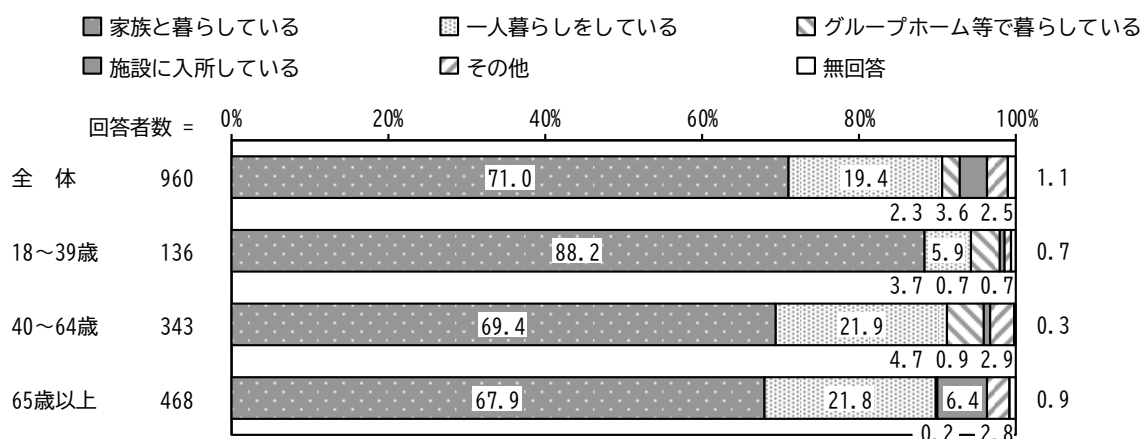


問5 あなたはどのような暮らし方をしていますか。(○印は1つ)

「家族と暮らしている」の割合が71.0%と最も高く、次いで「一人暮らしをしている」の割合が19.4%となっています。

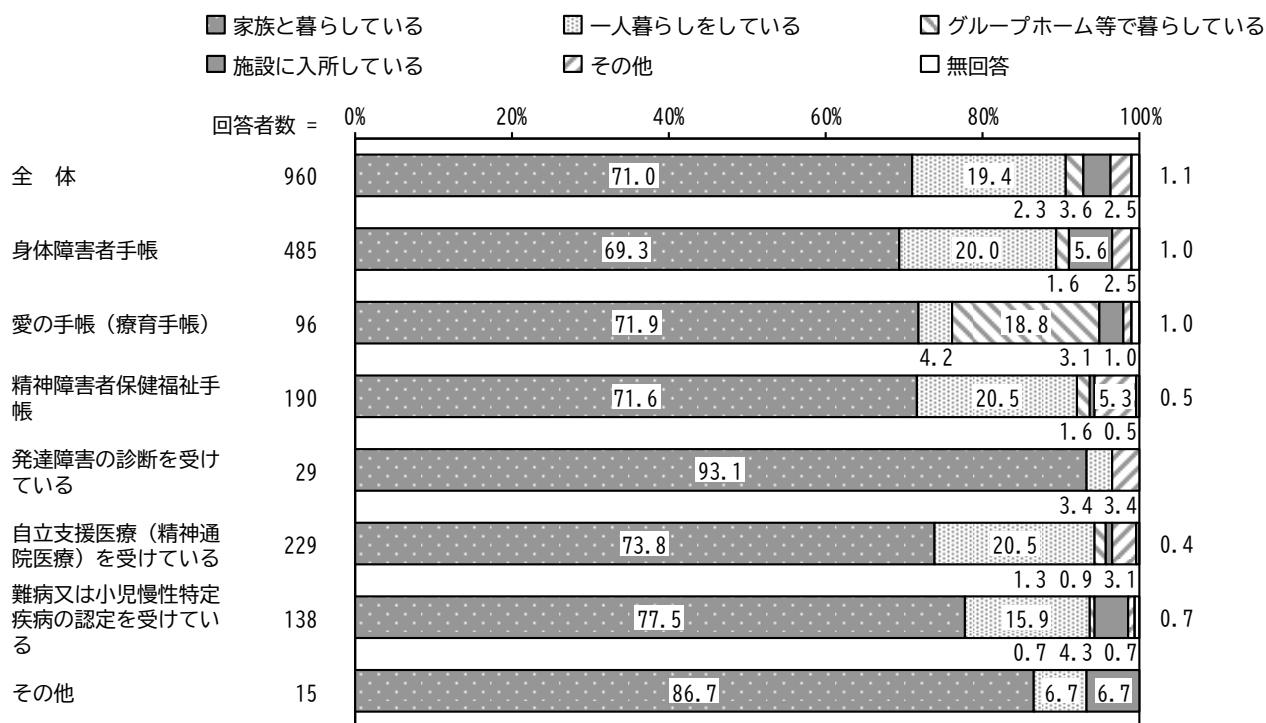
【年齢別】

年齢別にみると、年齢が下がるほど「家族と暮らしている」の割合が高くなっています。また、18～39歳で「一人暮らしをしている」の割合が低くなっています。



【手帳の種類・診断別】

手帳の種類・診断別にみると、発達障害の診断を受けているで「家族と暮らしている」、愛の手帳（療育手帳）で「グループホーム等で暮らしている」の割合が高くなっています。



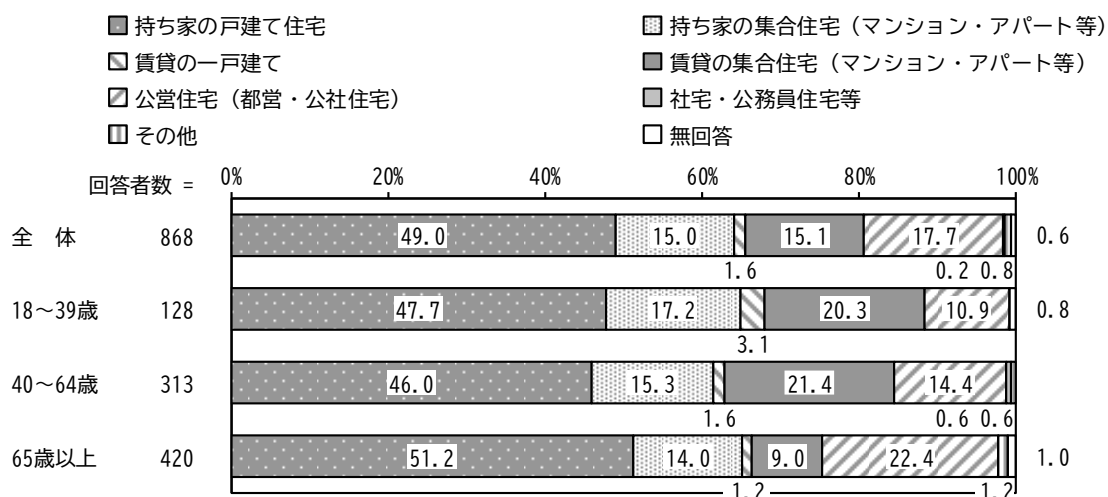
問5で「家族と暮らしている」か「一人暮らしをしている」に○をつけた方にお聞きます。

問5－1 あなたのお住まいの種類はどれですか。(○印は1つ)

「持ち家の戸建て住宅」の割合が49.0%と最も高く、次いで「公営住宅（都営・公社住宅）」の割合が17.7%、「賃貸の集合住宅（マンション・アパート等）」の割合が15.1%となっています。

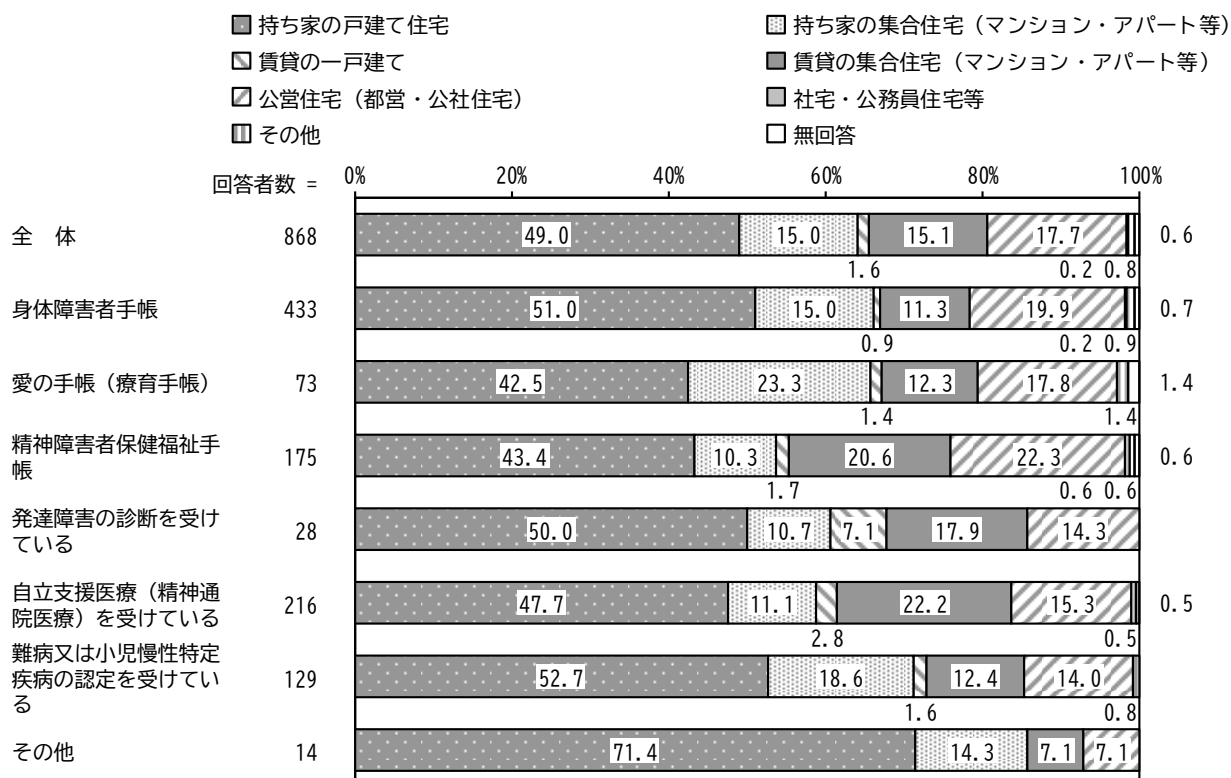
【年齢別】

年齢別にみると、年齢が上がるほど「公営住宅（都営・公社住宅）」の割合が高くなっています。



【手帳の種類・診断別】

手帳の種類・診断別にみると、愛の手帳（療育手帳）で「持ち家の集合住宅（マンション・アパート等）」、発達障害の診断を受けているで「賃貸の一戸建て」、精神障害者保健福祉手帳、自立支援医療（精神通院医療）を受けているで「賃貸の集合住宅（マンション・アパート等）」の割合が高くなっています。



あなたの障害の状況について

問6 あなたの持っている手帳の種類と等級、診断の有無をお聞きします。あてはまる手帳の番号と、カッコ内の等級（度数）に○をつけてください。（あてはまるものすべてに○印）

「身体障害者手帳」の割合が 50.5%と最も高く、次いで「自立支援医療（精神通院医療）を受けている」の割合が 23.9%、「精神障害者保健福祉手帳」の割合が 19.8%となっています。

【年齢別】

年齢別にみると、年齢が下がるほど「愛の手帳（療育手帳）」「発達障害の診断を受けている」「自立支援医療（精神通院医療）を受けている」の割合が高く、「身体障害者手帳」の割合が低くなっています。また、18～39 歳、40～64 歳で「精神障害者保健福祉手帳」の割合が高くなっています。

単位：％

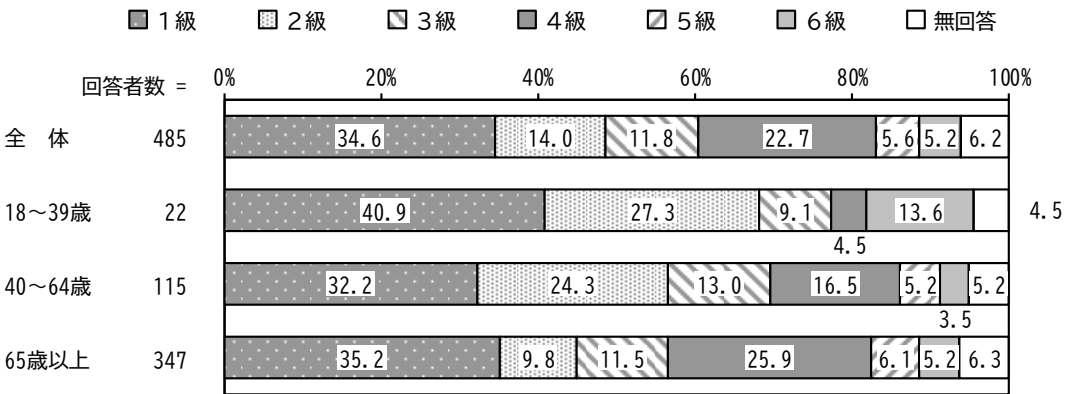
区分	回答者数 (件)	身体障害者手帳	愛の手帳 (療育手帳)	精神障害者保健福祉手帳	発達障害の診断を受けている	自立支援医療（精神通院医療）を受けている	難病又は小児慢性特定疾病の認定を受けている	その他	無回答
全 体	960	50.5	10.0	19.8	3.0	23.9	14.4	1.6	1.6
18～39歳	136	16.2	34.6	32.4	11.0	40.4	12.5	2.2	0.0
40～64歳	343	33.5	13.1	33.5	4.1	36.2	15.5	1.5	0.3
65歳以上	468	74.1	0.4	6.6	0.0	10.0	13.9	1.5	1.9

身体障害者手帳の等級

「1 級」の割合が 34.6%と最も高く、次いで「4 級」の割合が 22.7%、「2 級」の割合が 14.0%となっています。

【年齢別】

年齢別にみると、年齢が上がるほど「4 級」の割合が高く、「2 級」の割合が低くなっています。

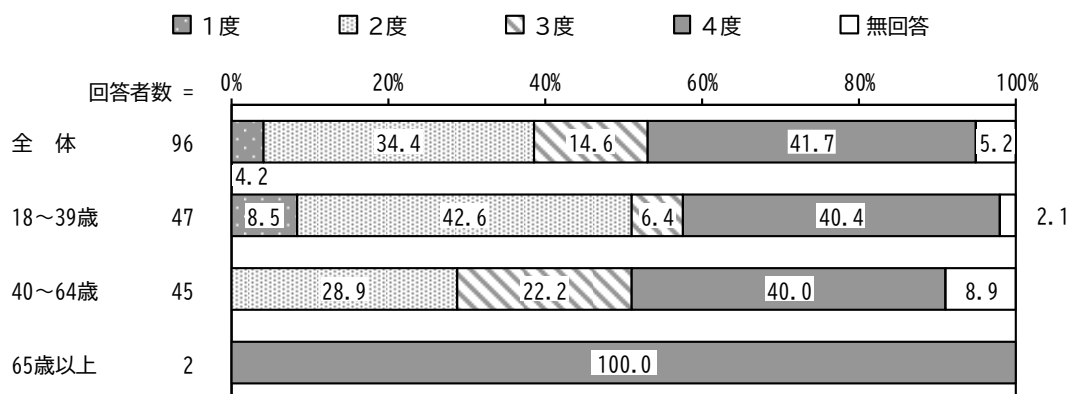


愛の手帳（療育手帳）の程度

「4度」の割合が41.7%と最も高く、次いで「2度」の割合が34.4%、「3度」の割合が14.6%となっています。

【年齢別】

年齢別にみると、年齢が下がるほど「2度」の割合が高くなっています。

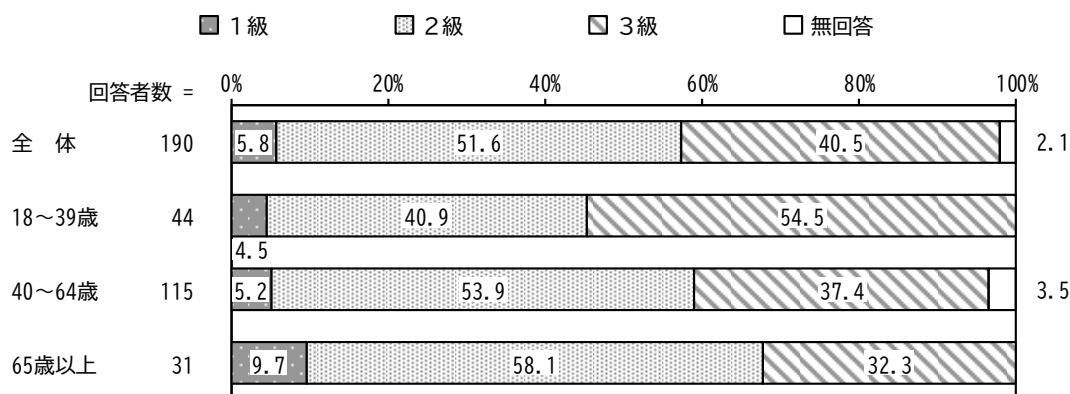


精神障害者保健福祉手帳の等級

「1級」の割合が5.8%、「2級」の割合が51.6%、「3級」の割合が40.5%となっています。

【年齢別】

年齢別にみると、18～39歳で「3級」の割合が高く、「2級」の割合が低くなっています。



問6で「身体障害者手帳」に○をつけた方にお聞きします。

問6－1 障害の種類は次のうちどれですか。(あてはまるものすべてに○印)

「肢体不自由（上肢機能障害・下肢機能障害・体幹機能障害）」の割合が46.4%と最も高く、次いで「内部障害（心臓機能障害、腎臓機能障害、呼吸器機能障害、膀胱・直腸機能障害、小腸機能障害、免疫機能障害、肝臓機能障害）」の割合が41.6%となっています。

【年齢別】

年齢別にみると、年齢が下がるほど「肢体不自由（上肢機能障害・下肢機能障害・体幹機能障害）」「視覚障害」の割合が高く、「内部障害（心臓機能障害、腎臓機能障害、呼吸器機能障害、膀胱・直腸機能障害、小腸機能障害、免疫機能障害、肝臓機能障害）」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	肢体不自由 (上肢機能障害・ 下肢機能障害・ 体幹機能障害)	音声・言語・ そしゃく機能 障害	視覚障害	聴覚・ 平衡機能障害	内部障害 (心臓機能障害、 腎臓機能障害、 呼吸器機能障害、 膀胱・直腸機能障害、 小腸機能障害、 免疫機能障害、 肝臓機能障害)	無回答
全 体	485	46.4	4.3	6.8	8.2	41.6	4.1
18～39歳	22	59.1	0.0	13.6	9.1	27.3	4.5
40～64歳	115	48.7	6.1	10.4	3.5	34.8	6.1
65歳以上	347	45.0	3.7	5.2	9.8	45.0	3.5

【手帳の種類・診断別】

手帳の種類・診断別にみると、愛の手帳（療育手帳）で「肢体不自由（上肢機能障害・下肢機能障害・体幹機能障害）」、愛の手帳（療育手帳）、精神障害者保健福祉手帳で「視覚障害」、精神障害者保健福祉手帳で「聴覚・平衡機能障害」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	肢体不自由（上肢機能障害・ 下肢機能障害・体幹機能障害）	音声・言語・そしゃく機能障害	視覚障害	聴覚・平衡機能障害	内部障害（心臓機能障害、 腎臓機能障害、呼吸器機能障害、 膀胱・直腸機能障害、小腸機能障害、 免疫機能障害、肝臓機能障害）	無回答
全 体	485	46.4	4.3	6.8	8.2	41.6	4.1
身体障害者手帳	485	46.4	4.3	6.8	8.2	41.6	4.1
愛の手帳（療育手帳）	21	71.4	4.8	14.3	0.0	23.8	0.0
精神障害者保健福祉手帳	12	50.0	0.0	16.7	16.7	25.0	16.7
発達障害の診断を受けている	2	50.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0
自立支援医療（精神通院医療）を受けている	22	50.0	9.1	9.1	0.0	40.9	13.6
難病又は小児慢性特定疾病の認定を受けている	26	50.0	7.7	11.5	0.0	46.2	3.8
その他	4	25.0	25.0	0.0	25.0	50.0	0.0

問7 あなたが社会生活上で課題となる行動・疾病はありますか。(あてはまるものすべてに○印)

「睡眠障害」の割合が19.5%と最も高くなっています。

【年齢別】

年齢別にみると、年齢が下がるほど「自傷」「多動」「睡眠障害」「昼夜逆転」「パニック」「一つの行動に集中して他が目に入らない」「てんかん」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	自傷	他傷	破壊行動	行動停止	大声・奇声	多動	反復行動	異食	偏食	摂食障害 (過食・拒食)	睡眠障害
全 体	960	4.7	1.3	1.0	4.6	2.8	4.1	2.6	0.6	3.0	3.0	19.5
18～39歳	136	13.2	4.4	4.4	8.8	7.4	12.5	8.1	1.5	4.4	5.1	30.1
40～64歳	343	6.1	1.2	1.2	6.1	3.5	3.8	2.3	0.6	3.8	6.1	25.1
65歳以上	468	1.1	0.4	0.0	2.4	1.1	1.5	1.3	0.4	1.7	0.2	12.0

区分	昼夜逆転	パニック	一つ の行動に集中 して他が目に入 らない	自分 でトイレに行 けない	排せつ物を触 つてしまう	飛び出し等突 発的な行為	不法等不適切 な行為	てんかん	その他	特 に ない	無 回 答
全 体	5.5	9.7	6.6	7.1	0.7	0.8	0.7	4.5	12.7	47.7	6.3
18～39歳	12.5	19.1	18.4	7.4	2.9	3.7	3.7	11.8	17.6	25.0	2.2
40～64歳	7.0	15.5	9.3	2.0	0.6	0.6	0.6	6.1	12.5	45.2	5.0
65歳以上	2.4	2.4	1.1	10.9	0.2	0.2	0.0	1.1	11.8	56.2	8.3

【手帳の種類・診断別】

手帳の種類・診断別にみると、発達障害の診断を受けているで「自傷」「行動停止」「大声・奇声」「多動」「反復行動」「昼夜逆転」「一つの行動に集中して他が目に入らない」、精神障害者保健福祉手帳、発達障害の診断を受けているで「睡眠障害」、精神障害者保健福祉手帳で「パニック」、愛の手帳（療育手帳）で「てんかん」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	自傷	他傷	破壊行動	行動停止	大声・奇声	多動	反復行動	異食	偏食	摂食障害 (過食・拒食)	睡眠障害
全 体	960	4.7	1.3	1.0	4.6	2.8	4.1	2.6	0.6	3.0	3.0	19.5
身体障害者手帳	485	1.2	0.8	0.4	2.3	1.6	1.4	1.4	0.6	1.6	0.6	10.1
愛の手帳（療育手帳）	96	9.4	7.3	4.2	12.5	10.4	9.4	7.3	2.1	2.1	6.3	11.5
精神障害者保健福祉手帳	190	12.1	2.1	2.1	9.5	6.8	11.1	6.8	1.1	8.9	11.1	50.5
発達障害の診断を受けている	29	17.2	0.0	10.3	17.2	13.8	48.3	17.2	0.0	0.0	6.9	48.3
自立支援医療（精神通院医療）を受けている	229	10.9	2.6	2.6	10.5	3.1	9.6	3.1	0.4	6.1	7.9	39.7
難病又は小児慢性特定疾病の認定を受けている	138	1.4	0.0	0.0	2.9	0.7	0.0	0.7	0.0	0.7	0.0	10.9
その他	15	6.7	0.0	0.0	20.0	6.7	20.0	6.7	0.0	0.0	0.0	6.7

区分	昼夜逆転	パニック	一つの行動に集中して他が目に入らない	自分でトイレに行けない	排せつ物を触ってしまう	飛び出し等突発的な行為	不法等不適切な行為	てんかん	その他	特にない	無回答
全 体	5.5	9.7	6.6	7.1	0.7	0.8	0.7	4.5	12.7	47.7	6.3
身体障害者手帳	2.5	3.1	1.9	10.9	0.4	0.2	0.2	3.3	13.6	57.1	6.2
愛の手帳（療育手帳）	6.3	12.5	14.6	12.5	6.3	4.2	1.0	21.9	12.5	29.2	4.2
精神障害者保健福祉手帳	15.3	29.5	18.9	1.6	0.0	1.6	2.1	6.3	17.9	12.6	5.8
発達障害の診断を受けている	20.7	20.7	55.2	3.4	0.0	3.4	6.9	6.9	13.8	3.4	0.0
自立支援医療（精神通院医療）を受けている	13.1	24.0	14.8	0.9	0.0	0.9	1.7	8.7	13.1	24.5	3.9
難病又は小児慢性特定疾病の認定を受けている	1.4	2.9	2.2	7.2	0.0	0.0	0.0	2.9	8.0	66.7	7.2
その他	13.3	13.3	26.7	6.7	0.0	6.7	0.0	6.7	26.7	40.0	6.7

問8 あなたが社会生活上で課題となる行動・疾病の中で、特に配慮が必要と感じることはありますか。(あてはまるものすべてに○印)

「睡眠障害」の割合が14.4%と最も高くなっています。

【年齢別】

年齢別にみると、年齢が下がるほど「睡眠障害」「パニック」「一つの行動に集中して他が目に入らない」「てんかん」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	自傷	他傷	破壊行動	行動停止	大声・奇声	多動	反復行動	異食	偏食	摂食障害 (過食・拒食)	睡眠障害
全 体	960	2.7	1.5	1.0	3.5	2.2	2.0	1.3	0.5	2.1	1.8	14.4
18～39歳	136	8.8	4.4	2.9	5.9	4.4	5.1	2.2	0.7	1.5	1.5	22.8
40～64歳	343	2.6	1.5	1.5	4.7	2.9	1.7	1.7	0.6	2.9	3.5	18.4
65歳以上	468	1.1	0.6	0.0	1.9	1.1	1.3	0.6	0.4	1.5	0.6	9.0

区分	昼夜逆転	パニック	一つ の行動に集中 して他が目に入 らない	自分 でトイレに行 けない	排せ つ物を触つて しまう	飛び 出し等突発的 な行為	不法 等不適切な行 為	てん かん	その他	特 に ない	無 回 答
全 体	2.9	7.8	4.4	6.6	0.8	0.5	0.5	4.3	8.8	51.8	8.5
18～39歳	3.7	16.2	12.5	6.6	2.2	2.2	1.5	12.5	6.6	32.4	7.4
40～64歳	4.1	12.5	5.8	1.5	0.9	0.3	0.9	5.5	10.2	49.9	6.4
65歳以上	1.9	1.9	0.9	10.3	0.2	0.2	0.0	0.9	8.5	59.2	10.0

【手帳の種類・診断別】

手帳の種類・診断別にみると、精神障害者保健福祉手帳で「睡眠障害」「パニック」、発達障害の診断を受けているで「一つの行動に集中して他が目に入らない」、愛の手帳（療育手帳）で「てんかん」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	自傷	他傷	破壊行動	行動停止	大声・奇声	多動	反復行動	異食	偏食	摂食障害 (過食・拒食)	睡眠障害
全 体	960	2.7	1.5	1.0	3.5	2.2	2.0	1.3	0.5	2.1	1.8	14.4
身体障害者手帳	485	0.8	0.8	0.6	1.6	1.6	1.0	0.4	0.6	1.4	0.6	6.4
愛の手帳（療育手帳）	96	7.3	7.3	3.1	10.4	8.3	6.3	3.1	2.1	2.1	4.2	10.4
精神障害者保健福祉手帳	190	5.8	2.6	2.6	6.3	4.7	4.2	3.7	0.5	4.7	5.3	38.9
発達障害の診断を受けている	29	0.0	3.4	6.9	6.9	3.4	10.3	0.0	0.0	0.0	0.0	20.7
自立支援医療（精神通院医療）を受けている	229	5.2	2.6	2.6	7.9	1.7	3.5	1.7	0.0	3.5	3.1	30.6
難病又は小児慢性特定疾病の認定を受けている	138	1.4	0.0	0.0	2.2	0.7	0.0	0.0	0.0	1.4	0.0	5.8
その他	15	0.0	0.0	0.0	13.3	0.0	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

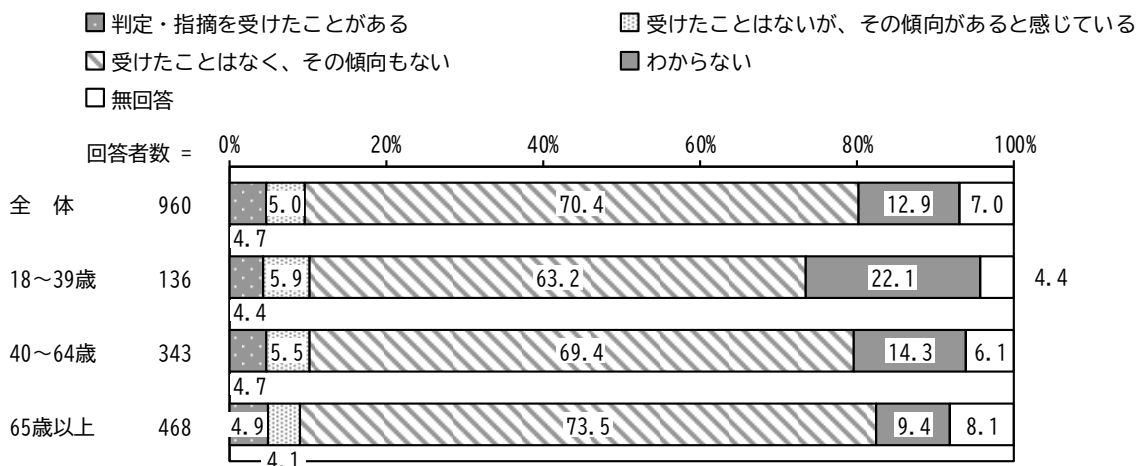
区分	昼夜逆転	パニック	一つの行動に集中して他が目に入らない	自分でトイレに行けない	排せつ物を触ってしまう	飛び出し等突発的な行為	不法等不適切な行為	てんかん	その他	特にない	無回答
全 体	2.9	7.8	4.4	6.6	0.8	0.5	0.5	4.3	8.8	51.8	8.5
身体障害者手帳	1.6	2.7	1.2	10.1	0.4	0.0	0.2	3.1	9.7	59.8	8.9
愛の手帳（療育手帳）	5.2	11.5	12.5	11.5	6.3	2.1	1.0	20.8	6.3	31.3	8.3
精神障害者保健福祉手帳	6.8	24.7	12.6	1.6	0.0	1.1	2.1	6.3	14.2	20.0	7.4
発達障害の診断を受けている	3.4	13.8	31.0	0.0	0.0	3.4	6.9	3.4	6.9	27.6	3.4
自立支援医療（精神通院医療）を受けている	7.4	18.8	9.2	1.3	0.4	0.4	0.9	8.3	10.5	30.6	5.2
難病又は小児慢性特定疾病の認定を受けている	0.7	2.9	1.4	6.5	0.0	0.0	0.0	2.9	6.5	71.0	8.0
その他	6.7	13.3	20.0	13.3	0.0	0.0	0.0	6.7	6.7	53.3	6.7

問9 これまでに、専門機関等から「強度行動障害（あるいはそれに相当する状態）」との判定や指摘を受けたことがありますか。（○印は1つ）

「判定・指摘を受けたことがある」の割合が4.7%、「受けたことはないが、その傾向があると感じている」の割合が5.0%、「受けたことはなく、その傾向もない」の割合が70.4%となっています。

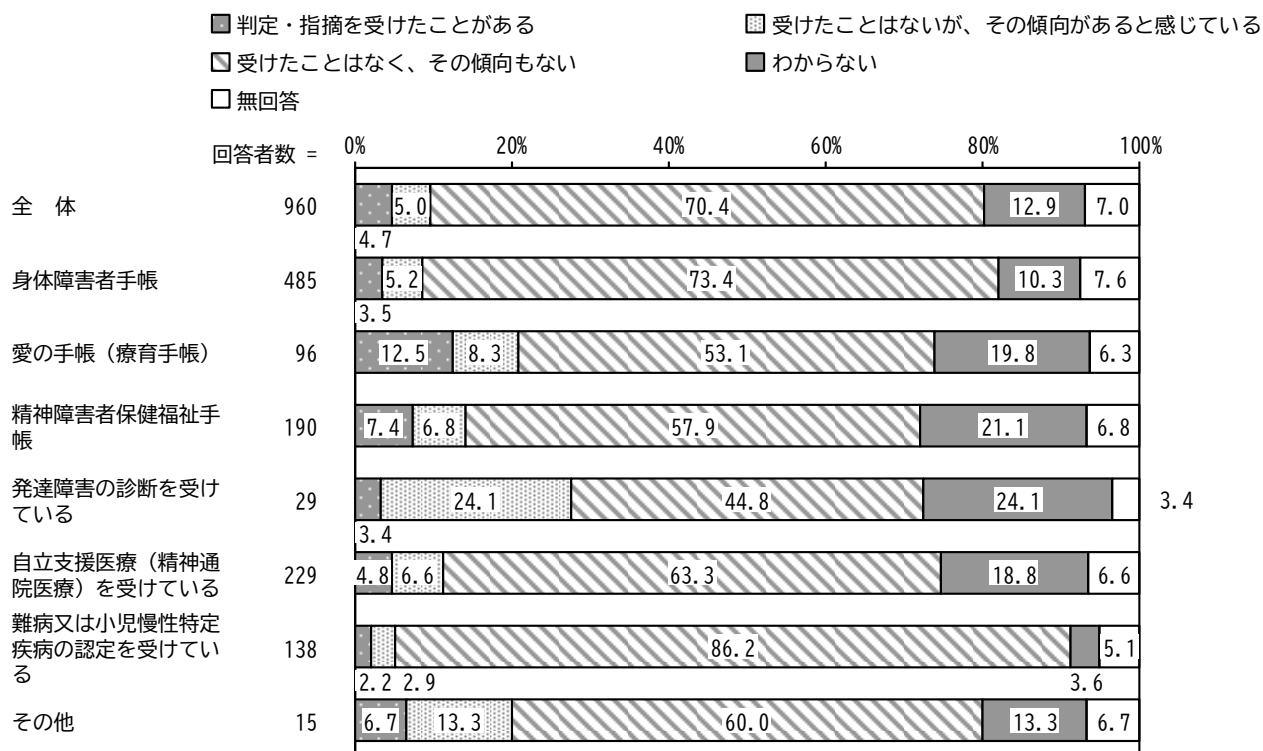
【年齢別】

年齢別にみると、年齢が上がるほど「受けたことはなく、その傾向もない」の割合が高くなっています。



【手帳の種類・診断別】

手帳の種類・診断別にみると、発達障害の診断を受けているで「受けたことはないが、その傾向があると感じている」、難病又は小児慢性特定疾病の認定を受けているで「受けたことはなく、その傾向もない」の割合が高くなっています。



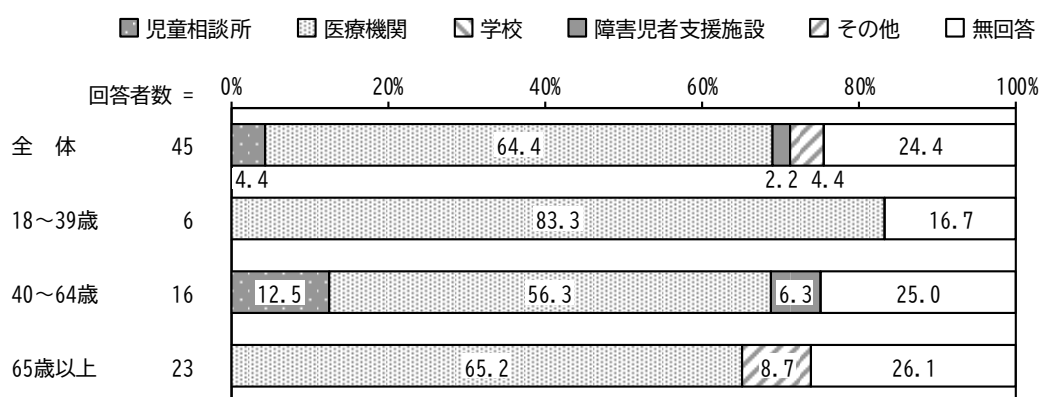
問9で「判定・指摘を受けたことがある」に○をつけた方にお聞きします。

問9-1 具体的にどこで判定・指摘を受けましたか。(○印は1つ)

「医療機関」の割合が64.4%と最も高くなっています。

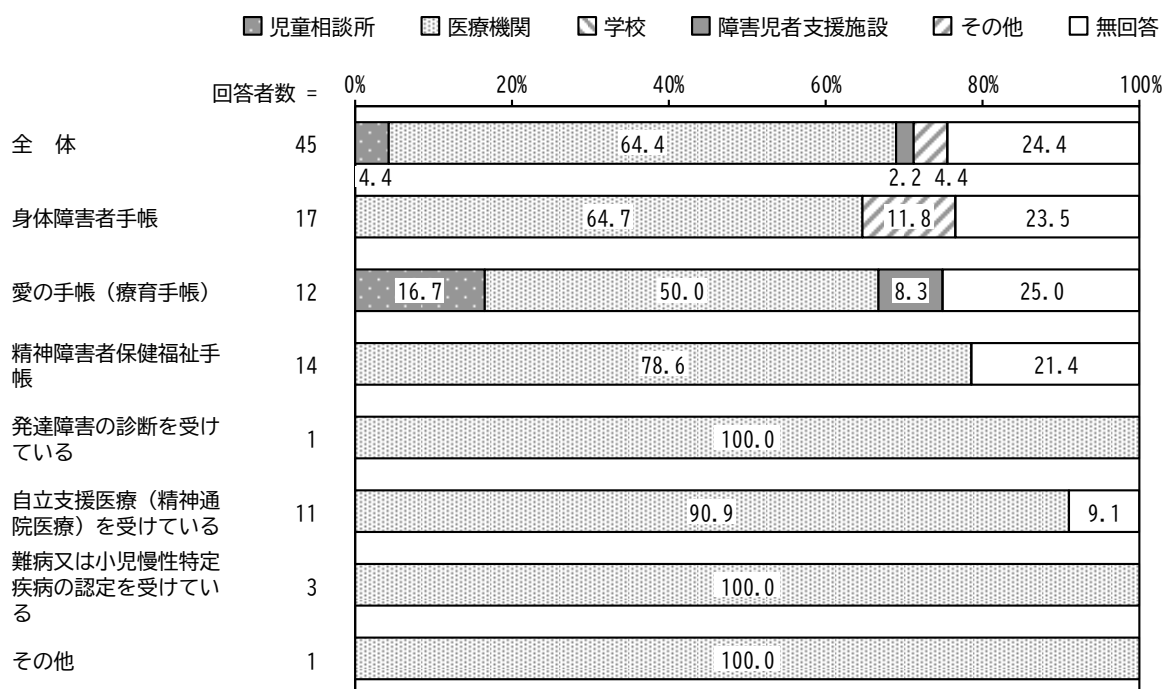
【年齢別】

年齢別にみると、40～64歳で「児童相談所」「障害児者支援施設」の割合が高く、65歳以上で「医療機関」の割合が高くなっています。



【手帳の種類・診断別】

手帳の種類・診断別にみると、愛の手帳（療育手帳）で「児童相談所」、自立支援医療（精神通院医療）を受けているで「医療機関」の割合が高くなっています。



問9で「判定・指摘を受けたことがある」に○をつけた方にお聞きします。

問9-2 あなたが困っていることは何ですか。(あてはまるものすべてに○印)

「親亡き後の生活、受け入れ先、金銭管理、地域での暮らし」の割合が26.7%と最も高く、次いで「予定変更、場所の移動、音・光などの刺激に敏感」、「施設、家族、医療など複数の支援者が関わる」の割合が20.0%となっています。

【年齢別】

年齢別にみると、年齢が下がるほど「言葉での表現が難しい場合、要求や不快感が伝わらず、行動が激しくなる」「予定変更、場所の移動、音・光などの刺激に敏感」「受け入れ可能な病院や施設が限られる」「自傷・他害につながる行動が突然起こることがある」「行動の理由が環境や状況により異なるため、一般的な回避・軽減方法が当てはまらない」「親亡き後の生活、受け入れ先、金銭管理、地域での暮らし」「わがまま」「しつけの問題」と誤解されることがある」の割合が高くなっています。

区分	回答者数(件)	言葉での表現が難しい場合、要求や不快感が伝わらず、行動が激しくなる	予定変更、場所の移動、音・光などの刺激に敏感	受け入れ可能な病院や施設が限られる	周囲の視線や誤解、危険回避の難しさ	自傷・他害につながる行動が突然起こることがある	24時間体制の見守りが必要なケースも多い
全 体	45	11.1	20.0	17.8	8.9	13.3	6.7
18～39歳	6	16.7	66.7	50.0	16.7	33.3	50.0
40～64歳	16	12.5	25.0	18.8	18.8	25.0	0.0
65歳以上	23	8.7	4.3	8.7	0.0	0.0	0.0

区分	施設、家族、医療など複数の支援者が関わる	行動の理由が環境や状況により異なるため、一般的な回避・軽減方法が当てはまらない	親亡き後の生活、受け入れ先、金銭管理、地域での暮らし	「わがまま」「しつけの問題」と誤解されることがある	その他	無回答
全 体	20.0	6.7	26.7	6.7	13.3	26.7
18～39歳	66.7	33.3	66.7	16.7	16.7	0.0
40～64歳	12.5	6.3	50.0	12.5	0.0	6.3
65歳以上	13.0	0.0	0.0	0.0	21.7	47.8

【手帳の種類・診断別】

手帳の種類・診断別にみると、愛の手帳（療育手帳）で「言葉での表現が難しい場合、要求や不快感が伝わらず、行動が激しくなる」「受け入れ可能な病院や施設に限られる」「24 時間体制の見守りが必要なケースも多い」「施設、家族、医療など複数の支援者が関わる」「親亡き後の生活、受け入れ先、金銭管理、地域での暮らし」、愛の手帳（療育手帳）、精神障害者保健福祉手帳で「予定変更、場所の移動、音・光などの刺激に敏感」、精神障害者保健福祉手帳で「自傷・他害につながる行動が突然起こることがある」、自立支援医療（精神通院医療）を受けているで「行動の理由が環境や状況により異なるため、一般的な回避・軽減方法が当てはまらない」「わがまま」「しつけの問題」と誤解されることがある」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	言葉での表現が難しい場合、要求や不快感が伝わらず、行動が激しくなる	予定変更、場所の移動、音・光などの刺激に敏感	受け入れ可能な病院や施設に限られる	周囲の視線や誤解、危険回避の難しさ	自傷・他害につながる行動が突然起こることがある	24 時間体制の見守りが必要なケースも多い
全 体	45	11.1	20.0	17.8	8.9	13.3	6.7
身体障害者手帳	17	11.8	0.0	11.8	0.0	0.0	5.9
愛の手帳（療育手帳）	12	25.0	33.3	33.3	16.7	16.7	25.0
精神障害者保健福祉手帳	14	0.0	35.7	14.3	14.3	28.6	0.0
発達障害の診断を受けている	1	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0
自立支援医療（精神通院医療）を受けている	11	0.0	27.3	18.2	18.2	18.2	0.0
難病又は小児慢性特定疾病の認定を受けている	3	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3
その他	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

区分	施設、家族、医療など複数の支援者が関わる	行動の理由が環境や状況により異なるため、一般的な回避・軽減方法が当てはまらない	親亡き後の生活、受け入れ先、金銭管理、地域での暮らし	「わがまま」「しつけの問題」と誤解されることがある	その他	無回答
全 体	20.0	6.7	26.7	6.7	13.3	26.7
身体障害者手帳	23.5	0.0	5.9	0.0	23.5	35.3
愛の手帳（療育手帳）	33.3	8.3	66.7	8.3	8.3	8.3
精神障害者保健福祉手帳	14.3	14.3	42.9	7.1	0.0	14.3
発達障害の診断を受けている	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
自立支援医療（精神通院医療）を受けている	9.1	18.2	27.3	18.2	0.0	18.2
難病又は小児慢性特定疾病の認定を受けている	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7
その他	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0

問9で「判定・指摘を受けたことがある」に○をつけた方にお聞きします。

問9-3 どのような支援が必要ですか。(あてはまるものすべてに○印)

「本人のペースを尊重する」の割合が 35.6%と最も高く、次いで「安心できる方・場所の確保」の割合が 33.3%、「身体の不調を早期に気づける仕組み」の割合が 28.9%となっています。

【年齢別】

年齢別にみると、年齢が下がるほど「わかりやすいコミュニケーション手段の提供」「見通しを持てる生活づくり」「感覚刺激への配慮」「本人が選べる場面を増やす」「成功体験を積み重ねる機会づくり」「身体の不調を早期に気づける仕組み」「安心できる方・場所の確保」「興味や得意を活かした活動の提供」「行動が起きる前のサインに合わせた支援」「本人のペースを尊重する」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	わかりやすいコミュニケーション手段の提供	見通しを持てる生活づくり	感覚刺激への配慮	本人が選べる場面を増やす	成功体験を積み重ねる機会づくり	身体の不調を早期に気づける仕組み	安心できる方・場所の確保	興味や得意を活かした活動の提供	行動が起きる前のサインに合わせた支援	本人のペースを尊重する	その他	無回答
全 体	45	24.4	17.8	15.6	13.3	17.8	28.9	33.3	17.8	22.2	35.6	8.9	31.1
18～39歳	6	33.3	50.0	50.0	50.0	50.0	66.7	66.7	50.0	50.0	83.3	0.0	0.0
40～64歳	16	25.0	25.0	18.8	18.8	31.3	31.3	56.3	25.0	31.3	50.0	6.3	25.0
65歳以上	23	21.7	4.3	4.3	0.0	0.0	17.4	8.7	4.3	8.7	13.0	13.0	43.5

【手帳の種類・診断別】

手帳の種類・診断別にみると、愛の手帳（療育手帳）で「わかりやすいコミュニケーション手段の提供」「見通しを持てる生活づくり」「本人が選べる場面を増やす」「成功体験を積み重ねる機会づくり」「身体の不調を早期に気づける仕組み」「安心できる方・場所の確保」「興味や得意を活かした活動の提供」「行動が起きる前のサインに合わせた支援」「本人のペースを尊重する」の割合が高くなっています。

単位：％

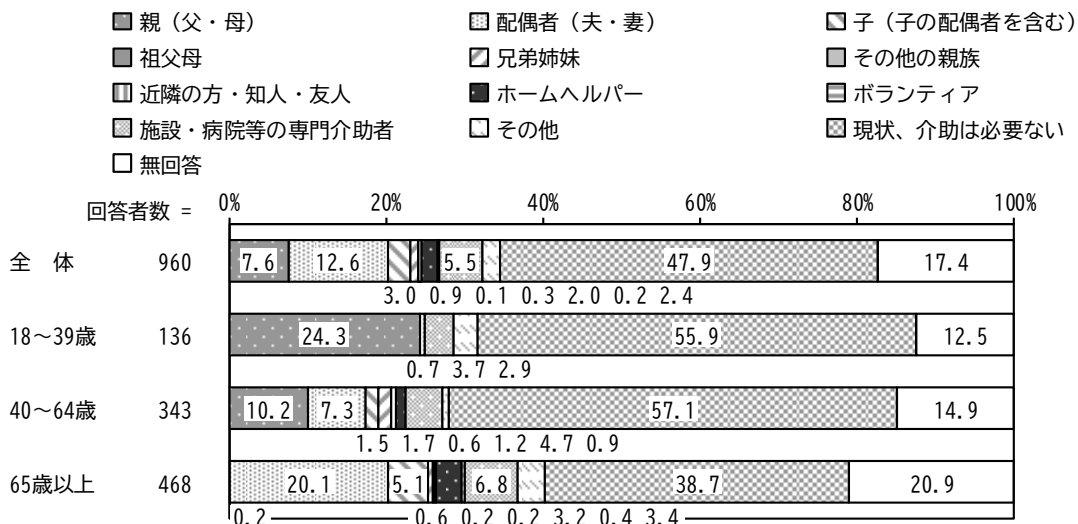
区分	回答者数 (件)	わかりやすいコミュニケーション手段の提供	見通しを持てる生活づくり	感覚刺激への配慮	本人が選べる場面を増やす	成功体験を積み重ねる機会づくり	身体の不調を早期に気づける仕組み	安心できる方・場所の確保	興味や得意を活かした活動の提供	行動が起きる前のサインに合わせた支援	本人のペースを尊重する	その他	無回答
全 体	45	24.4	17.8	15.6	13.3	17.8	28.9	33.3	17.8	22.2	35.6	8.9	31.1
身体障害者手帳	17	17.6	5.9	5.9	0.0	0.0	23.5	17.6	5.9	5.9	11.8	11.8	41.2
愛の手帳（療育手帳）	12	41.7	41.7	25.0	41.7	50.0	50.0	66.7	50.0	41.7	58.3	0.0	16.7
精神障害者保健福祉手帳	14	21.4	14.3	21.4	7.1	21.4	28.6	28.6	7.1	28.6	42.9	7.1	35.7
発達障害の診断を受けている	1	0.0	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0
自立支援医療（精神通院医療）を受けている	11	36.4	18.2	18.2	18.2	36.4	36.4	36.4	18.2	36.4	54.5	0.0	18.2
難病又は小児慢性特定疾病の認定を受けている	3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7
その他	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

問10 あなたは普段の生活で介助を必要としていますか。介助が必要な方は、主な介助者の方をお答えください。(○印は1つ)

「配偶者（夫・妻）」の割合が12.6%と最も高くなっています。

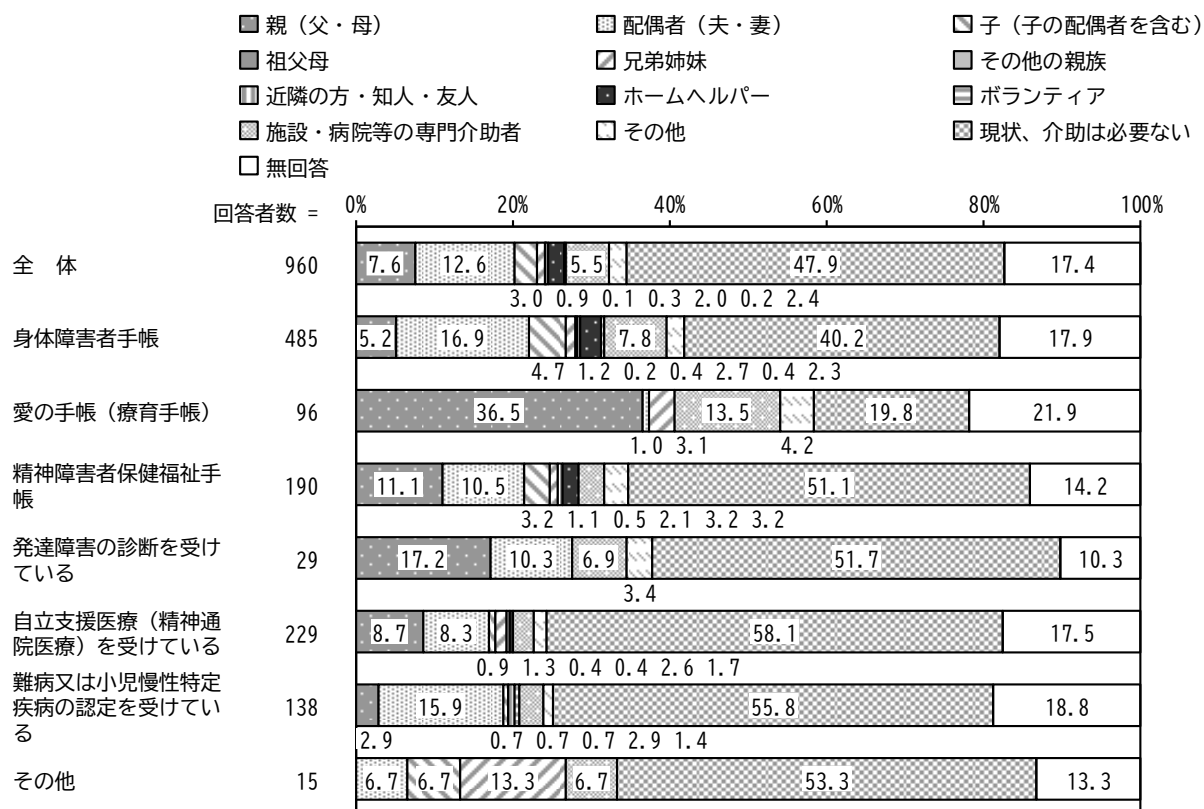
【年齢別】

年齢別にみると、年齢が上がるほど「配偶者（夫・妻）」の割合が高く、「親（父・母）」の割合が低くなっています。



【手帳の種類・診断別】

手帳の種類・診断別にみると、愛の手帳（療育手帳）で「親（父・母）」「施設・病院等の専門介助者」の割合が高く、愛の手帳（療育手帳）で「配偶者（夫・妻）」の割合が低くなっています。



問 11 普段から、家族・親族の方が介助している方にお聞きします。現在、主な介助者の方が困っていることは何ですか。（あてはまるものすべてに○印）

「介助者自身の健康に不安がある」の割合が 33.0%と最も高く、次いで「代わりの介助を頼める方がいない」、「精神的な負担が大きい」の割合が 30.5%となっています。

【年齢別】

年齢別にみると、年齢が下がるほど「休養や息抜きの時間がない」「仕事に出られない」「経済的な負担が大きい」「平日、本人の会社や福祉施設の終わりが早く、長時間労働ができない」の割合が高くなっています。また、18～39 歳で「介助者自身の健康に不安がある」、40～64 歳で「精神的な負担が大きい」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	代わりの介助を頼める方がいない	休養や息抜きの時間がない	長期の旅行や外出ができない	仕事に出られない	介助者自身の健康に不安がある	身体的な負担が大きい	精神的な負担が大きい	経済的な負担が大きい	平日、本人の会社や福祉施設の終わりが早く、長時間労働ができない	その他	特にない	無回答
全 体	233	30.5	16.7	23.6	6.4	33.0	25.3	30.5	19.7	3.4	3.9	20.6	5.2
18～39歳	34	32.4	26.5	29.4	14.7	50.0	26.5	35.3	26.5	11.8	2.9	8.8	2.9
40～64歳	71	33.8	16.9	14.1	8.5	23.9	21.1	40.8	19.7	2.8	2.8	25.4	5.6
65歳以上	123	28.5	13.8	28.5	3.3	34.1	28.5	23.6	17.9	1.6	4.9	21.1	4.1

【手帳の種類・診断別】

手帳の種類・診断別にみると、自立支援医療（精神通院医療）を受けているで「休養や息抜きの時間がない」「精神的な負担が大きい」「経済的な負担が大きい」、難病又は小児慢性特定疾病の認定を受けているで「介助者自身の健康に不安がある」、愛の手帳（療育手帳）で「平日、本人の会社や福祉施設の終わりが早く、長時間労働ができない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	代わりの介助を頼める方がいない	休養や息抜きの時間がない	長期の旅行や外出ができない	仕事に出られない	介助者自身の健康に不安がある	身体的な負担が大きい	精神的な負担が大きい	経済的な負担が大きい	平日、本人の会社や福祉施設の終わりが早く、長時間労働ができない	その他	特にない	無回答
全 体	233	30.5	16.7	23.6	6.4	33.0	25.3	30.5	19.7	3.4	3.9	20.6	5.2
身体障害者手帳	137	28.5	16.1	29.2	5.8	33.6	28.5	24.8	16.1	2.2	4.4	24.8	3.6
愛の手帳（療育手帳）	39	38.5	23.1	25.6	15.4	38.5	15.4	28.2	10.3	15.4	7.7	28.2	5.1
精神障害者保健福祉手帳	49	36.7	24.5	16.3	6.1	28.6	28.6	46.9	36.7	2.0	2.0	4.1	6.1
発達障害の診断を受けている	8	12.5	0.0	12.5	12.5	50.0	0.0	50.0	37.5	0.0	0.0	0.0	12.5
自立支援医療（精神通院医療）を受けている	44	27.3	31.8	20.5	9.1	36.4	29.5	56.8	40.9	6.8	2.3	6.8	4.5
難病又は小児慢性特定疾病の認定を受けている	27	37.0	18.5	29.6	3.7	51.9	22.2	25.9	14.8	3.7	3.7	18.5	0.0
その他	4	75.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0

問 12 普段から、家族・親族の方が介助している方にお聞きします。今後、介助や支援にあたって課題になると考えられることは何ですか。（あてはまるものすべてに○印）

「介助者自身の健康に不安がある」の割合が 36.5%と最も高く、次いで「代わりの介助を頼める方がいない」の割合が 36.1%、「精神的な負担が大きい」の割合が 28.8%となっています。

【年齢別】

年齢別にみると、年齢が下がるほど「代わりの介助を頼める方がいない」「本人の住まいの確保」「本人の権利擁護に関する問題」の割合が高くなっています。また、18～39 歳で「介助者自身の健康に不安がある」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	代わりの介助を頼 める方がいない	休養や息抜きの時 間がない	長期の旅行や外出 ができない	仕事に出られない	介助者自身の健康 に不安がある	身体的な負担が大 きい	精神的な負担が大 きい
全 体	233	36.1	14.2	21.9	6.4	36.5	24.5	28.8
18～39歳	34	41.2	20.6	23.5	8.8	52.9	29.4	35.3
40～64歳	71	36.6	11.3	14.1	5.6	26.8	23.9	38.0
65歳以上	123	34.1	13.8	26.8	6.5	39.0	24.4	22.0

区分	経済的な負担が大 きい	本人の住まいの確 保	本人の権利擁護に 関する問題	本人の会社や福祉 施設の終わった後 の居場所がない	その他	特にな い	無回 答
全 体	24.0	4.7	5.2	4.7	5.6	15.0	9.0
18～39歳	29.4	14.7	20.6	8.8	8.8	2.9	0.0
40～64歳	22.5	8.5	2.8	8.5	2.8	19.7	12.7
65歳以上	23.6	0.0	2.4	1.6	6.5	16.3	7.3

【手帳の種類・診断別】

手帳の種類・診断別にみると、難病又は小児慢性特定疾病の認定を受けているで「代わりの介助を頼める方がいない」「長期の旅行や外出ができない」、自立支援医療（精神通院医療）を受けているで「精神的な負担が大きい」「経済的な負担が大きい」、愛の手帳（療育手帳）で「本人の住まいの確保」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	代わりの介助を頼める方がいない	休養や息抜きの間がない	長期の旅行や外出ができない	仕事に出られない	介助者自身の健康に不安がある	身体的な負担が大きい	精神的な負担が大きい
全 体	233	36.1	14.2	21.9	6.4	36.5	24.5	28.8
身体障害者手帳	137	34.3	13.1	24.1	4.4	39.4	26.3	21.2
愛の手帳（療育手帳）	39	38.5	17.9	17.9	12.8	41.0	23.1	30.8
精神障害者保健福祉手帳	49	36.7	14.3	26.5	6.1	32.7	20.4	36.7
発達障害の診断を受けている	8	25.0	0.0	12.5	12.5	50.0	12.5	25.0
自立支援医療（精神通院医療）を受けている	44	36.4	22.7	25.0	6.8	38.6	27.3	47.7
難病又は小児慢性特定疾病の認定を受けている	27	51.9	22.2	44.4	7.4	44.4	33.3	29.6
その他	4	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0

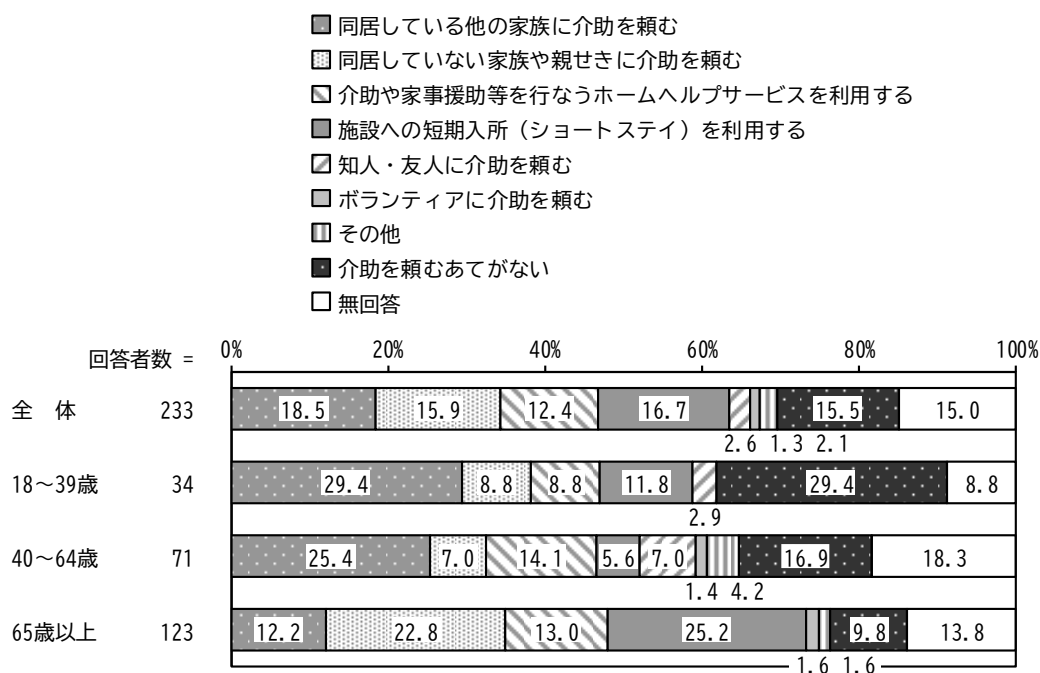
区分	経済的な負担が大きい	本人の住まいの確保	本人の権利擁護に関する問題	本人の会社や福祉施設の終わった後の居場所がない	その他	特にない	無回答
全 体	24.0	4.7	5.2	4.7	5.6	15.0	9.0
身体障害者手帳	19.7	2.9	3.6	2.2	7.3	19.7	6.6
愛の手帳（療育手帳）	17.9	17.9	12.8	12.8	10.3	12.8	10.3
精神障害者保健福祉手帳	32.7	4.1	10.2	6.1	4.1	4.1	12.2
発達障害の診断を受けている	37.5	0.0	12.5	0.0	25.0	0.0	12.5
自立支援医療（精神通院医療）を受けている	43.2	6.8	9.1	0.0	4.5	4.5	6.8
難病又は小児慢性特定疾病の認定を受けている	29.6	7.4	3.7	3.7	0.0	11.1	7.4
その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0

問 13 普段から、家族・親族の方が介助している方にお聞きします。普段介助している方が一時的に介助できなくなったとき、あなたはどのようにしますか。(1つに○印)

「同居している他の家族に介助を頼む」の割合が18.5%と最も高く、次いで「施設への短期入所（ショートステイ）を利用する」の割合が16.7%、「同居していない家族や親せきに介助を頼む」の割合が15.9%となっています。

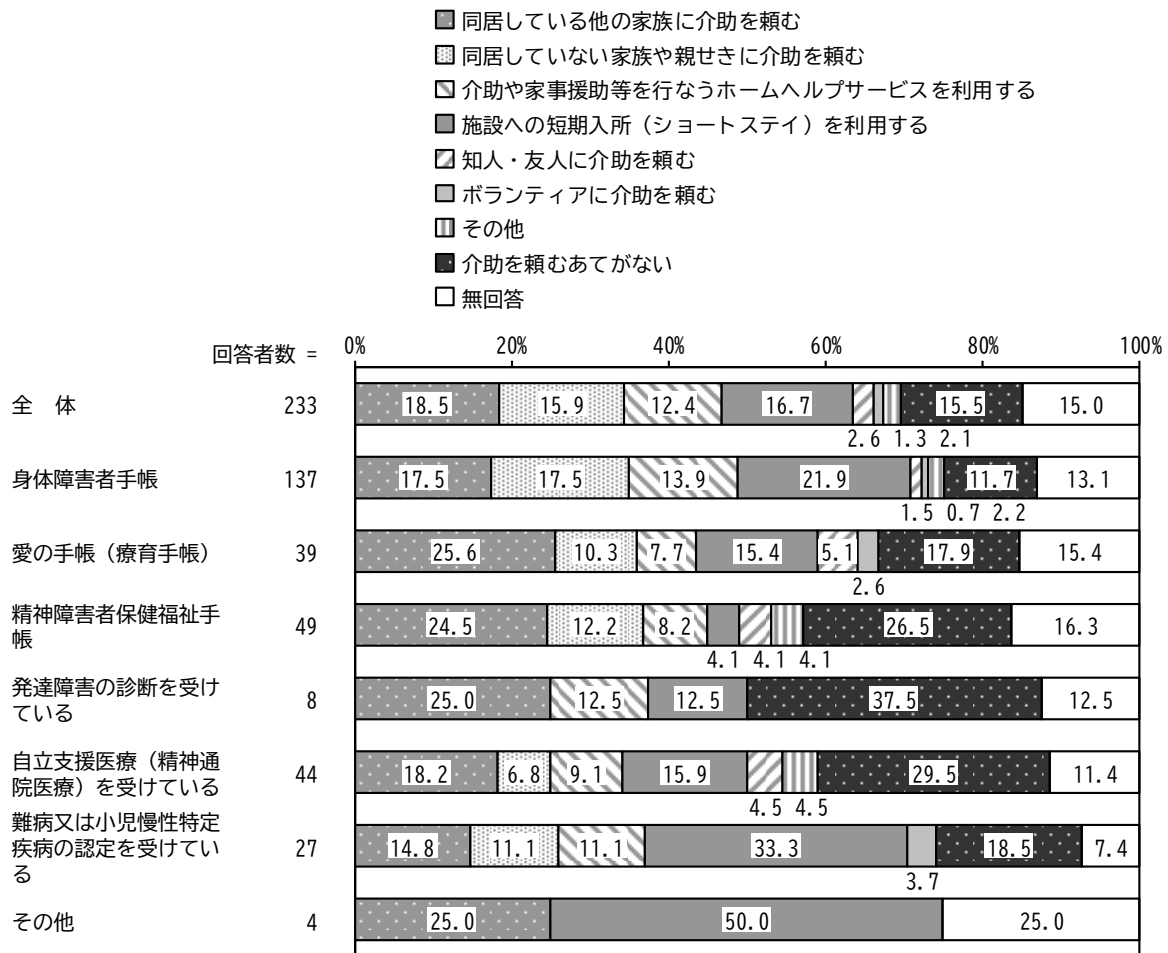
【年齢別】

年齢別にみると、年齢が下がるほど「同居している他の家族に介助を頼む」の割合が高くなっています。また、40～64歳で「施設への短期入所（ショートステイ）を利用する」の割合が低くなっています。



【手帳の種類・診断別】

手帳の種類・診断別にみると、愛の手帳（療育手帳）、精神障害者保健福祉手帳で「同居している他の家族に介助を頼む」、難病又は小児慢性特定疾病の認定を受けているで「施設への短期入所（ショートステイ）を利用する」の割合が高くなっています。



問 14 あなたは、医療的な支援（医療的ケア）を受けていますか。（あてはまるものすべてに○印）

「受けていない」の割合が 63.6%と最も高くなっています。

【年齢別】

年齢別にみると、年齢が下がるほど「受けていない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	受けていない	経管栄養（留置チューブ・胃ろう・腸ろう）	吸引（口鼻腔内・エアウエイ内・気管内）	酸素管理	エアウエイの管理	導尿	気管切開部の衛生管理
全 体	960	63.6	0.8	1.4	0.9	0.0	0.7	0.3
18～39歳	136	80.1	2.2	1.5	0.7	0.0	0.7	1.5
40～64歳	343	70.6	0.6	0.9	0.9	0.0	0.0	0.3
65歳以上	468	54.3	0.6	1.7	1.1	0.0	1.3	0.0

区分	胃ろう・腸ろう部の衛生管理	ストマ（人工肛門・人工膀胱）の管理	中心静脈栄養	人工透析	定時の薬液吸入	人工呼吸器の作動状況の確認及び緊急時の連絡等	その他	無回答
全 体	0.5	2.2	0.2	6.1	1.0	0.2	8.6	16.6
18～39歳	1.5	0.7	0.7	0.0	1.5	0.7	8.1	9.6
40～64歳	0.3	0.9	0.0	4.4	0.9	0.3	5.5	16.3
65歳以上	0.4	3.6	0.2	9.2	1.1	0.0	10.9	18.4

【手帳の種類・診断別】

手帳の種類・診断別にみると、発達障害の診断を受けているで「受けていない」、身体障害者手帳で「人工透析」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	受けていない	経管栄養（留置チューブ・胃ろう・腸ろう）	吸引（口鼻腔内・エアウェイ内・気管内）	酸素管理	エアウェイの管理	導尿	気管切開部の衛生管理
全 体	960	63.6	0.8	1.4	0.9	0.0	0.7	0.3
身体障害者手帳	485	55.1	1.4	1.9	1.6	0.0	1.4	0.6
愛の手帳（療育手帳）	96	77.1	4.2	3.1	1.0	0.0	1.0	2.1
精神障害者保健福祉手帳	190	67.4	0.5	1.6	0.5	0.0	0.0	0.0
発達障害の診断を受けている	29	89.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
自立支援医療（精神通院医療）を受けている	229	72.5	0.9	0.9	0.4	0.0	0.0	0.0
難病又は小児慢性特定疾病の認定を受けている	138	68.1	1.4	2.2	1.4	0.0	0.0	0.7
その他	15	73.3	0.0	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0

区分	胃ろう・腸ろう部の衛生管理	ストマ（人工肛門・人工膀胱）の管理	中心静脈栄養	人工透析	定時の薬液吸入	人工呼吸器の作動状況の確認及び緊急時の連絡等	その他	無回答
全 体	0.5	2.2	0.2	6.1	1.0	0.2	8.6	16.6
身体障害者手帳	0.6	4.3	0.2	12.0	1.6	0.4	9.5	15.3
愛の手帳（療育手帳）	3.1	2.1	1.0	1.0	3.1	1.0	5.2	11.5
精神障害者保健福祉手帳	0.5	0.0	0.0	0.0	0.5	0.5	10.0	20.5
発達障害の診断を受けている	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.4	6.9
自立支援医療（精神通院医療）を受けている	0.4	0.9	0.4	0.0	0.4	0.0	8.7	16.6
難病又は小児慢性特定疾病の認定を受けている	1.4	0.0	0.0	3.6	2.2	0.0	6.5	16.7
その他	0.0	0.0	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0

問 14 で何らかの医療的ケアを受けている方にお聞きします。

問 14－1 あなたは、医療的ケアに関して、困っていることや不安に思うことはありますか。(あてはまるものすべてに○印)

「いつ症状が急変するか怖い」の割合が 30.5%と最も高く、次いで「経済的な負担が大きい」の割合が 18.9%、「体調が変化した場合、医療機関を受診すべきか判断に迷う」の割合が 12.6%となっています。

【年齢別】

年齢別にみると、年齢が下がるほど「いつ症状が急変するか怖い」「医療者の対応に不安がある」「経済的な負担が大きい」「時間的制約により働きたくても働くことができない」の割合が高くなっています。

単位：％単位：％

区分	回答者数(件)	いつ症状が急変するか怖い	体調が変化した場合、医療機関を受診すべきか判断に迷う	日常的なケアや症状への対応が難しい	医療者の対応に不安がある	医療用物品の調達・管理が難しい	主たる介護者が、ケアによる身体的な負担が大きい	主たる介護者が、ケアにより自分の時間を持てない	経済的な負担が大きい	時間的制約により働きたくても働くことができない	医療的ケアが必要な方がいる家族同士のつながりがない	特筆したい内容・その他	無回答
全 体	190	30.5	12.6	10.0	4.2	3.7	12.1	6.8	18.9	5.8	1.1	15.8	32.1
18～39歳	14	35.7	14.3	21.4	14.3	7.1	14.3	14.3	42.9	14.3	0.0	14.3	7.1
40～64歳	45	33.3	11.1	6.7	4.4	0.0	8.9	2.2	22.2	8.9	2.2	17.8	31.1
65歳以上	128	28.9	13.3	10.2	3.1	4.7	12.5	7.0	14.1	3.9	0.8	15.6	35.9

【手帳の種類・診断別】

手帳の種類・診断別にみると、愛の手帳（療育手帳）で「いつ症状が急変するか怖い」「医療者の対応に不安がある」「主たる介護者が、ケアによる身体的な負担が大きい」「主たる介護者が、ケアにより自分の時間を持てない」「時間的制約により働きたくても働くことができない」、精神障害者保健福祉手帳で「日常的なケアや症状への対応が難しい」「経済的な負担が大きい」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	いつ症状が急変するか怖い	体調が変化した際、医療機関を受診すべきか判断に迷う	日常的なケアや症状への対応が難しい	医療者の対応に不安がある	医療用物品の調達・管理が難しい	主たる介護者が、ケアによる身体的な負担が大きい	主たる介護者が、ケアにより自分の時間を持てない	経済的な負担が大きい	時間的制約により働きたくても働くことができない	医療的ケアが必要な方がいる家族同士つながりがない	特筆したい内容・その他	無回答
全 体	190	30.5	12.6	10.0	4.2	3.7	12.1	6.8	18.9	5.8	1.1	15.8	32.1
身体障害者手帳	144	28.5	12.5	6.9	4.2	4.2	9.7	5.6	15.3	6.3	0.0	13.9	35.4
愛の手帳（療育手帳）	11	54.5	9.1	9.1	18.2	0.0	27.3	18.2	27.3	18.2	0.0	0.0	18.2
精神障害者保健福祉手帳	23	43.5	13.0	30.4	13.0	4.3	17.4	8.7	39.1	8.7	8.7	30.4	17.4
発達障害の診断を受けている	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
自立支援医療（精神通院医療）を受けている	25	36.0	12.0	24.0	12.0	4.0	24.0	12.0	36.0	4.0	4.0	16.0	24.0
難病又は小児慢性特定疾病の認定を受けている	21	42.9	19.0	14.3	4.8	4.8	19.0	9.5	23.8	4.8	0.0	23.8	14.3
その他	1	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

日常生活について

問 15 あなたは、平日に会社や福祉施設が終わってからどこで過ごしたいですか。（あてはまるものすべてに○印）

「自宅」の割合が 83.6%と最も高くなっています。

【年齢別】

年齢別にみると、年齢が下がるほど「自宅」「障害者向けのグループホームや短期入所（ショートステイ）」「カフェやレストランなどの飲食店」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	自宅	家族や友人の家	地域センター	地区センター	家族が帰ってくるまで、会社や福祉施設で過ごしたい	障害者向けのグループホームや短期入所（ショートステイ）	図書館や公民館などの公共施設	カフェやレストランなどの飲食店	趣味や習い事の教室	当事者会やピアサポートの集まり	福祉サービス事業所が主催する余暇活動やイベント	その他	無回答
全 体	960	83.6	4.7	0.9	0.9	0.7	3.4	4.6	9.1	5.2	1.1	2.4	4.4	10.4
18～39歳	136	89.7	9.6	0.0	0.0	1.5	10.3	4.4	14.7	8.1	2.2	7.4	4.4	2.2
40～64歳	343	89.2	5.0	0.3	0.0	0.9	3.5	4.7	12.0	4.7	1.5	1.5	2.9	4.7
65歳以上	468	77.8	3.2	1.7	1.9	0.4	1.5	4.7	5.3	4.9	0.6	1.7	5.6	16.9

【手帳の種類・診断別】

手帳の種類・診断別にみると、愛の手帳（療育手帳）で「障害者向けのグループホームや短期入所（ショートステイ）」「福祉サービス事業所が主催する余暇活動やイベント」、発達障害の診断を受けているで「図書館や公民館などの公共施設」「カフェやレストランなどの飲食店」「趣味や習い事の教室」「当事者会やピアサポートの集まり」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	自宅	家族や友人の家	地域センター	地区センター	福祉施設で過ごしたい	障害者向けのグループホームや短期入所（ショートステイ）	図書館や公民館などの公共施設	飲食店	趣味や習い事の教室	当事者会やピアサポートの集まり	福祉サービス事業所が主催する余暇活動やイベント	その他	無回答
全 体	960	83.6	4.7	0.9	0.9	0.7	3.4	4.6	9.1	5.2	1.1	2.4	4.4	10.4
身体障害者手帳	485	80.2	3.9	1.4	1.2	0.4	2.9	3.9	5.8	3.9	0.6	2.3	4.7	14.2
愛の手帳（療育手帳）	96	69.8	8.3	1.0	0.0	3.1	21.9	4.2	11.5	6.3	1.0	15.6	5.2	7.3
精神障害者保健福祉手帳	190	89.5	5.8	0.5	0.5	0.5	3.2	5.8	16.8	5.8	3.2	1.6	6.3	5.3
発達障害の診断を受けている	29	89.7	6.9	0.0	0.0	6.9	6.9	17.2	24.1	20.7	17.2	6.9	6.9	3.4
自立支援医療（精神通院医療）を受けている	229	89.5	4.8	1.3	0.4	0.9	3.1	5.7	14.8	7.4	3.5	0.9	4.4	5.2
難病又は小児慢性特定疾病の認定を受けている	138	89.9	5.8	0.7	1.4	0.0	1.4	5.8	10.1	5.8	0.7	2.2	1.4	8.0
その他	15	86.7	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	26.7	6.7	0.0	0.0	6.7	6.7

問16 あなたには、日常生活で困っていることはありますか。(あてはまるものすべてに○印)

「身体・健康のこと」の割合が34.8%と最も高く、次いで「将来の生活のこと」の割合が31.3%、「仕事や収入・生活費のこと」の割合が27.7%となっています。

【年齢別】

年齢別にみると、年齢が下がるほど「治療・訓練のこと」「仕事や収入・生活費のこと」「日常会話・コミュニケーションのこと」「学習活動や趣味の活動など」「友人関係、近所づきあい」「将来の生活のこと」「外出・買い物など」「保健・医療サービスに関すること」「福祉サービスに関すること」「金銭管理・契約などのこと」「結婚、性、恋愛などに関すること」「親や介助者の高齢化のこと」「相談できる方がいない(限られている)」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	治療・訓練のこと	仕事や収入・生活費のこと	日常会話・コミュニケーションのこと	学習活動や趣味の活動など	友人関係、近所づきあい	将来の生活のこと	外出・買い物など	保健・医療サービスに関すること	住宅・生活の場所のこと	福祉サービスに関すること
全 体	960	9.6	27.7	13.5	4.3	7.4	31.3	19.0	6.6	7.3	6.8
18～39歳	136	14.0	48.5	27.2	13.2	17.6	50.7	22.8	10.3	11.0	14.0
40～64歳	343	9.9	39.1	12.8	4.4	9.9	40.8	18.4	7.3	11.4	7.0
65歳以上	468	8.1	13.5	9.8	1.5	2.4	18.6	17.9	4.9	3.2	4.7

区分	進学・学校生活のこと	交通機関の利用に関すること	金銭管理・契約などのこと	身体・健康のこと	結婚、性、恋愛などに関すること	親や介助者の高齢化のこと	相談できる方がいない(限られている)	その他	特にない	無回答
全 体	0.9	10.8	9.6	34.8	4.5	18.4	11.9	3.5	23.1	7.2
18～39歳	5.9	11.8	25.0	32.4	14.7	29.4	18.4	2.2	14.0	2.9
40～64歳	0.3	10.2	12.8	36.4	6.4	22.4	17.5	2.9	19.2	5.2
65歳以上	0.0	11.1	2.6	34.8	0.2	12.2	5.8	4.5	28.6	10.0

【手帳の種類・診断別】

手帳の種類・診断別にみると、精神障害者保健福祉手帳で「仕事や収入・生活費のこと」、発達障害の診断を受けているで「日常会話・コミュニケーションのこと」「学習活動や趣味の活動など」「友人関係、近所づきあい」「将来の生活のこと」「住宅・生活の場所のこと」「金銭管理・契約などのこと」「相談できる方がいない（限られている）」、愛の手帳（療育手帳）で「福祉サービスに関すること」、愛の手帳（療育手帳）、発達障害の診断を受けているで「親や介護者の高齢化のこと」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	治療・訓練のこと	仕事や収入・生活費のこと	日常会話・コミュニケーションのこと	学習活動や趣味の活動など	友人関係、近所づきあい	将来の生活のこと	外出・買い物など	保健・医療サービスに関すること	住宅・生活の場所のこと	福祉サービスに関すること
全 体	960	9.6	27.7	13.5	4.3	7.4	31.3	19.0	6.6	7.3	6.8
身体障害者手帳	485	9.1	16.5	9.1	1.4	3.7	23.3	17.7	5.4	4.7	6.0
愛の手帳（療育手帳）	96	10.4	25.0	30.2	7.3	11.5	41.7	19.8	14.6	11.5	18.8
精神障害者保健福祉手帳	190	12.6	56.3	21.1	8.9	17.9	51.6	28.4	9.5	17.9	10.0
発達障害の診断を受けている	29	13.8	48.3	44.8	24.1	31.0	69.0	24.1	13.8	24.1	13.8
自立支援医療（精神通院医療）を受けている	229	10.0	49.3	21.4	10.5	14.0	45.4	21.4	9.6	14.0	8.3
難病又は小児慢性特定疾病の認定を受けている	138	10.9	21.7	8.0	1.4	4.3	24.6	16.7	2.9	4.3	2.2
その他	15	26.7	33.3	0.0	0.0	13.3	20.0	20.0	13.3	13.3	6.7

区分	進学・学校生活のこと	交通機関の利用に関すること	金銭管理・契約などのこと	身体・健康のこと	結婚、性、恋愛などに関すること	親や介護者の高齢化のこと	相談できる方がいない（限られている）	その他	特にない	無回答
全 体	0.9	10.8	9.6	34.8	4.5	18.4	11.9	3.5	23.1	7.2
身体障害者手帳	0.2	12.0	4.7	35.3	1.6	15.3	6.6	4.3	26.0	9.7
愛の手帳（療育手帳）	0.0	11.5	30.2	27.1	8.3	38.5	18.8	4.2	17.7	5.2
精神障害者保健福祉手帳	2.6	14.2	23.2	38.9	10.0	28.4	25.3	4.2	7.9	4.7
発達障害の診断を受けている	10.3	17.2	48.3	24.1	10.3	41.4	34.5	0.0	3.4	3.4
自立支援医療（精神通院医療）を受けている	2.2	12.7	20.1	35.4	7.4	25.8	22.7	2.6	13.5	4.8
難病又は小児慢性特定疾病の認定を受けている	0.0	8.7	2.2	37.0	5.8	18.1	6.5	0.0	34.8	2.9
その他	0.0	6.7	20.0	20.0	13.3	13.3	20.0	6.7	20.0	6.7

問 17 あなたは、日常生活で困った時に、誰に（どこに）相談・確認しますか。（あてはまるものすべてに○印）

「家族・親戚」の割合が71.1%と最も高く、次いで「医療関係者」の割合が29.6%、「近隣の方・友人・知人」の割合が13.3%となっています。

【年齢別】

年齢別にみると、年齢が下がるほど「近隣の方・友人・知人」「医療関係者」「福祉施設の職員」「インターネット、SNS」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	家族・親戚	近隣の方・友人・知人	医療関係者	福祉施設の職員	公的機関（市役所、保健所、児童相談所など）	民生委員・児童委員	同じ悩みや障害を持つ子の保護者	相談支援事業所	インターネット、SNS	その他	相談しない	無回答
全 体	960	71.1	13.3	29.6	13.2	13.2	0.5	0.8	5.2	5.6	5.3	5.8	6.0
18～39歳	136	75.0	20.6	35.3	19.9	12.5	0.0	2.2	11.0	11.8	6.6	5.1	2.9
40～64歳	343	68.8	13.7	32.1	12.8	12.0	0.0	1.2	3.5	8.2	6.1	7.3	3.5
65歳以上	468	72.2	11.3	26.7	11.8	14.5	1.1	0.2	4.7	2.1	4.5	4.7	8.1

【手帳の種類・診断別】

手帳の種類・診断別にみると、難病又は小児慢性特定疾病の認定を受けているで「家族・親戚」、自立支援医療（精神通院医療）を受けているで「近隣の方・友人・知人」、発達障害の診断を受けているで「医療関係者」「インターネット、SNS」、愛の手帳（療育手帳）で「福祉施設の職員」「公的機関（市役所、保健所、児童相談所など）」「同じ悩みや障害を持つ子の保護者」、愛の手帳（療育手帳）、発達障害の診断を受けているで「相談支援事業所」の割合が高くなっています。

単位：％

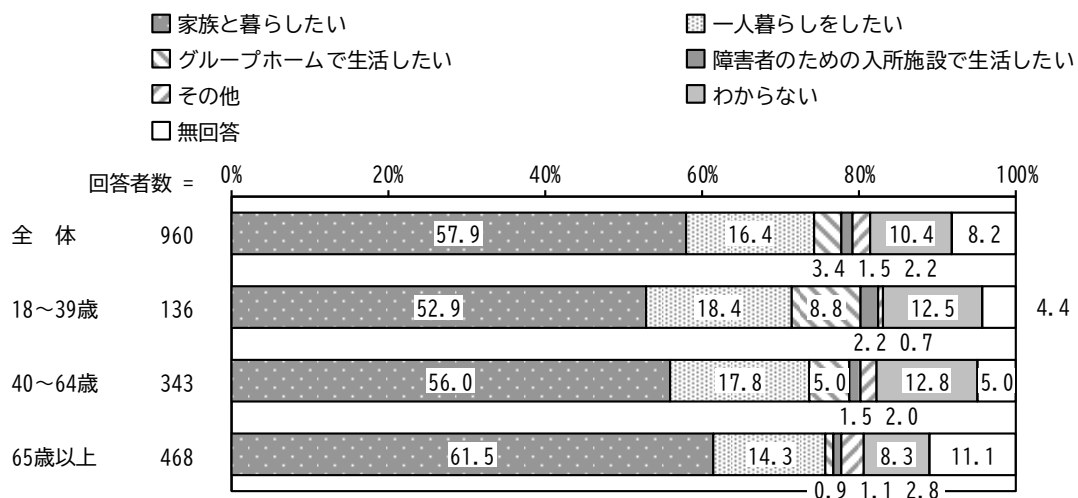
区分	回答者数 (件)	家族・親戚	近隣の方・友人・知人	医療関係者	福祉施設の職員	公的機関（市役所、保健所、児童相談所など）	民生委員・児童委員	同じ悩みや障害を持つ子の保護者	相談支援事業所	インターネット、SNS	その他	相談しない	無回答
全 体	960	71.1	13.3	29.6	13.2	13.2	0.5	0.8	5.2	5.6	5.3	5.8	6.0
身体障害者手帳	485	73.2	12.2	24.7	12.8	13.8	0.8	0.2	5.4	3.5	5.8	6.4	6.0
愛の手帳（療育手帳）	96	66.7	4.2	15.6	40.6	18.8	0.0	6.3	13.5	3.1	4.2	6.3	6.3
精神障害者保健福祉手帳	190	65.8	17.9	44.7	14.2	14.7	0.0	0.5	7.4	13.2	8.9	4.2	4.7
発達障害の診断を受けている	29	72.4	13.8	51.7	24.1	10.3	0.0	0.0	13.8	17.2	10.3	10.3	3.4
自立支援医療（精神通院医療）を受けている	229	68.6	19.2	41.5	13.1	13.1	0.4	1.3	6.1	12.7	5.2	4.4	4.8
難病又は小児慢性特定疾病の認定を受けている	138	79.0	12.3	33.3	6.5	10.1	0.0	0.0	2.2	5.1	2.2	4.3	6.5
その他	15	46.7	6.7	40.0	13.3	26.7	0.0	6.7	0.0	13.3	6.7	13.3	13.3

問18 あなたは今後、どのような生活の場で暮らしたいと思いますか。(○印は1つ)

「家族と暮らしたい」の割合が57.9%と最も高く、次いで「一人暮らしをしたい」の割合が16.4%となっています。

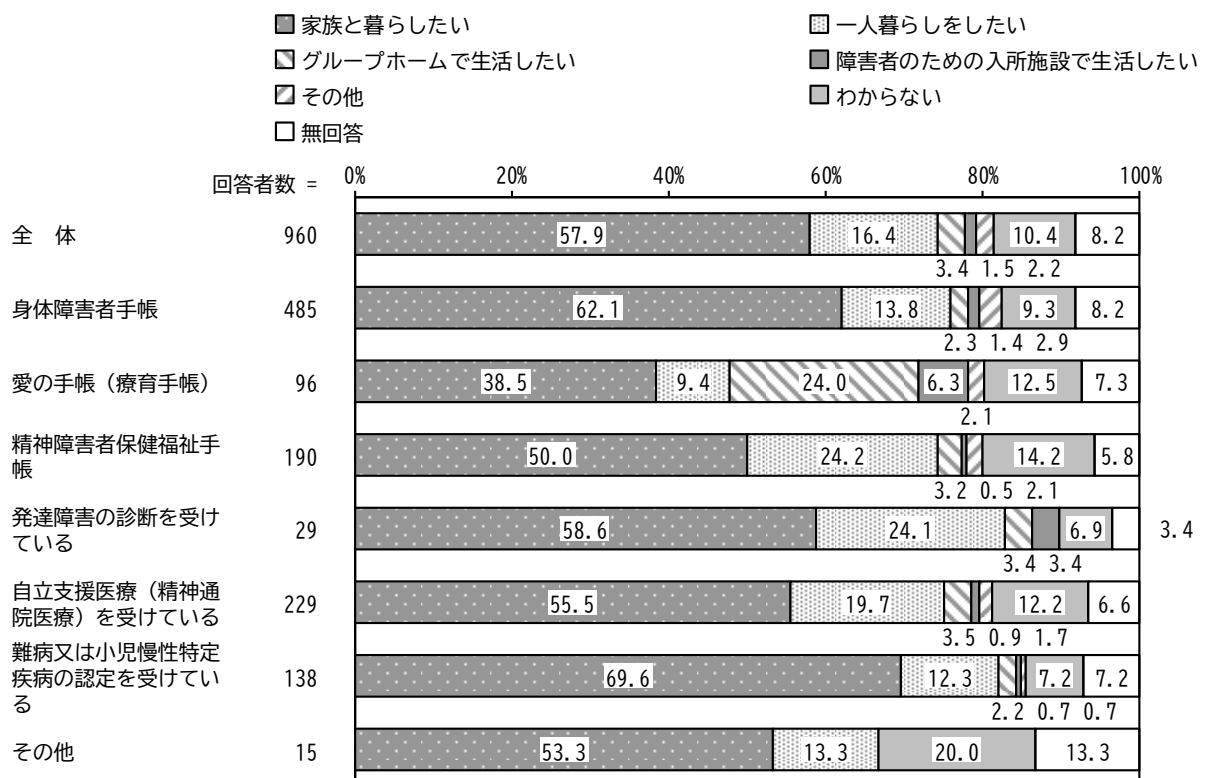
【年齢別】

年齢別にみると、年齢が上がるほど「家族と暮らしたい」の割合が高く、「一人暮らしをしたい」の割合が低くなっています。



【手帳の種類・診断別】

手帳の種類・診断別にみると、難病又は小児慢性特定疾病の認定を受けているで「家族と暮らしたい」、愛の手帳（療育手帳）で「グループホームで生活したい」の割合が高くなっています。

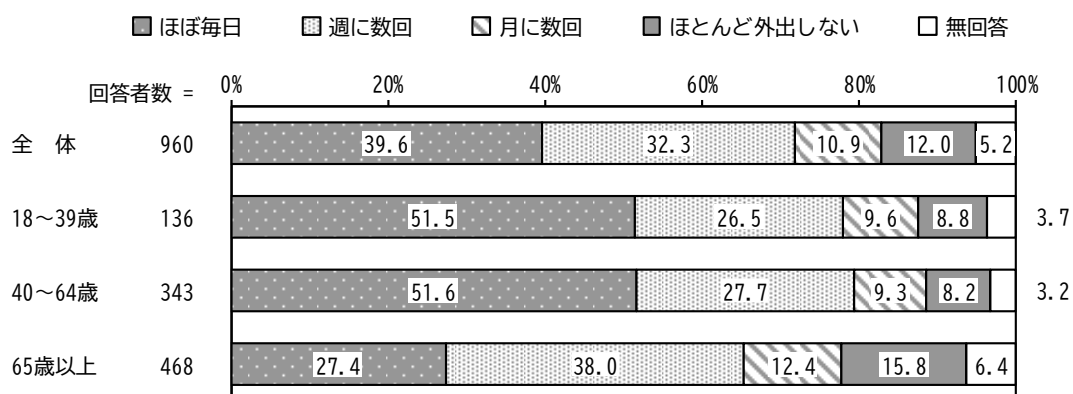


問 19 あなたは、普段どれくらい外出しますか。(○印は1つ)

「ほぼ毎日」の割合が 39.6%と最も高く、次いで「週に数回」の割合が 32.3%、「ほとんど外出しない」の割合が 12.0%となっています。

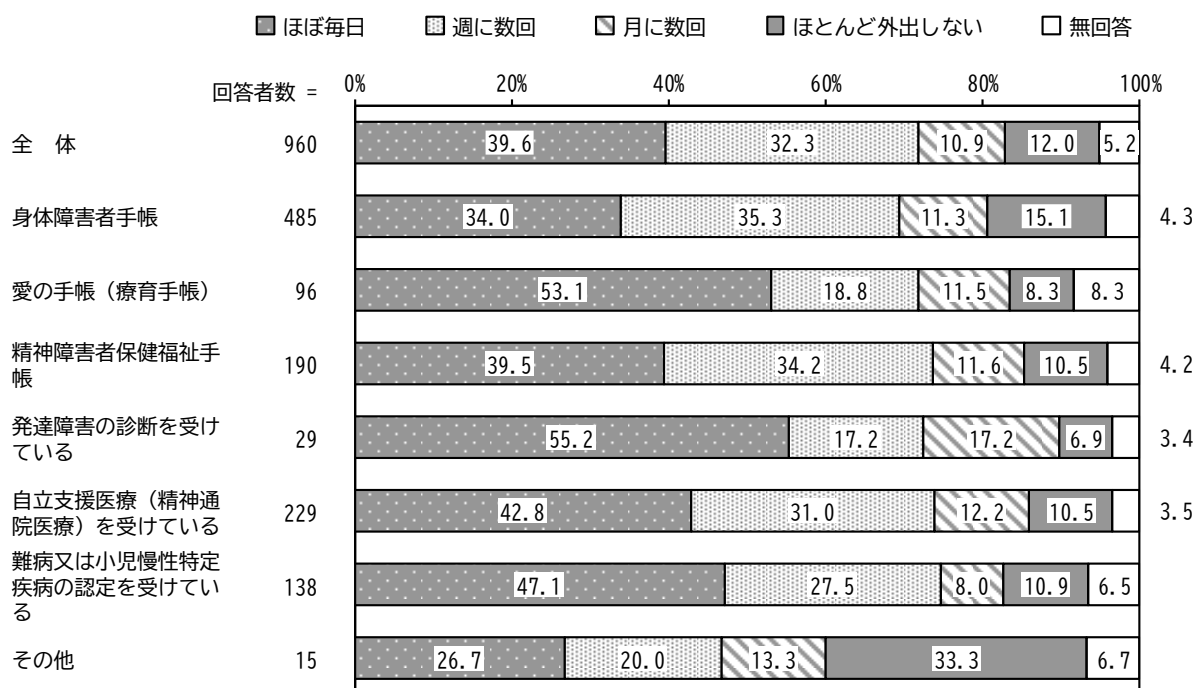
【年齢別】

年齢別にみると、年齢が上がるほど「週に数回」の割合が高くなっています。また、18～39 歳、40～64 歳で「ほぼ毎日」の割合が高くなっています。



【手帳の種類・診断別】

手帳の種類・診断別にみると、愛の手帳（療育手帳）、発達障害の診断を受けているで「ほぼ毎日」の割合が高く、「週に数回」の割合が低くなっています。



問 20 普段外出するときに、困り事や心配事は何ですか。(あてはまるものすべてに○印)

「交通費（運賃など）にお金がかかる」の割合が 16.5%と最も高く、次いで「道路や駅に階段や段差が多い」の割合が 15.9%、「休憩できる場所が少ない」の割合が 15.0%となっています。

【年齢別】

年齢別にみると、年齢が下がるほど「交通費（運賃など）にお金がかかる」「周囲の目が気になる」「発作など突然の体調不良が心配」「困った時にどうすればよいか心配」の割合が高く、「バスや電車などの乗り降りが難しい」「道路や駅に階段や段差が多い」「トイレやエレベーターなどの建物の設備が不便」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	バスや電車などの 公共交通機関が少 ない、またはない	バスや電車などの 乗り降りが難しい	道路や駅に階段や 段差が多い	切符の買い方や乗 換えがわかりにく い	トイレやエレベ ーターなどの建物 の設備が不便	介助者が確保でき ない	交通費（運賃など） にお金がかかる	ヘルパーの利用料 などにお金がかか る
全 体	960	6.6	14.8	15.9	4.6	10.1	4.3	16.5	4.4
18～39歳	136	5.1	8.1	4.4	8.1	5.1	5.1	22.1	6.6
40～64歳	343	7.6	11.4	14.0	3.8	7.9	2.9	20.7	3.5
65歳以上	468	6.0	19.7	20.9	4.3	13.2	5.1	11.8	4.5

区分	周囲の目が気にな る	周囲の方からの配 慮・手助けがない	発作など突然の体 調不良が心配	困った時にどうす ればよいか心配	休憩できる場所が 少ない	その他	特 に ない	無 回 答
全 体	7.1	2.8	12.7	12.1	15.0	6.7	34.1	9.3
18～39歳	15.4	2.9	20.6	16.9	14.7	11.0	35.3	2.9
40～64歳	11.4	3.8	17.2	12.8	15.2	6.1	34.7	7.3
65歳以上	1.5	2.1	7.3	10.3	15.2	6.0	33.3	12.0

【手帳の種類・診断別】

手帳の種類・診断別にみると、身体障害者手帳で「バスや電車などの乗り降りが難しい」、愛の手帳（療育手帳）で「切符の買い方や乗換えがわかりにくい」、精神障害者保健福祉手帳、発達障害の診断を受けているで「交通費（運賃など）にお金がかかる」「周囲の目が気になる」「発作など突然の体調不良が心配」、発達障害の診断を受けているで「休憩できる場所が少ない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	バスや電車などの公共交通機関が少ない、またはない	バスや電車などの乗り降りが難しい	道路や駅に階段や段差が多い	切符の買い方や乗換えがわかりにくい	トイレやエレベーターなどの建物の設備が不便	介助者が確保できない	交通費（運賃など）にお金がかかる	ヘルパーの利用料などにお金がかかる
全 体	960	6.6	14.8	15.9	4.6	10.1	4.3	16.5	4.4
身体障害者手帳	485	6.2	20.4	22.9	4.7	15.1	4.7	12.0	5.2
愛の手帳（療育手帳）	96	5.2	12.5	6.3	14.6	5.2	12.5	8.3	13.5
精神障害者保健福祉手帳	190	7.9	8.9	10.0	6.3	4.7	2.1	30.5	3.7
発達障害の診断を受けている	29	3.4	3.4	0.0	3.4	3.4	0.0	27.6	3.4
自立支援医療（精神通院医療）を受けている	229	7.9	7.9	10.5	4.4	4.8	2.2	26.6	3.9
難病又は小児慢性特定疾病の認定を受けている	138	9.4	18.1	15.9	1.4	13.0	4.3	15.2	2.9
その他	15	20.0	0.0	20.0	20.0	6.7	0.0	13.3	13.3

区分	周囲の目が気になる	周囲の方からの配慮・手助けがない	発作など突然の体調不良が心配	困った時にどうすればよいか心配	休憩できる場所が少ない	その他	特にない	無回答
全 体	7.1	2.8	12.7	12.1	15.0	6.7	34.1	9.3
身体障害者手帳	3.3	2.1	8.7	11.1	15.9	8.9	30.7	9.7
愛の手帳（療育手帳）	10.4	2.1	9.4	20.8	9.4	10.4	33.3	12.5
精神障害者保健福祉手帳	17.9	5.8	23.2	20.5	20.5	10.0	24.2	7.4
発達障害の診断を受けている	20.7	3.4	24.1	10.3	31.0	6.9	20.7	6.9
自立支援医療（精神通院医療）を受けている	13.5	3.1	22.3	16.2	17.5	4.8	31.0	7.4
難病又は小児慢性特定疾病の認定を受けている	1.4	6.5	13.8	9.4	15.2	2.2	42.8	9.4
その他	6.7	0.0	0.0	13.3	26.7	6.7	33.3	13.3

問 21 あなたが生活していく上での収入は何ですか。(あてはまるものすべてに○印)

「年金・手当など」の割合が 64.5%と最も高く、次いで「勤め先の給与・賃金」の割合が 26.1%、「家族の収入・親戚などの援助」の割合が 22.5%となっています。

【年齢別】

年齢別にみると、年齢が下がるほど「勤め先の給与・賃金」の割合が高くなっています。また、65 歳以上で「年金・手当など」、18～39 歳で「家族の収入・親戚などの援助」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	勤め先の給与・賃金	通所施設・事業所などの賃金・工賃	事業収入(自営業など)	財産収入(家賃収入など)	年金・手当など	家族の収入・親戚などの援助	生活保護費	その他	無回答
全 体	960	26.1	4.1	2.0	3.0	64.5	22.5	7.7	2.0	4.6
18～39歳	136	55.1	8.8	1.5	0.7	43.4	36.8	2.9	2.9	2.9
40～64歳	343	42.0	7.6	2.0	0.9	44.6	30.9	11.4	2.6	3.5
65歳以上	468	5.8	0.2	2.1	5.3	85.7	12.6	6.6	1.3	5.3

【手帳の種類・診断別】

手帳の種類・診断別にみると、発達障害の診断を受けているで「勤め先の給与・賃金」、愛の手帳（療育手帳）で「通所施設・事業所などの賃金・工賃」、身体障害者手帳で「年金・手当など」、発達障害の診断を受けている、自立支援医療（精神通院医療）を受けているで「家族の収入・親戚などの援助」の割合が高くなっています。

単位：％

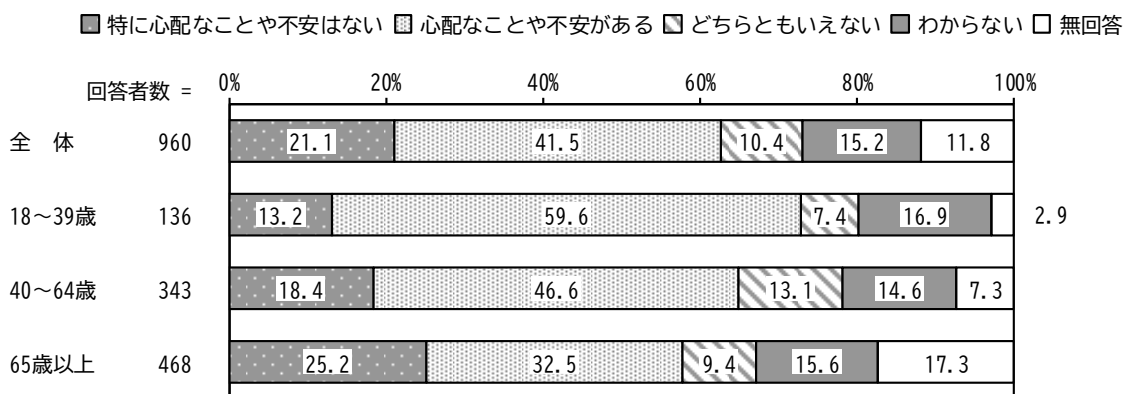
区分	回答者数 (件)	勤め先の給与・賃金	通所施設・事業所などの賃金・工賃	事業収入(自営業など)	財産収入(家賃収入など)	年金・手当など	家族の収入・親戚などの援助	生活保護費	その他	無回答
全 体	960	26.1	4.1	2.0	3.0	64.5	22.5	7.7	2.0	4.6
身体障害者手帳	485	15.1	2.9	1.9	3.7	79.4	14.6	5.4	2.1	3.3
愛の手帳（療育手帳）	96	33.3	19.8	1.0	2.1	65.6	32.3	6.3	1.0	5.2
精神障害者保健福祉手帳	190	32.6	7.9	2.1	1.1	58.9	33.7	15.8	3.2	5.3
発達障害の診断を受けている	29	51.7	0.0	3.4	0.0	44.8	37.9	0.0	3.4	3.4
自立支援医療（精神通院医療）を受けている	229	34.5	4.4	2.6	3.1	46.3	35.8	11.8	2.6	4.4
難病又は小児慢性特定疾病の認定を受けている	138	37.7	0.7	2.2	2.2	53.6	23.9	1.4	0.7	5.8
その他	15	26.7	0.0	0.0	6.7	46.7	13.3	6.7	13.3	13.3

問 22 あなた（ご本人）やご家族、介助してくれる方は、あなた（ご本人）の”親が亡くなった後”や、将来の生活について、心配なことや不安がありますか。（○印は1つ）

「特に心配なことや不安はない」の割合が 21.1%、「心配なことや不安がある」の割合が 41.5%、「どちらともいえない」の割合が 10.4%となっています。

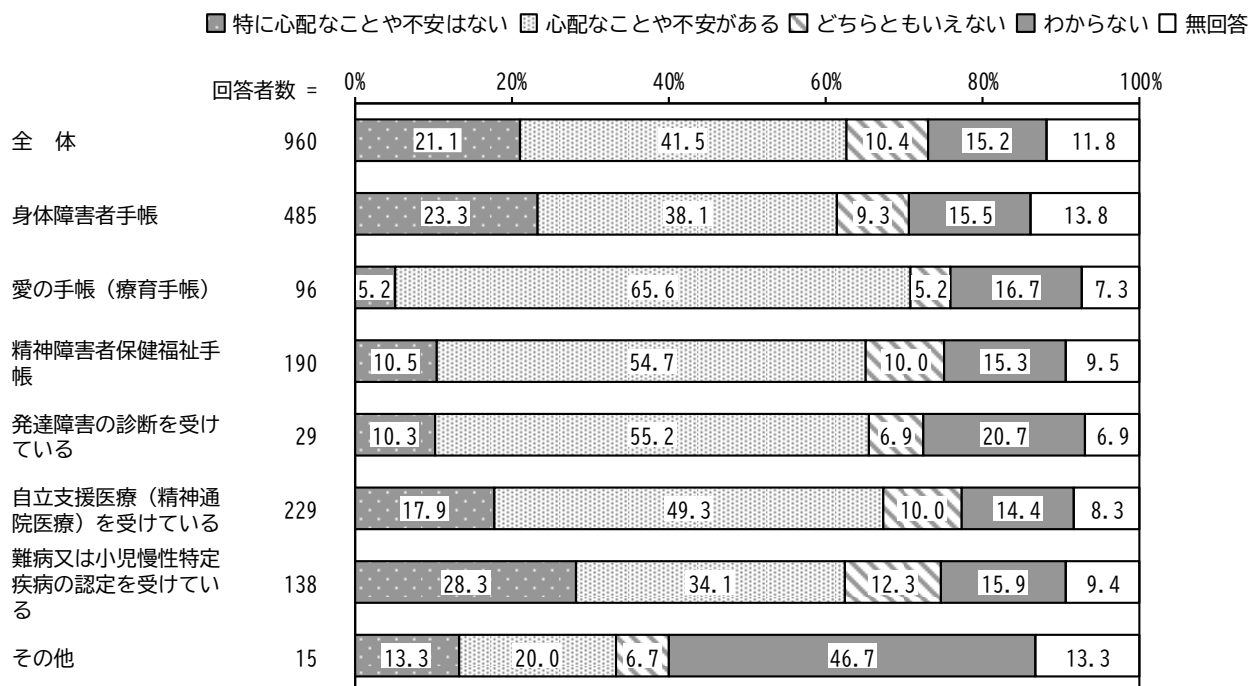
【年齢別】

年齢別にみると、年齢が上がるほど「特に心配なことや不安はない」の割合が高く、「心配なことや不安がある」の割合が低くなっています。



【手帳の種類・診断別】

手帳の種類・診断別にみると、愛の手帳（療育手帳）で「心配なことや不安がある」の割合が高く、「特に心配なことや不安はない」の割合が低くなっています。



問 23 あなた（ご本人）やご家族は、「親が亡くなった後」の生活に関するつぎのことについて、心配や不安を感じていますか。（あてはまるものすべてに○印）

「災害や急病などの緊急時」の割合が 28.9%と最も高く、次いで「生活に必要な収入」の割合が 27.7%、「日常的な介助や家事の援助」の割合が 23.9%となっています。

【年齢別】

年齢別にみると、年齢が下がるほど「住む場所」「日常的な意思決定や支援」「相談できる方や機関」「医療機関の受診」「生活に必要な収入」「お金の管理や支援」「日中を過ごす場」「休みの日の過ごし方」「災害や急病などの緊急時」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	住む場所	日常的な 事の援助	日常的な 意思決定 や支援	相談できる方 や機関	医療機関 の受診	生活に必要 な収入	お金の管理 や支援	日中を過 す場	休みの日 の過ごし 方	緊急時	災害や急 病などの	その他	無回答
全 体	960	19.4	23.9	15.0	18.8	19.6	27.7	23.4	7.3	6.9	28.9		9.5	27.0
18～39歳	136	41.2	32.4	34.6	36.0	31.6	48.5	50.0	13.2	20.6	33.1		7.4	13.2
40～64歳	343	24.2	19.5	15.7	23.9	18.1	35.9	26.2	10.2	8.2	29.4		10.5	21.9
65歳以上	468	9.2	24.4	8.5	10.0	17.5	16.0	13.9	3.2	2.1	27.8		9.4	34.2

【手帳の種類・診断別】

手帳の種類・診断別にみると、愛の手帳（療育手帳）で「住む場所」「日常的な介助や家事の援助」「日常的な意思決定や支援」「医療機関の受診」「お金の管理や支援」「日中を過ごす場」「休みの日の過ごし方」「災害や急病などの緊急時」、愛の手帳（療育手帳）、精神障害者保健福祉手帳、発達障害の診断を受けているで「相談できる方や機関」、精神障害者保健福祉手帳で「生活に必要な収入」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	住む場所	事 の 援 助	日 常 的 な 介 助 や 家 の 支 援	日 常 的 な 意 思 決 定 や 支 援	関 連 相 談 で き る 方 や 機 関	医 療 機 関 の 受 診	生 活 に 必 要 な 収 入	お 金 の 管 理 や 支 援	日 中 を 過 ご す 場 所	休 み の 日 の 過 ご し 方	災 害 や 急 病 な ど の 緊 急 時	そ の 他	無 回 答
全 体	960	19.4	23.9	15.0	18.8	19.6	27.7	23.4	7.3	6.9	28.9	9.5	27.0	
身体障害者手帳	485	12.6	26.4	11.1	12.4	20.8	20.4	16.3	3.7	3.1	30.7	10.3	29.7	
愛の手帳（療育手帳）	96	45.8	42.7	44.8	35.4	41.7	37.5	54.2	28.1	28.1	49.0	6.3	10.4	
精神障害者保健福祉手帳	190	26.3	26.8	24.2	34.2	20.5	45.8	39.5	11.1	11.6	32.6	11.1	16.3	
発達障害の診断を受けている	29	37.9	31.0	37.9	34.5	24.1	41.4	44.8	10.3	10.3	41.4	10.3	13.8	
自立支援医療（精神通院医療）を受けている	229	27.9	21.4	19.7	31.4	22.3	40.2	31.9	9.2	8.7	29.3	8.7	18.3	
難病又は小児慢性特定疾病の認定を受けている	138	16.7	18.8	8.0	15.2	16.7	20.3	20.3	6.5	4.3	25.4	7.2	37.0	
その他	15	26.7	0.0	0.0	13.3	13.3	46.7	33.3	6.7	0.0	33.3	6.7	13.3	

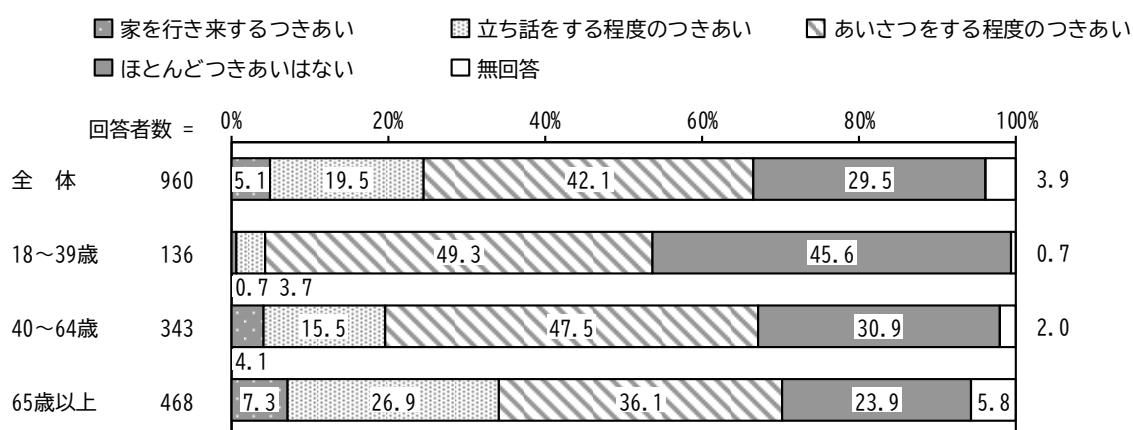
地域での生活について

問 24 あなたは、普段、近所の方とどの程度おつきあいをしていますか。(○印は1つ)

「あいさつをする程度のつきあい」の割合が 42.1%と最も高く、次いで「ほとんどつきあいはない」の割合が 29.5%、「立ち話をする程度のつきあい」の割合が 19.5%となっています。

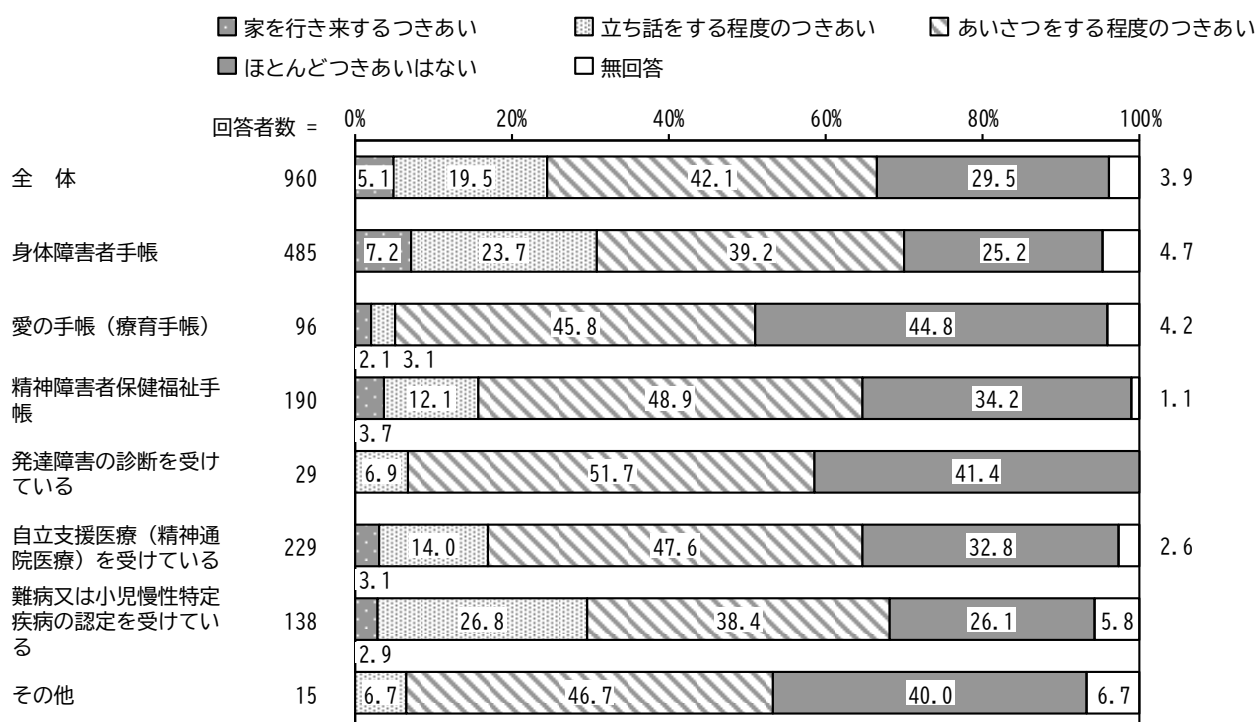
【年齢別】

年齢別にみると、年齢が低くなるほど「あいさつをする程度のつきあい」の割合が高くなっています。また、18～39歳で「ほとんどつきあいはない」の割合が高く、「立ち話をする程度のつきあい」の割合が低くなっています。



【手帳の種類・診断別】

手帳の種類・診断別にみると、愛の手帳（療育手帳）で「ほとんどつきあいはない」の割合が高く、「立ち話をする程度のつきあい」の割合が低くなっています。

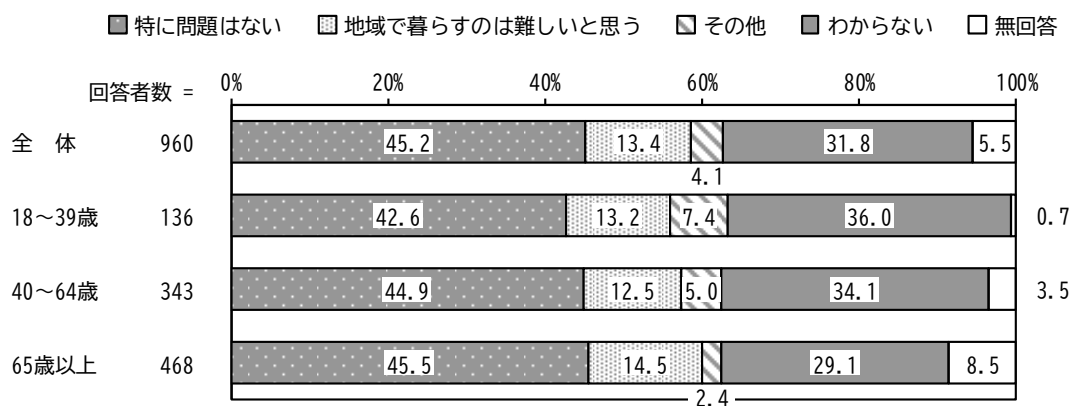


問 25 障害者が入所施設で生活するのではなく、今後、住み慣れた地域で暮らしていくことについてどう思いますか。(○印は1つ)

「特に問題はない」の割合が 45.2%、「地域で暮らすのは難しいと思う」の割合が 13.4%となっています。

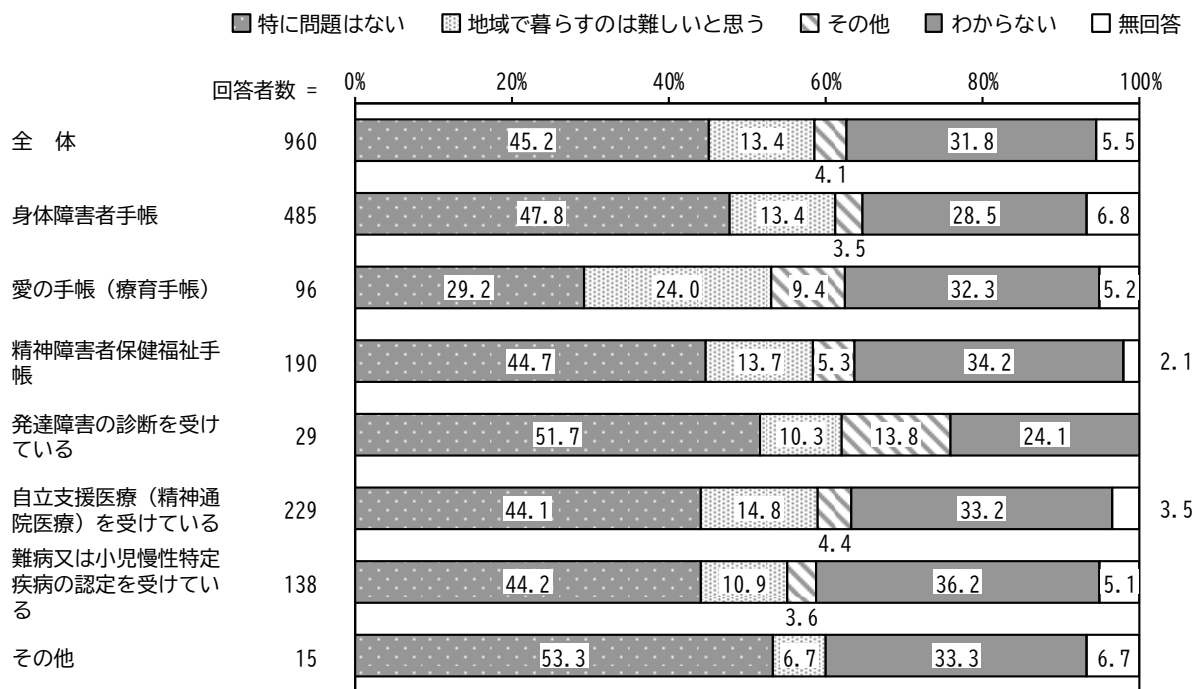
【年齢別】

年齢別にみると、大きな差はみられません。



【手帳の種類・診断別】

手帳の種類・診断別にみると、愛の手帳（療育手帳）で「地域で暮らすのは難しいと思う」の割合が高くなっています。



問 26 あなたは、障害者が地域で生活していくためには何が必要だと思いますか。(特に必要と思われるもの3つまで○印)

「地域生活やサービス利用に関する相談支援」の割合が 38.8%と最も高く、次いで「利用しやすい医療機関」の割合が 27.0%、「訪問系サービスの充実」の割合が 23.4%となっています。

【年齢別】

年齢別にみると、年齢が下がるほど「地域生活やサービス利用に関する相談支援」「日中の活動・訓練場所や作業所の充実」「グループホームの拡充」「一般就労するための支援」「地域の方たちの障害に対する理解」の割合が高く、「交通機関や施設などのバリアフリー化」の割合が低くなっています。また、40～64 歳で「障害者のための住宅の確保」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	地域生活やサービス 利用に関する相談支援	訪問系サービスの充実	日中の活動・訓練場所 や作業所の充実	グループホームの拡充	手話などによるコミュニ ケーションの支援	失語症によりコミュニ ケーションが難しい方 への意思疎通支援	障害者のための住宅の 確保
全 体	960	38.8	23.4	14.8	9.6	1.0	3.0	19.1
18～39歳	136	46.3	26.5	26.5	16.9	1.5	0.7	19.9
40～64歳	343	39.4	22.2	18.1	11.1	1.5	4.1	26.5
65歳以上	468	35.9	23.7	9.0	6.2	0.6	3.0	13.0

区分	利用しやすい医療機関	一般就労するための支 援	交通機関や施設などの バリアフリー化	地域の方たちの障害に 対する理解	その他	特に困っていることは ない	無回答
全 体	27.0	10.7	13.1	18.5	2.6	13.0	9.4
18～39歳	32.4	19.1	7.4	24.3	3.7	8.1	2.9
40～64歳	21.9	15.7	11.7	22.2	2.6	9.6	7.9
65歳以上	29.5	4.3	15.8	13.7	2.1	16.9	12.6

【手帳の種類・診断別】

手帳の種類・診断別にみると、愛の手帳（療育手帳）で「日中の活動・訓練場所や作業所の充実」「グループホームの拡充」、発達障害の診断を受けているで「一般就労するための支援」「地域の方たちの障害に対する理解」の割合が、難病又小児慢性特定疾病の認定を受けているで「訪問系サービスの充実」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	地域生活やサービス利用に関する相談支援	訪問系サービスの充実	日中の活動・訓練場所や作業所の充実	グループホームの拡充	手話などによるコミュニケーションの支援	失語症によりコミュニケーションが難しい方への意思疎通支援	障害者のための住宅の確保
全 体	960	38.8	23.4	14.8	9.6	1.0	3.0	19.1
身体障害者手帳	485	36.5	24.7	10.1	6.6	0.8	3.9	16.5
愛の手帳（療育手帳）	96	40.6	19.8	26.0	35.4	1.0	1.0	22.9
精神障害者保健福祉手帳	190	38.4	26.3	18.4	6.8	1.6	3.2	28.9
発達障害の診断を受けている	29	34.5	17.2	24.1	3.4	10.3	3.4	20.7
自立支援医療（精神通院医療）を受けている	229	40.6	18.8	18.8	8.3	1.7	1.3	25.3
難病又は小児慢性特定疾病の認定を受けている	138	39.1	30.4	15.2	8.7	0.7	2.2	18.8
その他	15	33.3	26.7	13.3	6.7	0.0	6.7	13.3

区分	利用しやすい医療機関	援 一般就労するための支援	交通機関や施設などのバリアフリー化	地域の方たちの障害に対する理解	その他	特に困っていることはない	無回答
全 体	27.0	10.7	13.1	18.5	2.6	13.0	9.4
身体障害者手帳	29.9	5.8	15.3	14.8	2.3	15.1	9.7
愛の手帳（療育手帳）	26.0	9.4	5.2	16.7	3.1	6.3	13.5
精神障害者保健福祉手帳	21.6	21.1	6.8	24.7	4.7	8.4	7.4
発達障害の診断を受けている	20.7	31.0	10.3	31.0	6.9	6.9	6.9
自立支援医療（精神通院医療）を受けている	26.2	17.5	10.0	27.1	3.1	10.0	7.9
難病又は小児慢性特定疾病の認定を受けている	26.1	8.0	17.4	18.1	2.2	15.9	6.5
その他	13.3	20.0	20.0	6.7	0.0	6.7	20.0

問 27 あなたは、相手とコミュニケーションをする時や必要な情報を利用する時に、特に困るのはどのような場合ですか。(あてはまるものすべてに○印)

「初めて行くところに出かける時」の割合が 34.7%と最も高く、次いで「病院にかかった時」の割合が 20.5%、「買い物をする時」の割合が 14.2%となっています。

【年齢別】

年齢別にみると、年齢が下がるほど「飲食店を利用する時」「初めて行くところに出かける時」「銀行を利用する時」「旅行をする時」「買い物をする時」「スポーツやレクリエーションに参加する時」「住まいを探す時」「仕事をする時」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	飲食店を利用する時	初めて行くところに出かける時	銀行を利用する時	病院にかかった時	旅行をする時	買い物をする時	スポーツやレクリエーションに参加する時	住まいを探す時	仕事をする時	その他	無回答
全 体	960	9.8	34.7	11.5	20.5	12.5	14.2	6.9	9.8	11.6	13.0	30.4
18～39歳	136	12.5	44.1	17.6	25.0	17.6	19.9	13.2	19.1	28.7	14.7	16.2
40～64歳	343	11.1	39.4	11.4	19.0	12.2	13.1	7.3	12.8	17.5	14.6	24.2
65歳以上	468	8.1	28.6	10.0	20.7	11.3	13.0	4.7	4.9	1.9	10.9	39.3

【手帳の種類・診断別】

手帳の種類・診断別にみると、愛の手帳（療育手帳）で「飲食店を利用する時」「銀行を利用する時」「病院にかかった時」「買い物をする時」、愛の手帳（療育手帳）、発達障害の診断を受けているで「初めて行くところに出かける時」、発達障害の診断を受けているで「スポーツやレクリエーションに参加する時」「住まいを探す時」「仕事をする時」の割合が高くなっています。

単位：％

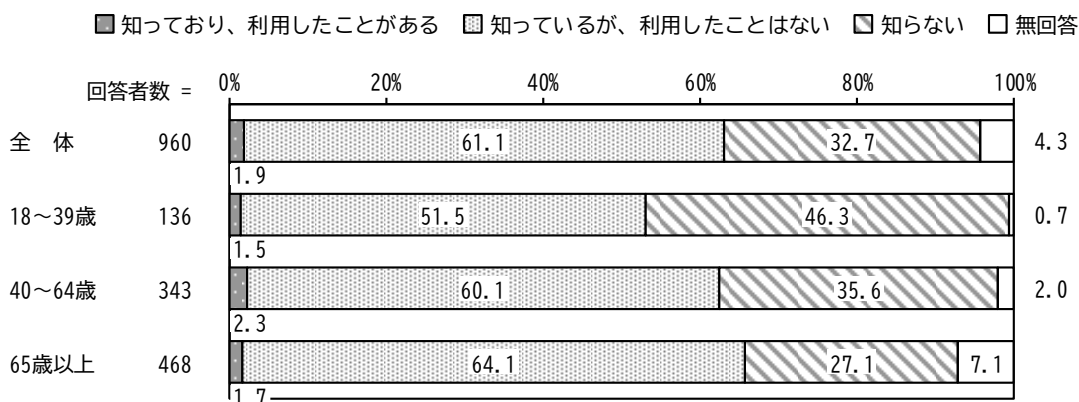
区分	回答者数(件)	飲食店を利用する時	初めて行くところに出かける時	銀行を利用する時	病院にかかった時	旅行をする時	買い物をする時	スポーツやレクリエーションに参加する時	住まいを探す時	仕事をする時	その他	無回答
全 体	960	9.8	34.7	11.5	20.5	12.5	14.2	6.9	9.8	11.6	13.0	30.4
身体障害者手帳	485	10.7	30.7	12.8	21.9	14.2	14.0	5.6	5.6	5.8	12.2	35.9
愛の手帳（療育手帳）	96	26.0	47.9	34.4	44.8	20.8	31.3	15.6	18.8	18.8	18.8	8.3
精神障害者保健福祉手帳	190	10.0	43.7	11.1	21.1	13.7	17.9	10.0	18.4	24.7	14.2	14.7
発達障害の診断を受けている	29	6.9	48.3	13.8	20.7	17.2	6.9	27.6	27.6	44.8	10.3	13.8
自立支援医療（精神通院医療）を受けている	229	7.4	43.7	9.2	15.3	12.2	14.0	9.6	15.3	17.9	14.8	18.3
難病又は小児慢性特定疾病の認定を受けている	138	7.2	29.0	5.8	15.2	8.7	12.3	4.3	6.5	7.2	8.0	43.5
その他	15	13.3	20.0	0.0	33.3	13.3	20.0	0.0	6.7	26.7	0.0	33.3

問 28 あなたは、成年後見制度について知っていますか。また、利用したことはありますか。(○印は1つ)

「知っており、利用したことがある」の割合が 1.9%、「知っているが、利用したことはない」の割合が 61.1%、「知らない」の割合が 32.7%となっています。

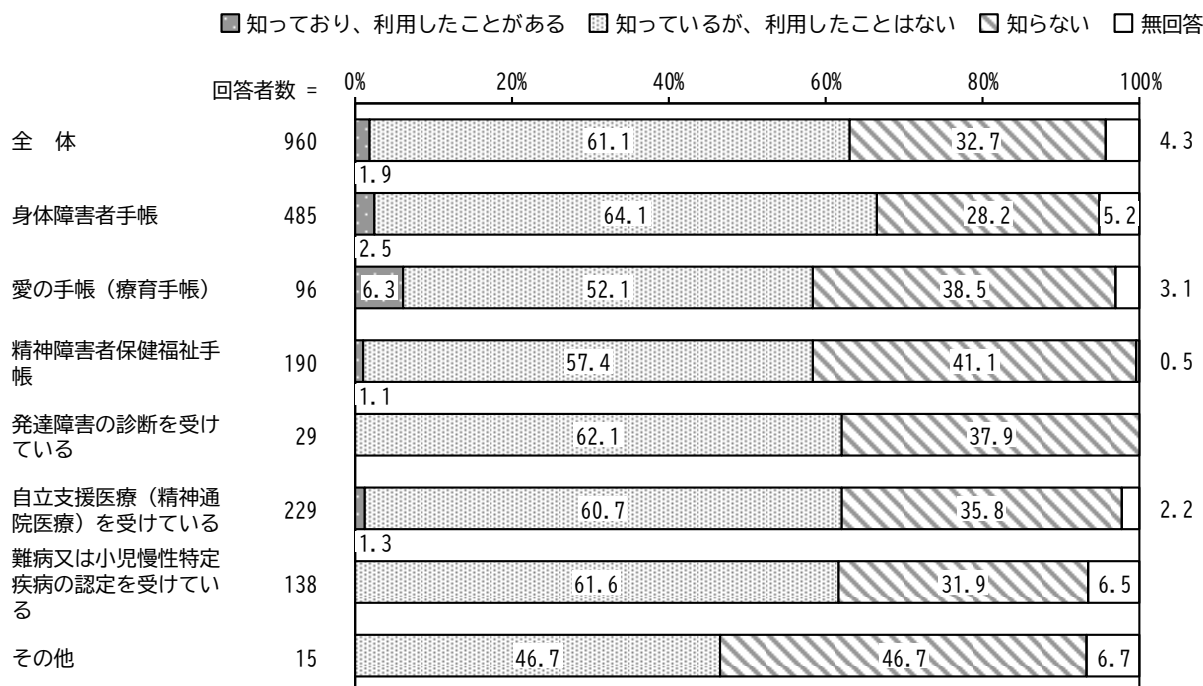
【年齢別】

年齢別にみると、年齢が上がるほど「知っているが、利用したことはない」の割合が高く、「知らない」の割合が低くなっています。



【手帳の種類・診断別】

手帳の種類・診断別にみると、愛の手帳（療育手帳）、精神障害者保健福祉手帳で「知らない」の割合が高く、愛の手帳（療育手帳）で「知っているが、利用したことはない」の割合が低くなっています。

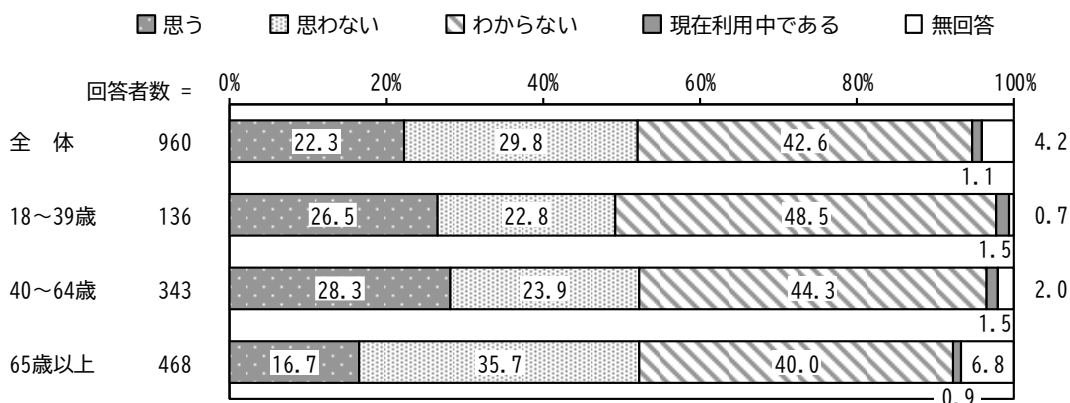


問 29 将来的にあなたご自身がいろいろな契約や手続きをする際にひとりで決めることに不安や心配のある場合、成年後見制度を利用したいと思いますか。(○印は1つ)

「思う」の割合が22.3%、「思わない」の割合が29.8%となっています。

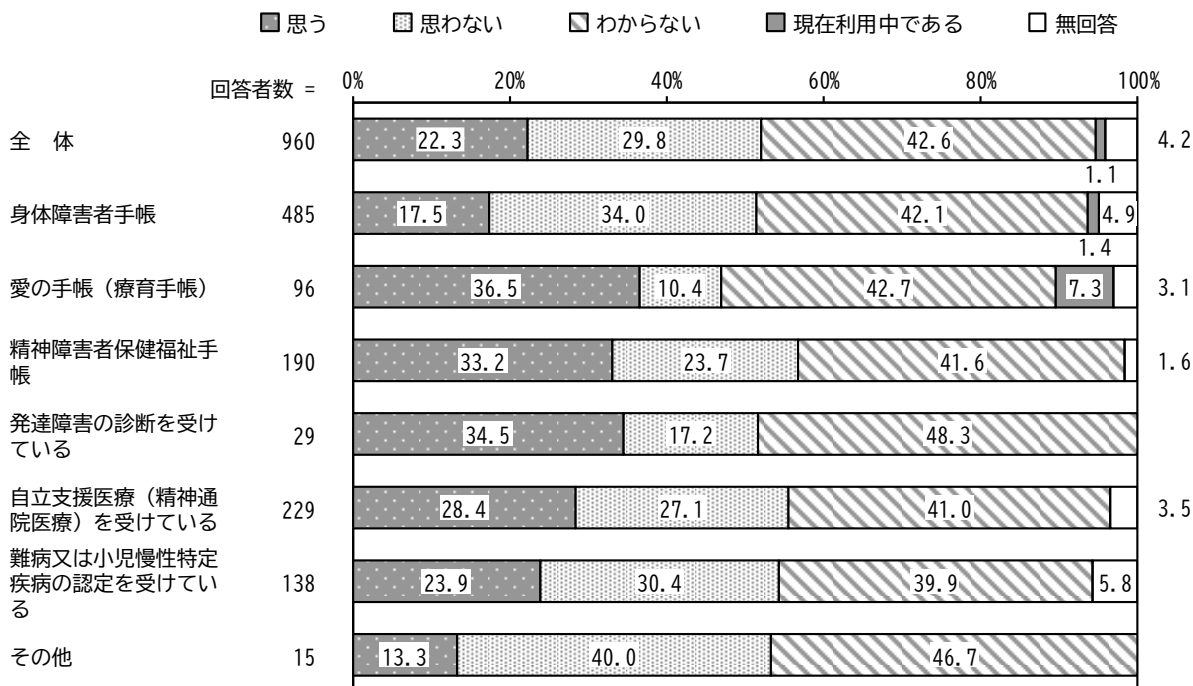
【年齢別】

年齢別にみると、年齢が上がるほど「思わない」の割合が高くなっています。



【手帳の種類・診断別】

手帳の種類・診断別にみると、愛の手帳（療育手帳）、発達障害の診断を受けているで「思う」の割合が高くなっています。

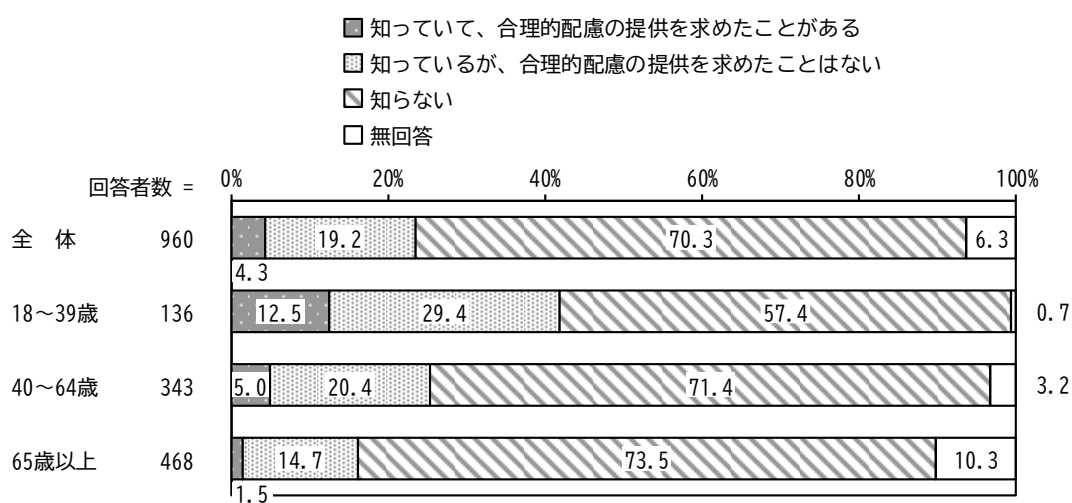


問 30 障害者差別解消法が改正され、令和6年から事業者等による障害のある方への「合理的配慮の提供」が義務化されました。「合理的配慮の提供」とは、障害のある方から社会の中にある障壁を取り除くための何らかの配慮を求める意思表示があったときに、負担が重すぎない範囲で対応することです。あなたは、合理的配慮の提供について知っていますか。(○印は1つ)

「知っていて、合理的配慮の提供を求めたことがある」の割合が 4.3%、「知っているが、合理的配慮の提供を求めたことはない」の割合が 19.2%、「知らない」の割合が 70.3%となっています。

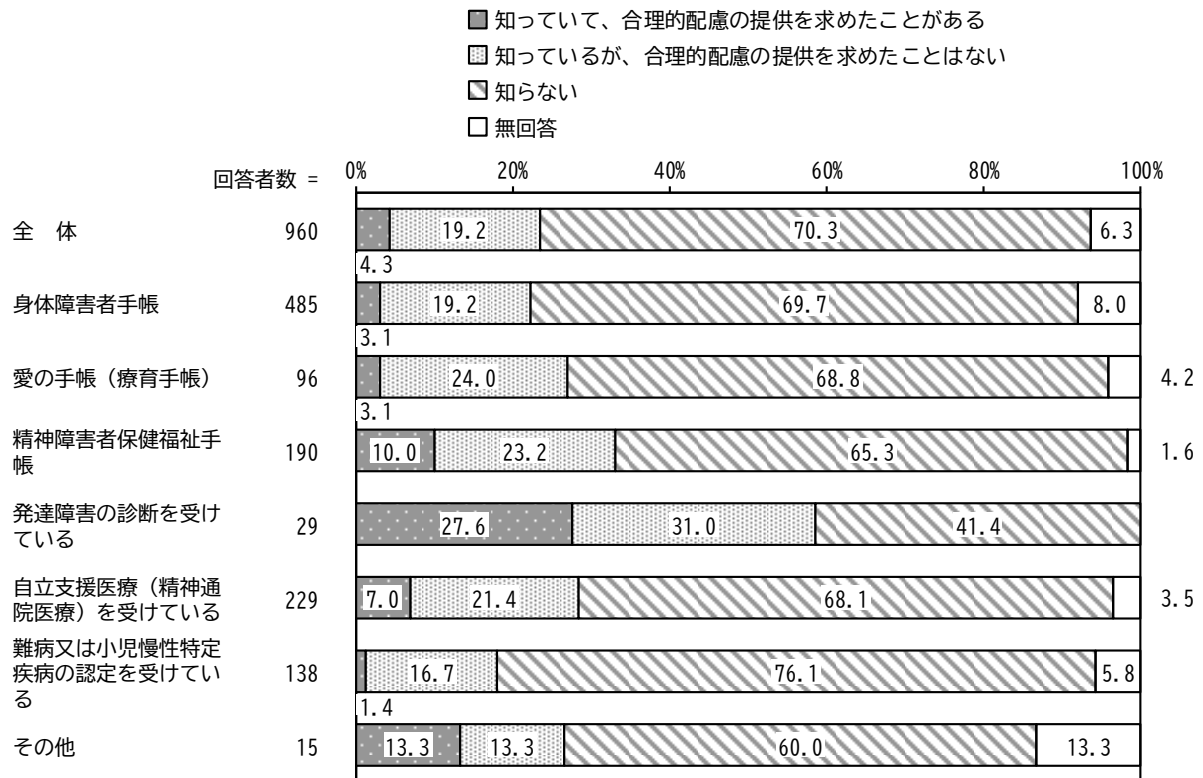
【年齢別】

年齢別にみると、年齢が下がるほど「知っていて、合理的配慮の提供を求めたことがある」「知っているが、合理的配慮の提供を求めたことはない」の割合が高く、「知らない」の割合が低くなっています。



【手帳の種類・診断別】

手帳の種類・診断別にみると、発達障害の診断を受けているで「知っていて、合理的配慮の提供を求めたことがある」「知っているが、合理的配慮の提供を求めたことはない」の割合が高くなっています。



問 31 あなたは、合理的配慮の提供がなされていないと感じた時、どのようなアクションを取りますか。(あてはまるものすべてに○印)

「その場で指摘して対応を求める」の割合が 15.4%、「事後に事業者に問い合わせで改善を求める」の割合が 17.4%、「行政窓口へ相談する」の割合が 32.3%となっています。

【年齢別】

年齢別にみると、年齢が上がるほど「行政窓口へ相談する」の割合が高く、「事後に事業者に問い合わせで改善を求める」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	その場で 指摘して 対応を 求める	事後に 事業者 に問 い合 わ せ て 改 善 を 求 める	行政 窓口 へ 相 談 す る	その他	何もしない	無回答
全 体	960	15.4	17.4	32.3	5.8	29.0	13.2
18～39歳	136	14.7	37.5	24.3	9.6	33.8	3.7
40～64歳	343	15.5	18.7	28.9	7.6	35.0	8.2
65歳以上	468	15.6	11.1	37.0	3.4	22.9	19.9

【手帳の種類・診断別】

手帳の種類・診断別にみると、発達障害の診断を受けているで「事後に事業者に問い合わせで改善を求める」、難病又は小児慢性特定疾病の認定を受けているで「行政窓口へ相談する」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	その場で 指摘して 対応を 求める	事後に 事業者 に問 い合 わ せ て 改 善 を 求 める	行政 窓口 へ 相 談 す る	その他	何もしない	無回答
全 体	960	15.4	17.4	32.3	5.8	29.0	13.2
身体障害者手帳	485	16.9	14.4	34.2	4.9	23.9	17.1
愛の手帳（療育手帳）	96	11.5	26.0	28.1	13.5	29.2	10.4
精神障害者保健福祉手帳	190	13.2	23.7	26.3	8.4	34.2	7.9
発達障害の診断を受けている	29	10.3	31.0	24.1	6.9	37.9	3.4
自立支援医療（精神通院医療）を受けている	229	15.7	21.0	28.8	7.4	36.2	6.6
難病又は小児慢性特定疾病の認定を受けている	138	15.9	16.7	37.7	5.1	27.5	13.0
その他	15	20.0	6.7	40.0	6.7	40.0	13.3

問 32 あなたは、障害への理解を進めていくためにどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。（あてはまるものすべてに○印）

「学校や生涯学習での障害に関する教育や情報」、「地域や学校等で障害への理解を学ぶ機会を増やすこと」の割合が 39.7%と最も高く、次いで「障害者の一般就労の促進」の割合が 29.9%となっています。

【年齢別】

年齢別にみると、年齢が下がるほど「障害者作品展やイベントの開催」「障害に関する講演会や疑似体験会の開催」「学校や生涯学習での障害に関する教育や情報」「地域や学校等で障害への理解を学ぶ機会を増やすこと」「障害者の一般就労の促進」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	障害や障害者に関するパンフレットの発行	障害者作品展やイベントの開催	障害に関する講演会や疑似体験会の開催	学校や生涯学習での障害に関する教育や情報	地域や学校等で障害への理解を学ぶ機会を増やすこと	地域での交流の機会を増やして、地域の方とつながりを持つこと	障害者の一般就労の促進	その他	無回答
全 体	960	18.6	7.8	19.0	39.7	39.7	28.3	29.9	6.4	15.4
18～39歳	136	16.9	16.2	24.3	58.1	49.3	32.4	47.1	5.1	5.9
40～64歳	343	17.8	7.9	22.2	41.7	42.6	27.1	36.2	9.3	11.4
65歳以上	468	19.9	5.6	15.2	32.5	34.4	28.4	20.1	4.5	21.4

【手帳の種類・診断別】

手帳の種類・診断別にみると、愛の手帳（療育手帳）で「障害者作品展やイベントの開催」「地域での交流の機会を増やして、地域の方とつながりを持つこと」、発達障害の診断を受けているで「障害に関する講演会や疑似体験会の開催」「学校や生涯学習での障害に関する教育や情報」「地域や学校等で障害への理解を学ぶ機会を増やすこと」「障害者の一般就労の促進」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	障害や障害者に関するパンフレットの発行	障害者作品展やイベントの開催	障害に関する講演会や疑似体験会の開催	学校や生涯学習での障害に関する教育や情報	地域や学校等で障害への理解を学ぶ機会を増やすこと	地域での交流の機会を増やして、地域の方とつながりを持つこと	障害者の一般就労の促進	その他	無回答
全 体	960	18.6	7.8	19.0	39.7	39.7	28.3	29.9	6.4	15.4
身体障害者手帳	485	20.8	6.4	19.0	34.8	35.7	27.6	22.5	5.4	18.4
愛の手帳（療育手帳）	96	21.9	18.8	22.9	43.8	56.3	41.7	38.5	4.2	10.4
精神障害者保健福祉手帳	190	19.5	10.5	23.2	37.4	39.5	24.2	42.1	11.6	12.1
発達障害の診断を受けている	29	20.7	13.8	44.8	65.5	65.5	34.5	51.7	10.3	3.4
自立支援医療（精神通院医療）を受けている	229	17.9	10.5	21.4	46.3	47.6	28.8	34.9	10.0	10.5
難病又は小児慢性特定疾病の認定を受けている	138	16.7	3.6	17.4	47.8	43.5	29.7	29.0	3.6	17.4
その他	15	20.0	0.0	0.0	26.7	20.0	26.7	26.7	13.3	13.3

問 33 地域で生活するなかで、あなたが手助けしてほしいと思うことはありますか。(あてはまるものすべてに○印)

「災害や急病などの緊急時」の割合が 34.2%と最も高く、次いで「安否の声かけ」の割合が 18.9%、「掃除・洗たく」の割合が 14.2%となっています。

【年齢別】

年齢別にみると、年齢が下がるほど「趣味などの話し相手」「子育て・介護等の相談相手」「掃除・洗たく」「調理や食事の手伝い」「災害や急病などの緊急時」の割合が高く、「草むしりや植木の手入れ」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	安否の声かけ	手趣味などの話し相手	子育て・介護等の相談相手	物ちょっとした買い物	ゴミ出し	掃除・洗たく	草むしりや植木の手入れ	調理や食事の手伝い	緊急時	災害や急病などの	その他	特にない	無回答
全 体	960	18.9	11.0	5.4	11.8	11.0	14.2	11.6	11.0	34.2	4.0	35.2	6.7	
18～39歳	136	19.1	19.9	14.0	14.0	14.7	18.4	8.8	19.1	39.7	6.6	31.6	2.9	
40～64歳	343	19.8	11.7	6.1	10.5	8.7	16.0	9.9	10.8	35.6	5.2	35.9	4.7	
65歳以上	468	18.2	7.9	2.6	12.0	11.5	11.5	13.5	9.2	31.8	2.4	35.7	9.2	

【手帳の種類・診断別】

手帳の種類・診断別にみると、愛の手帳（療育手帳）で「安否の声かけ」「ちょっとした買い物」「掃除・洗たく」「調理や食事の手伝い」「災害や急病などの緊急時」、愛の手帳（療育手帳）、精神障害者保健福祉手帳で「趣味などの話し相手」、発達障害の診断を受けているで「子育て・介護等の相談相手」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	安否の 声かけ	手 趣味な どの話 し相	談相手 子育て・ 介護等 の相	物 ちよつ とした 買い	ゴミ出し	掃除・洗 たく	草むしり や植木の 手入れ	調理や食 事の手伝 い	災害や急 病などの 緊急時	その他	特にな い	無回 答
全 体	960	18.9	11.0	5.4	11.8	11.0	14.2	11.6	11.0	34.2	4.0	35.2	6.7
身体障害者手帳	485	19.4	8.0	3.5	10.3	11.8	13.8	14.2	9.3	35.9	4.1	34.4	7.6
愛の手帳（療育手帳）	96	27.1	18.8	5.2	17.7	9.4	24.0	7.3	24.0	50.0	6.3	17.7	9.4
精神障害者保健福祉手帳	190	20.0	19.5	10.0	16.3	15.3	20.5	10.0	18.9	38.9	5.8	22.1	6.8
発達障害の診断を受けている	29	6.9	13.8	20.7	6.9	13.8	17.2	10.3	10.3	34.5	6.9	37.9	0.0
自立支援医療（精神通院医療）を受けている	229	18.3	15.7	8.7	13.1	10.9	16.6	7.4	12.7	35.4	5.2	34.1	5.2
難病又は小児慢性特定疾病の認定を受けている	138	17.4	4.3	6.5	13.0	11.6	8.7	12.3	7.2	30.4	2.2	46.4	5.1
その他	15	33.3	6.7	0.0	6.7	0.0	13.3	0.0	6.7	26.7	0.0	40.0	13.3

社会参加について

問 34 これまでに余暇活動、文化芸術・スポーツ活動など、参加したことがあるものがありますか。(あてはまるものすべてに○)

「コンサートや映画、スポーツなどの鑑賞・見学」の割合が 37.3%と最も高く、次いで「旅行」の割合が 32.5%、「学習や趣味の活動」の割合が 18.4%となっています。

【年齢別】

年齢別にみると、年齢が下がるほど「コンサートや映画、スポーツなどの鑑賞・見学」「スポーツ活動」「旅行」「学習や趣味の活動」「ボランティアなどの社会貢献活動」「障害者団体などの活動」「パソコンを使った活動」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	コンサートや映画、ス ポーツなどの鑑賞・見学	ス ポ ー ツ 活 動	旅 行	学 習 や 趣 味 の 活 動	ボ ラ ン テ ィ ア な ど の 社 会 貢 献 活 動	地 域 で の 交 流 、 自 治 会 な ど の 活 動	障 害 者 団 体 な ど の 活 動	パ ソ コ ン を 使 っ た 活 動	そ の 他	特 に な い	無 回 答
全 体	960	37.3	13.9	32.5	18.4	9.2	10.4	6.3	7.5	1.4	40.1	4.6
18～39歳	136	58.8	23.5	58.8	33.8	16.9	14.0	16.2	15.4	0.0	18.4	0.7
40～64歳	343	42.9	14.0	38.8	18.4	9.0	6.1	7.3	9.3	1.2	39.1	3.8
65歳以上	468	26.5	10.7	20.3	14.1	6.6	12.6	2.8	3.6	1.9	47.6	6.2

【手帳の種類・診断別】

手帳の種類・診断別にみると、発達障害の診断を受けているで「コンサートや映画、スポーツなどの鑑賞・見学」「スポーツ活動」「旅行」「学習や趣味の活動」「ボランティアなどの社会貢献活動」「地域での交流、自治会などの活動」、愛の手帳（療育手帳）で「障害者団体などの活動」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	コンサートや映画、ス ポーツなどの鑑賞・見学	ス ポ ー ツ 活 動	旅 行	学 習 や 趣 味 の 活 動	ボ ラ ン テ ィ ア な ど の 社 会 貢 献 活 動	地 域 で の 交 流 、 自 治 会 な ど の 活 動	障 害 者 団 体 な ど の 活 動	パ ソ コ ン を 使 っ た 活 動	そ の 他	特 に な い	無 回 答
全 体	960	37.3	13.9	32.5	18.4	9.2	10.4	6.3	7.5	1.4	40.1	4.6
身体障害者手帳	485	29.7	10.9	26.0	14.4	6.6	11.5	4.5	6.4	1.0	44.9	6.0
愛の手帳（療育手帳）	96	46.9	17.7	50.0	11.5	11.5	14.6	33.3	2.1	1.0	21.9	6.3
精神障害者保健福祉手帳	190	46.3	17.4	37.9	31.6	15.8	9.5	9.5	13.7	2.1	31.1	3.7
発達障害の診断を受けている	29	65.5	41.4	72.4	58.6	31.0	27.6	6.9	17.2	0.0	13.8	0.0
自立支援医療（精神通院医療）を受けている	229	46.3	20.1	37.1	29.3	13.5	12.7	6.1	10.5	1.3	32.3	3.5
難病又は小児慢性特定疾病の認定を受けている	138	37.7	12.3	35.5	13.8	8.0	6.5	0.7	5.8	1.4	44.9	4.3
その他	15	40.0	0.0	33.3	26.7	13.3	0.0	0.0	13.3	0.0	46.7	6.7

問 35 今後参加したい余暇活動、文化芸術・スポーツ活動はありますか。(あてはまるものすべてに○)

「コンサートや映画、スポーツなどの鑑賞・見学」の割合が 33.4%と最も高く、次いで「旅行」の割合が 26.5%、「学習や趣味の活動」の割合が 21.0%となっています。

【年齢別】

年齢別にみると、年齢が下がるほど「コンサートや映画、スポーツなどの鑑賞・見学」「スポーツ活動」「旅行」「学習や趣味の活動」「ボランティアなどの社会貢献活動」「地域での交流、自治会などの活動」「障害者団体などの活動」「パソコンを使った活動」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	コンサートや映画、スポーツなどの鑑賞・見学	スポーツ活動	旅行	学習や趣味の活動	ボランティアなどの社会貢献活動	地域での交流、自治会などの活動	障害者団体などの活動	パソコンを使った活動	その他	特にない	無回答
全 体	960	33.4	10.8	26.5	21.0	7.6	9.1	5.4	9.4	1.8	38.9	6.1
18～39歳	136	48.5	16.2	39.7	35.3	14.0	14.7	10.3	16.9	3.7	22.1	0.0
40～64歳	343	38.8	14.0	34.7	21.0	9.0	8.5	7.3	11.7	2.0	35.9	3.8
65歳以上	468	25.0	6.4	16.5	16.2	4.7	7.7	2.8	5.3	1.1	46.2	9.6

【手帳の種類・診断別】

手帳の種類・診断別にみると、発達障害の診断を受けているで「コンサートや映画、スポーツなどの鑑賞・見学」「スポーツ活動」「学習や趣味の活動」「ボランティアなどの社会貢献活動」「地域での交流、自治会などの活動」「パソコンを使った活動」、愛の手帳（療育手帳）、発達障害の診断を受けているで「旅行」、愛の手帳（療育手帳）で「障害者団体などの活動」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	コンサートや映画、スポーツなどの鑑賞・見学	スポーツ活動	旅行	学習や趣味の活動	ボランティアなどの社会貢献活動	地域での交流、自治会などの活動	障害者団体などの活動	パソコンを使った活動	その他	特にない	無回答
全 体	960	33.4	10.8	26.5	21.0	7.6	9.1	5.4	9.4	1.8	38.9	6.1
身体障害者手帳	485	27.4	7.2	21.4	15.7	4.7	7.6	4.3	6.8	1.6	44.1	8.5
愛の手帳（療育手帳）	96	44.8	15.6	42.7	13.5	9.4	13.5	25.0	11.5	5.2	24.0	4.2
精神障害者保健福祉手帳	190	38.4	13.7	34.2	33.2	13.7	12.6	6.8	13.7	1.6	30.0	4.7
発達障害の診断を受けている	29	51.7	31.0	44.8	48.3	27.6	27.6	17.2	27.6	6.9	17.2	0.0
自立支援医療（精神通院医療）を受けている	229	41.9	17.9	34.5	30.6	13.5	14.0	6.1	13.5	3.1	28.8	3.5
難病又は小児慢性特定疾病の認定を受けている	138	37.0	9.4	25.4	22.5	5.8	8.0	1.4	9.4	0.7	40.6	4.3
その他	15	20.0	13.3	13.3	13.3	0.0	6.7	6.7	6.7	0.0	46.7	13.3

問 36 あなたが余暇活動、文化芸術・スポーツ活動に参加するためには、どのような条件が必要だと思いますか。(○印は3つまで)

「身近なところで活動できる」の割合が 24.0%と最も高く、次いで「友人や仲間がいる」の割合が 20.6%、「経済的な負担が少ない」の割合が 20.0%となっています。

【年齢別】

年齢別にみると、年齢が下がるほど「活動情報の提供がある」「友人や仲間がいる」「経済的な負担が少ない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	活動情報の提供がある	友人や仲間がいる	身近なところで活動できる	外出手段が確保されている	介助者がいる	適切な指導者やリーダーがいる	障害に配慮した施設や設備がある	経済的な負担が少ない
全 体	960	16.6	20.6	24.0	11.3	10.1	6.1	10.0	20.0
18～39歳	136	23.5	33.8	25.7	11.8	15.4	9.6	9.6	28.7
40～64歳	343	17.8	25.1	24.5	10.8	6.1	5.0	12.0	26.2
65歳以上	468	13.7	13.7	23.3	11.8	11.8	6.0	9.0	12.8

区分	家族や周囲の方の理解	心身の健康状態の維持・向上	いろいろな方との出会う機会がある	障害のある方も一緒にできる	施設の予約が取りやすい	手話などによるコミュニケーションの支援	その他	特にない	無回答
全 体	7.7	15.1	5.0	5.8	2.7	0.4	1.9	22.3	12.3
18～39歳	3.7	16.9	8.8	8.8	5.9	0.0	4.4	10.3	10.3
40～64歳	9.6	14.0	5.0	6.1	2.3	0.9	1.5	21.9	9.0
65歳以上	7.5	15.2	3.6	4.7	2.1	0.2	1.5	26.1	15.0

【手帳の種類・診断別】

手帳の種類・診断別にみると、発達障害の診断を受けているで「友人や仲間がいる」「経済的な負担が少ない」「心身の健康状態の維持・向上」「障害のある方もない方も一緒にできる」、愛の手帳（療育手帳）で「介助者がいる」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	活動情報の提供がある	友人や仲間がいる	身近なところで活動できる	外出手段が確保されている	介助者がいる	適切な指導者やリーダーがいる	障害に配慮した施設や設備がある	経済的な負担が少ない
全 体	960	16.6	20.6	24.0	11.3	10.1	6.1	10.0	20.0
身体障害者手帳	485	14.4	16.9	23.9	12.8	13.0	5.2	12.6	13.0
愛の手帳（療育手帳）	96	13.5	19.8	15.6	12.5	29.2	9.4	16.7	13.5
精神障害者保健福祉手帳	190	18.4	25.8	19.5	10.0	4.7	6.8	8.4	32.1
発達障害の診断を受けている	29	24.1	37.9	10.3	6.9	6.9	10.3	13.8	37.9
自立支援医療（精神通院医療）を受けている	229	21.0	25.3	25.8	7.0	3.9	7.9	7.9	34.1
難病又は小児慢性特定疾病の認定を受けている	138	18.8	21.7	30.4	15.9	12.3	5.1	8.7	24.6
その他	15	6.7	40.0	33.3	6.7	6.7	0.0	0.0	13.3

区分	家族や周囲の方の理解	心身の健康状態の維持・向上	いろいろな方との出会いの場・機会がある	障害のある方もない方も一緒にできる	施設の予約が取りやすい	手話などによるコミュニケーションの支援	その他	特にない	無回答
全 体	7.7	15.1	5.0	5.8	2.7	0.4	1.9	22.3	12.3
身体障害者手帳	7.6	13.6	4.3	5.6	2.9	0.6	1.9	23.9	13.6
愛の手帳（療育手帳）	12.5	7.3	1.0	11.5	4.2	0.0	3.1	15.6	20.8
精神障害者保健福祉手帳	7.4	17.9	6.8	7.9	3.2	0.0	2.1	16.3	12.1
発達障害の診断を受けている	3.4	27.6	13.8	17.2	10.3	0.0	3.4	3.4	6.9
自立支援医療（精神通院医療）を受けている	7.4	20.5	8.3	7.0	4.4	0.0	2.2	15.7	8.7
難病又は小児慢性特定疾病の認定を受けている	7.2	18.8	5.1	3.6	0.7	0.7	0.0	23.2	7.2
その他	13.3	26.7	13.3	6.7	0.0	0.0	6.7	26.7	6.7

障害福祉サービスなどについて

問 37 あなたは普段、次のような障害福祉サービスを利用していますか。また、今後利用したいと思いますか。(それぞれに○印は1つ)

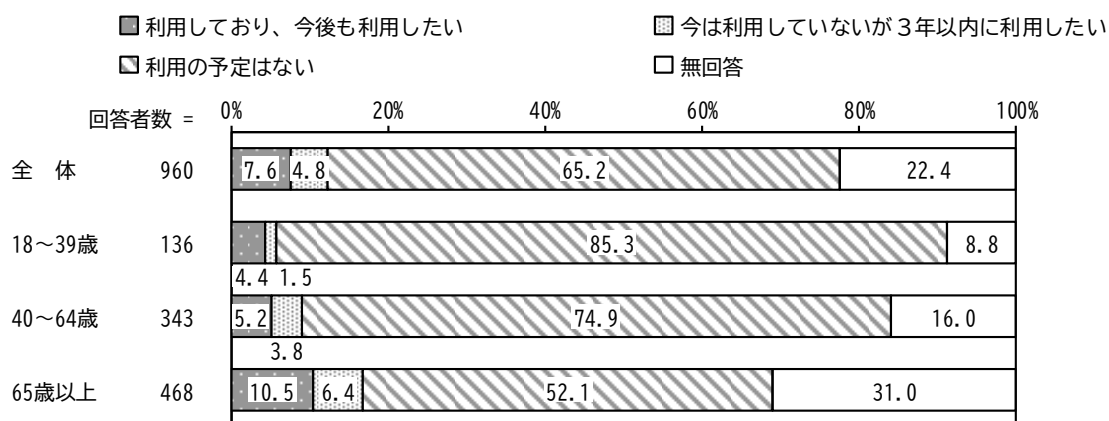
相談系サービスの『①計画相談支援』で「利用しており、今後も利用したい」が、その他の『⑥補装具費（車いす・補聴器等）の給付』で「今は利用していないが3年以内に利用したい」が、その他の『①意思疎通支援事業（主に聴覚障害者への手話通訳の派遣）』で「利用の予定はない」が高くなっています。

訪問系サービス

①居宅介護（ホームヘルプ）

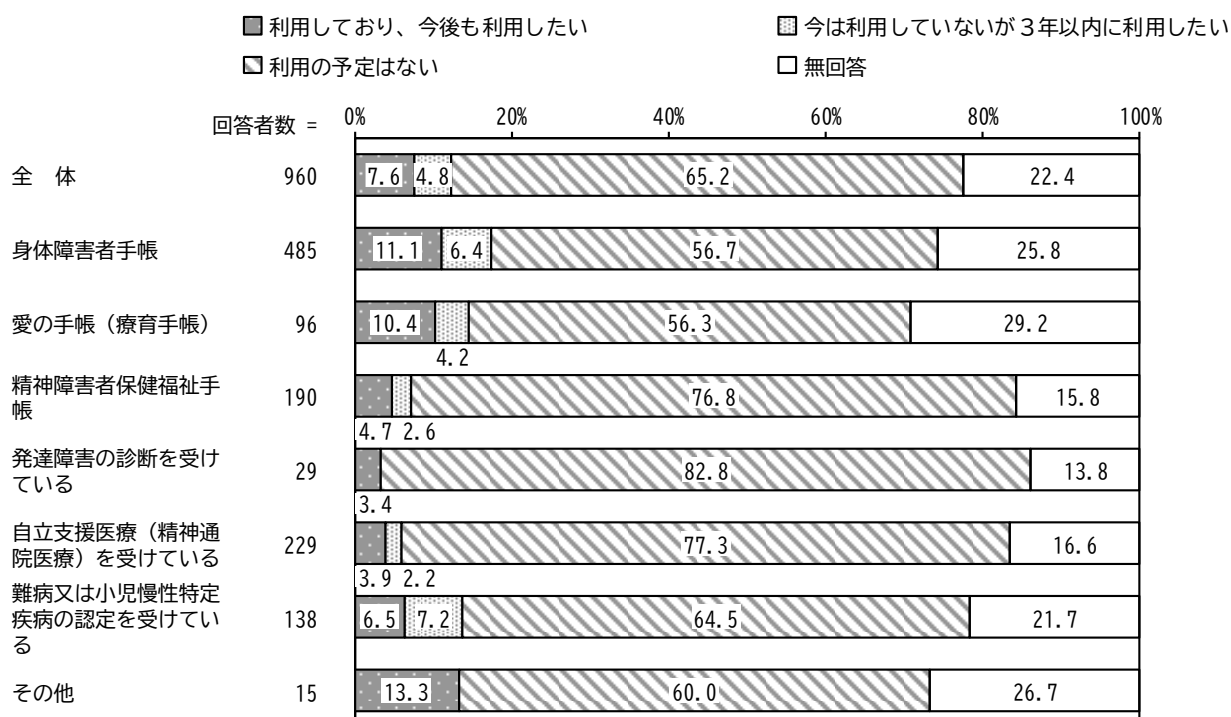
【年齢別】

年齢別にみると、年齢が上がるほど「利用しており、今後も利用したい」の割合が高くなっています。また、18～39歳で「利用の予定はない」の割合が高くなっています。



【手帳の種類・診断別】

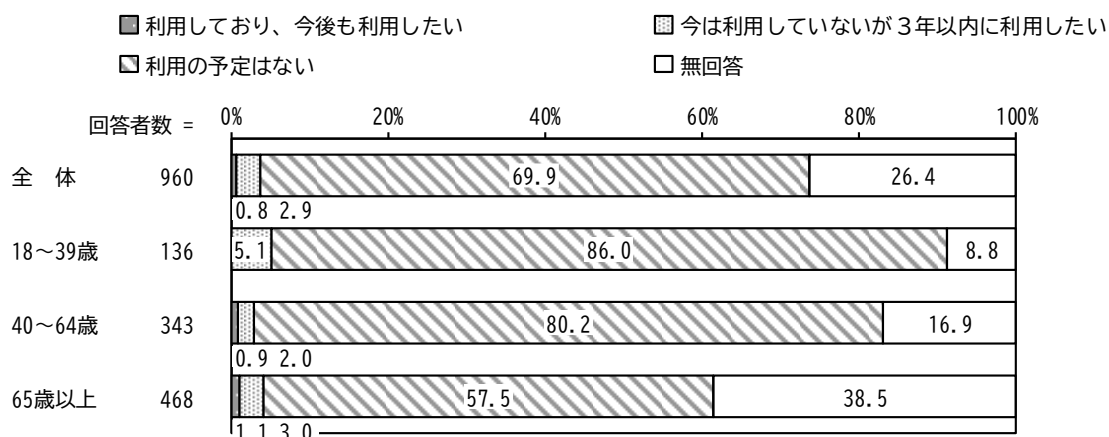
手帳の種類・診断別にみると、発達障害の診断を受けているで「利用の予定はない」の割合が高くなっています。



②重度訪問介護

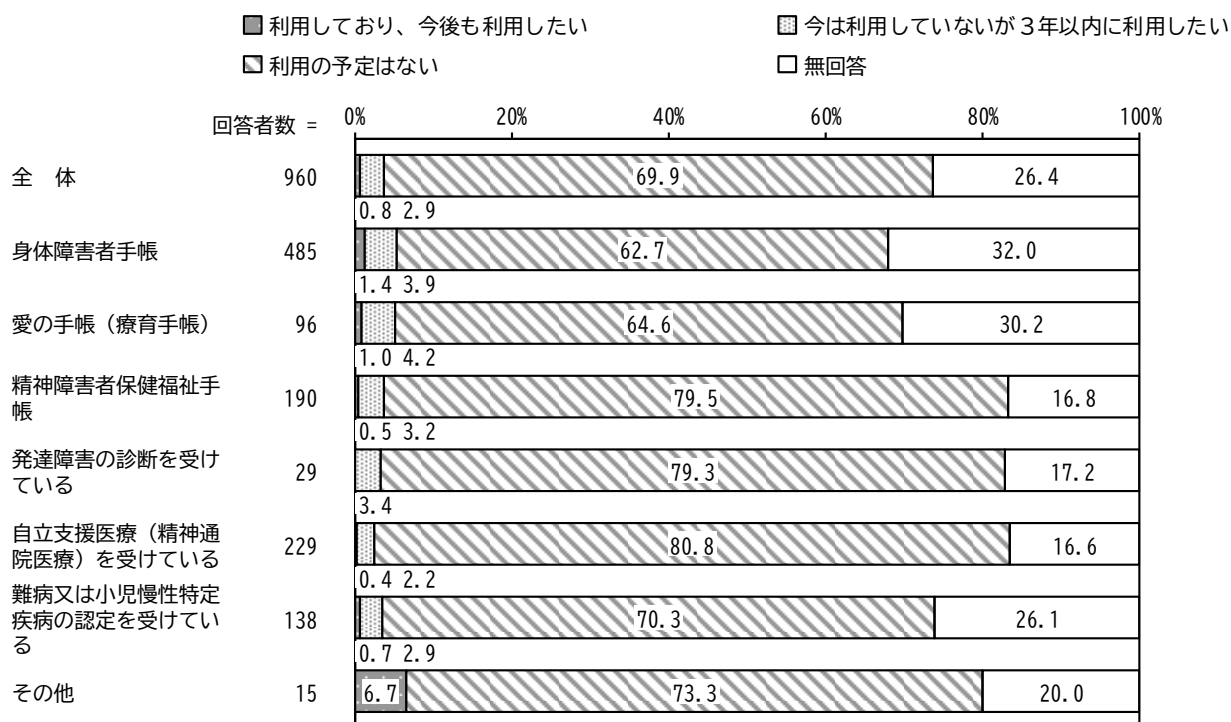
【年齢別】

年齢別にみると、年齢が下がるほど「利用の予定はない」の割合が高くなっています。



【手帳の種類・診断別】

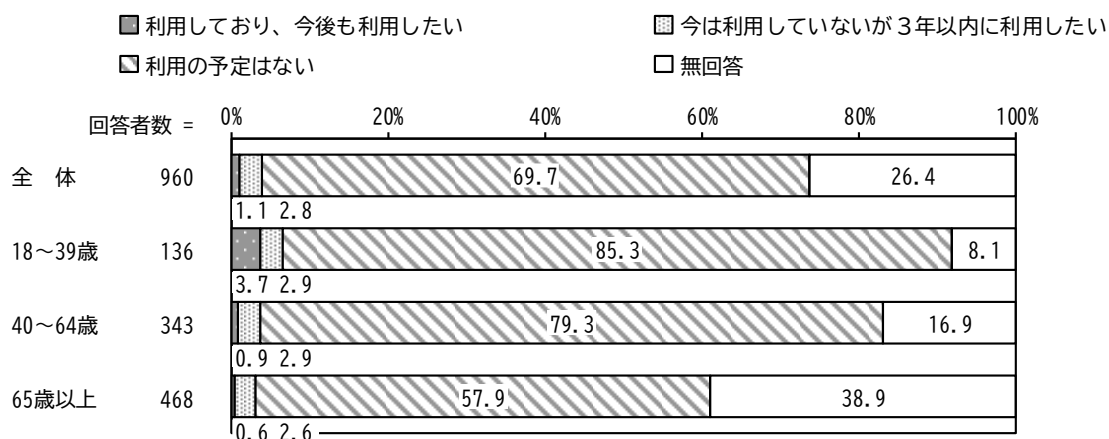
手帳の種類・診断別にみると、精神障害者保健福祉手帳、発達障害の診断を受けている、自立支援医療（精神通院医療）を受けているで「利用の予定はない」の割合が高くなっています。



③同行援護

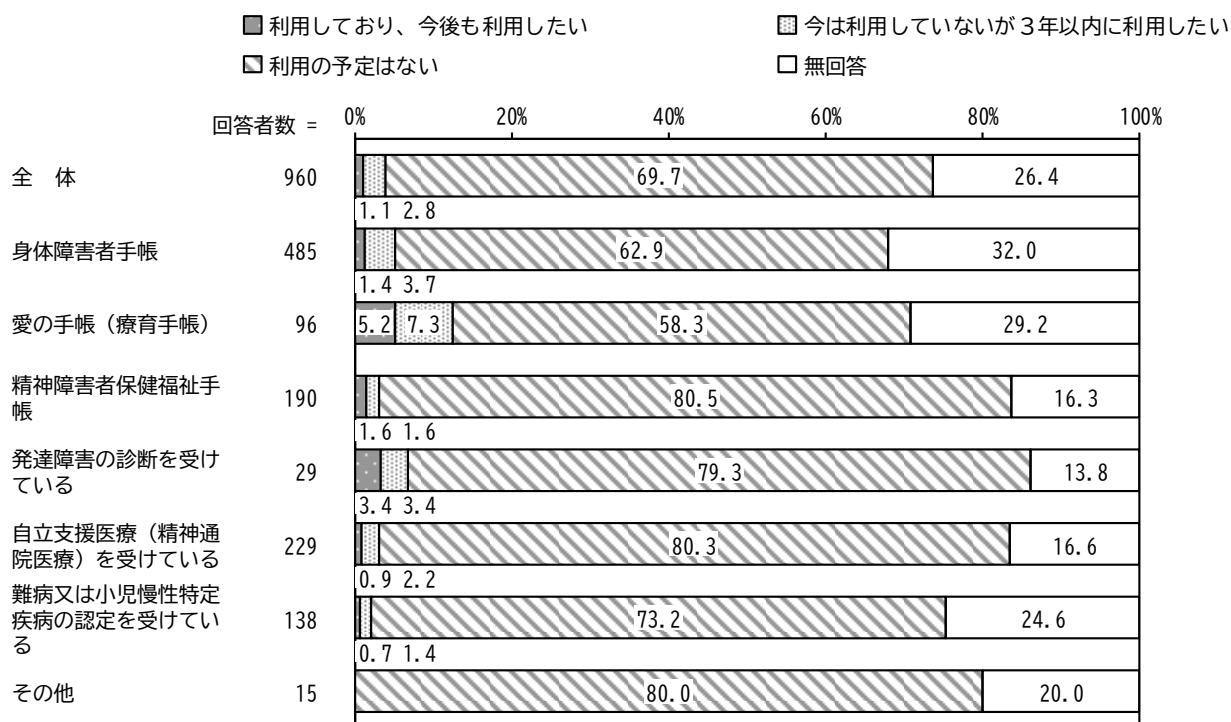
【年齢別】

年齢別にみると、年齢が下がるほど「利用の予定はない」の割合が高くなっています。



【手帳の種類・診断別】

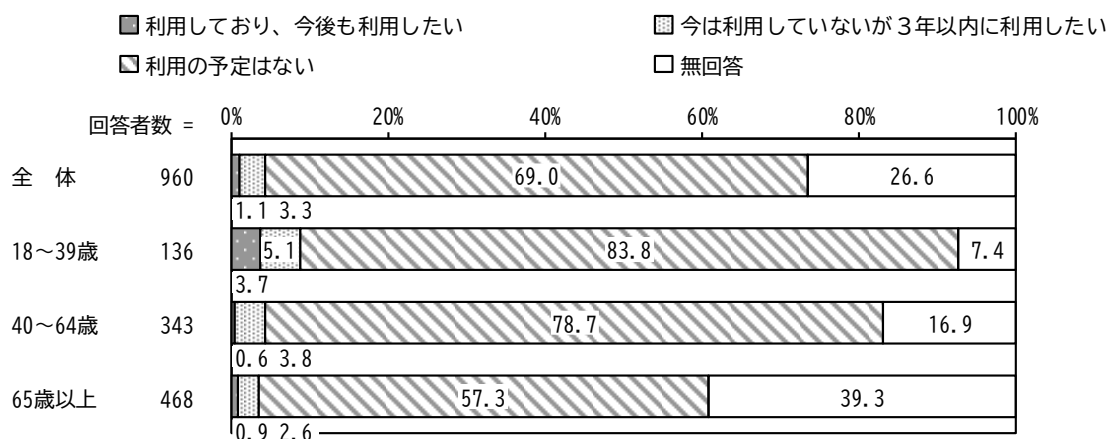
手帳の種類・診断別にみると、精神障害者保健福祉手帳、発達障害の診断を受けている、自立支援医療（精神通院医療）を受けているで「利用の予定はない」の割合が高くなっています。



④行動援護

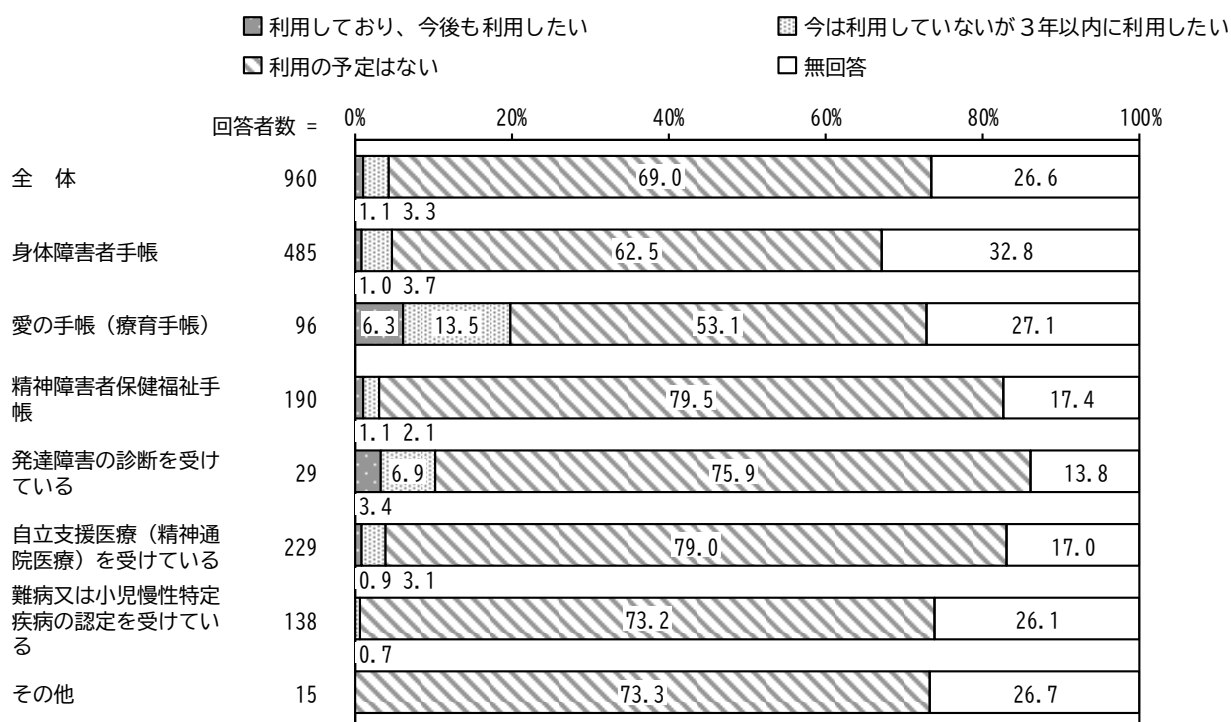
【年齢別】

年齢別にみると、年齢が下がるほど「利用の予定はない」の割合が高くなっています。



【手帳の種類・診断別】

手帳の種類・診断別にみると、愛の手帳（療育手帳）で「今は利用していないが3年以内に利用したい」、精神障害者保健福祉手帳、自立支援医療（精神通院医療）を受けているで「利用の予定はない」の割合が高くなっています。

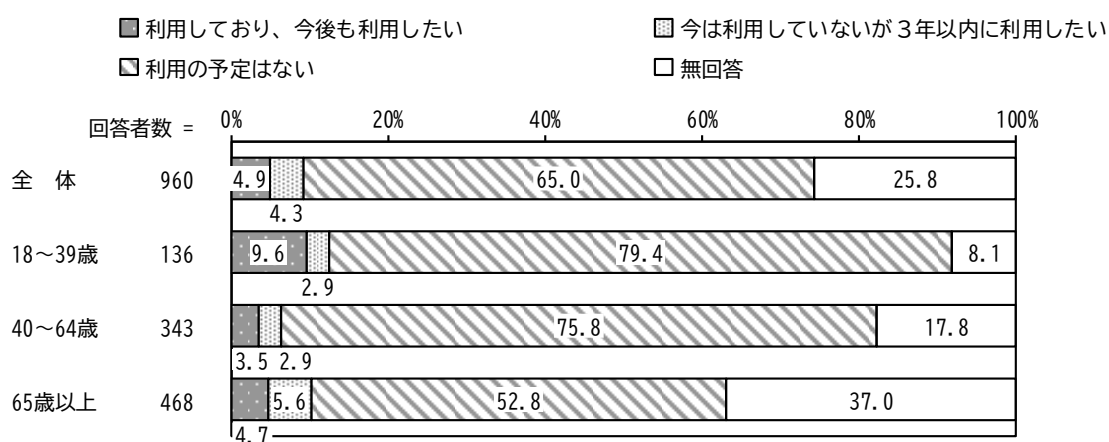


日中活動系サービス

①生活介護

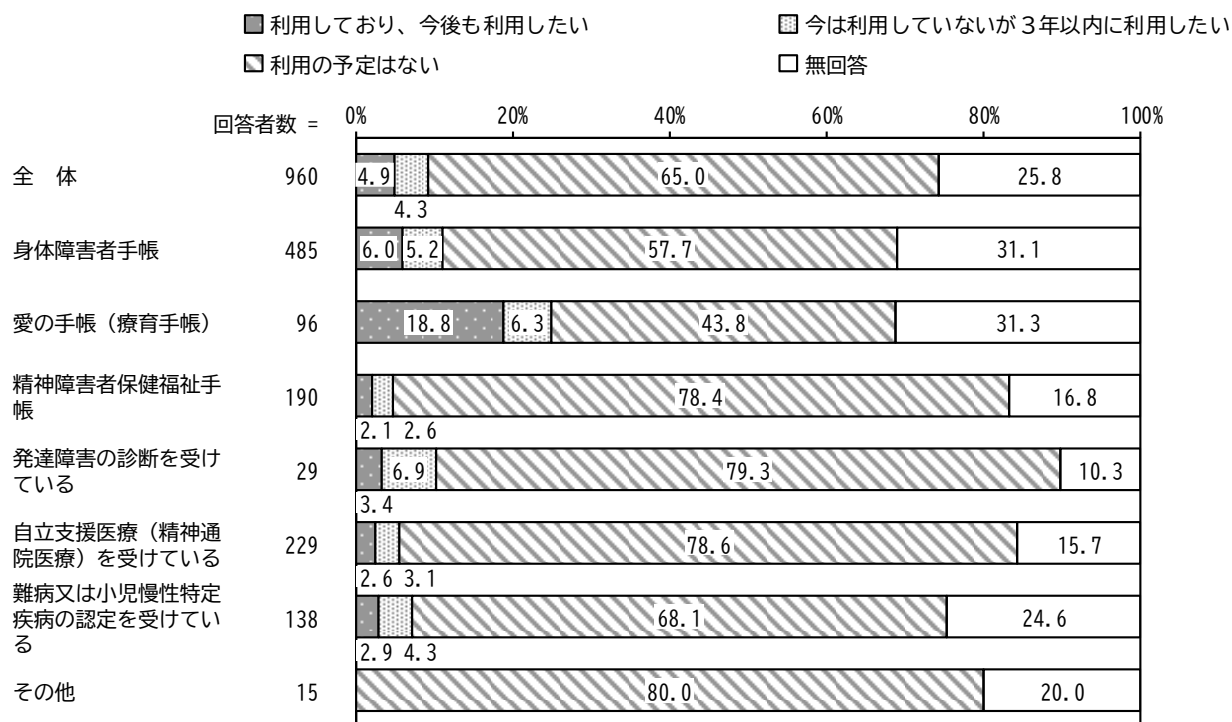
【年齢別】

年齢別にみると、年齢が下がるほど「利用の予定はない」の割合が高くなっています。



【手帳の種類・診断別】

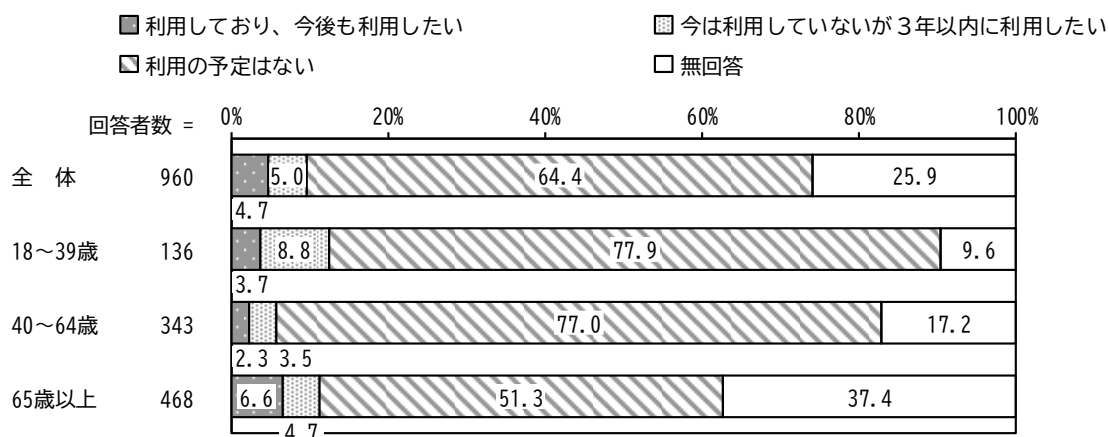
手帳の種類・診断別にみると、愛の手帳（療育手帳）で「利用しており、今後も利用したい」、精神障害者保健福祉手帳、発達障害の診断を受けている、自立支援医療（精神通院医療）を受けているで「利用の予定はない」の割合が高くなっています。



②自立訓練（機能訓練・生活訓練）

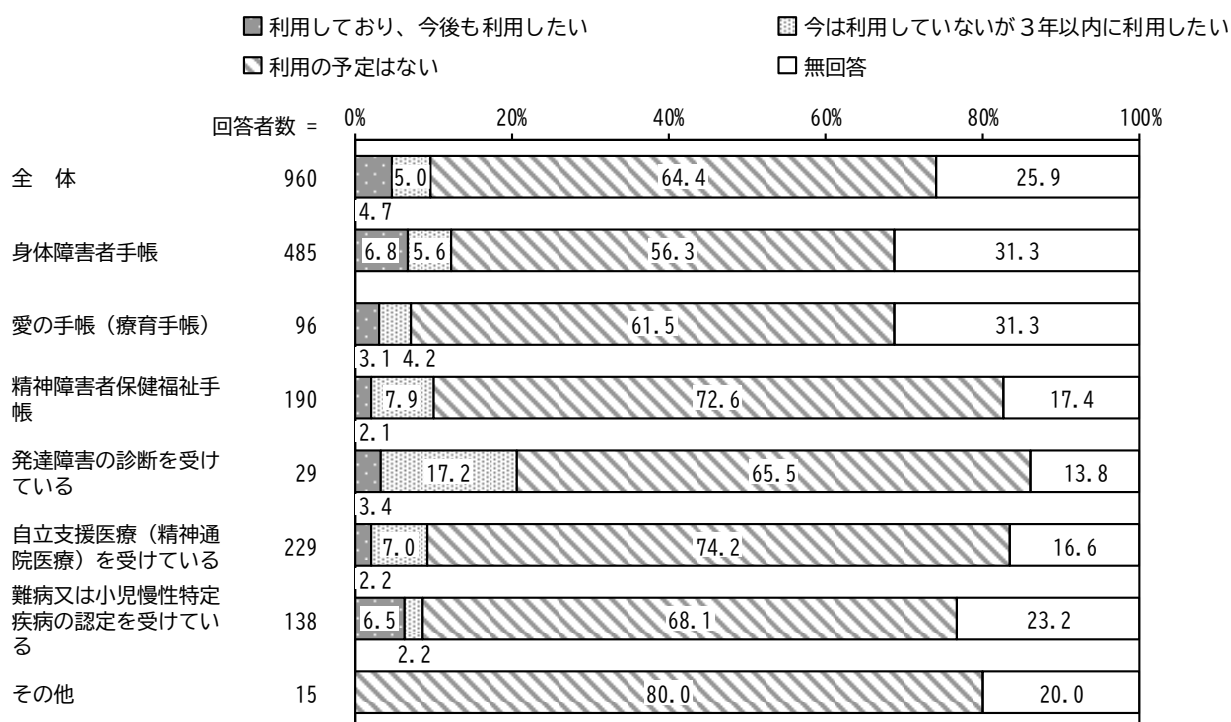
【年齢別】

年齢別にみると、年齢が下がるほど「利用の予定はない」の割合が高くなっています。



【手帳の種類・診断別】

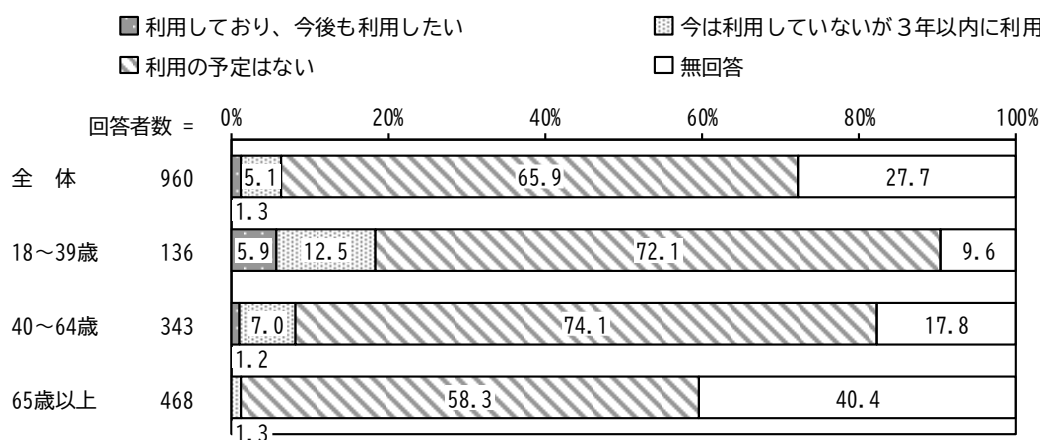
手帳の種類・診断別にみると、発達障害の診断を受けているで「今は利用していないが3年以内に利用したい」、精神障害者保健福祉手帳、自立支援医療（精神通院医療）を受けているで「利用の予定はない」の割合が高くなっています。



③就労移行支援

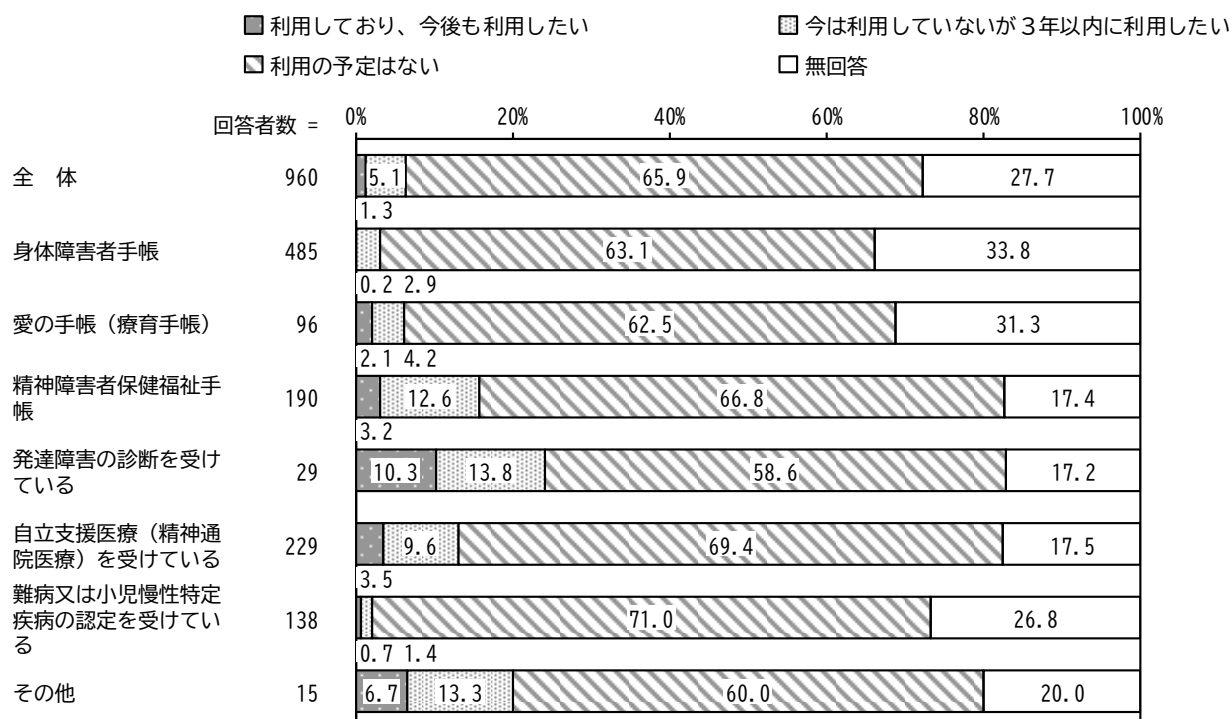
【年齢別】

年齢別にみると、年齢が下がるほど「今は利用していないが3年以内に利用したい」の割合が高くなっています。



【手帳の種類・診断別】

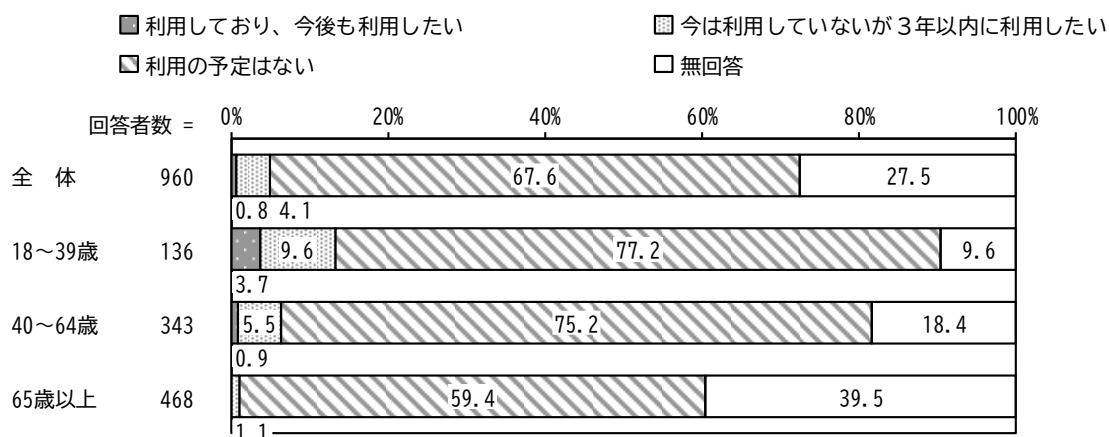
手帳の種類・診断別にみると、発達障害の診断を受けているで「利用しており、今後も利用したい」、精神障害者保健福祉手帳、発達障害の診断を受けているで「今は利用していないが3年以内に利用したい」、難病又は小児慢性特定疾病の認定を受けているで「利用の予定はない」の割合が高くなっています。



④就労継続支援（A型）

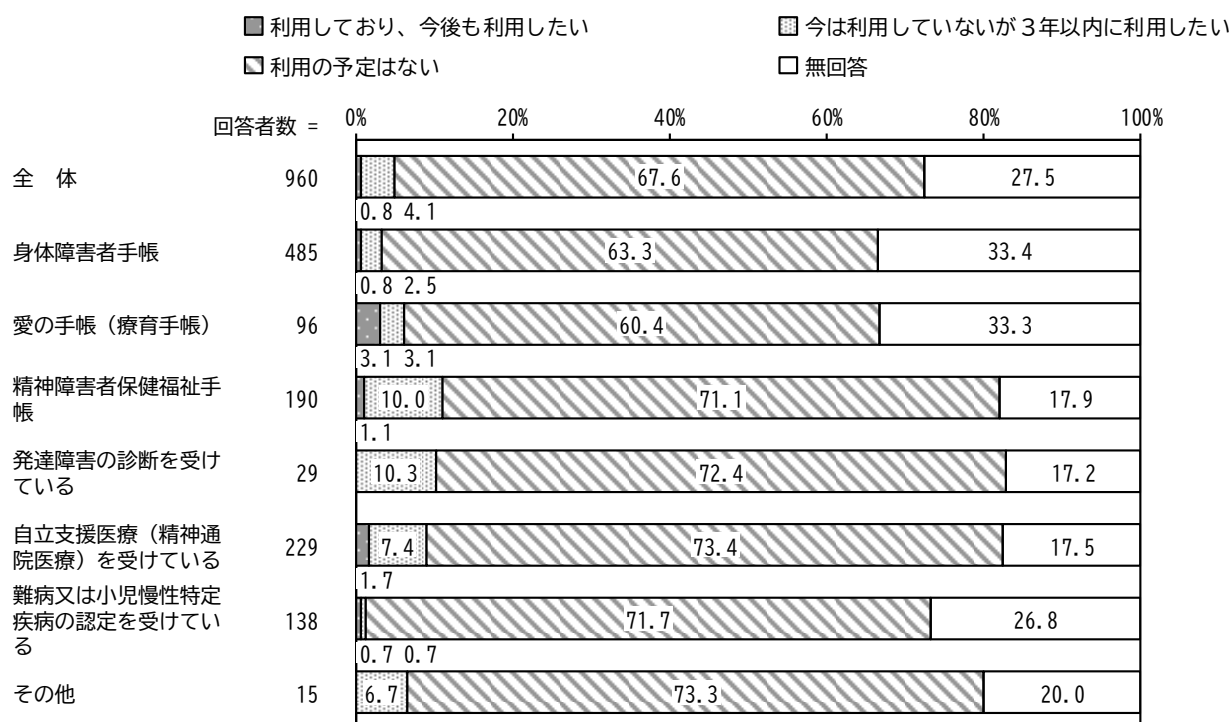
【年齢別】

年齢別にみると、年齢が下がるほど「利用の予定はない」の割合が高くなっています。



【手帳の種類・診断別】

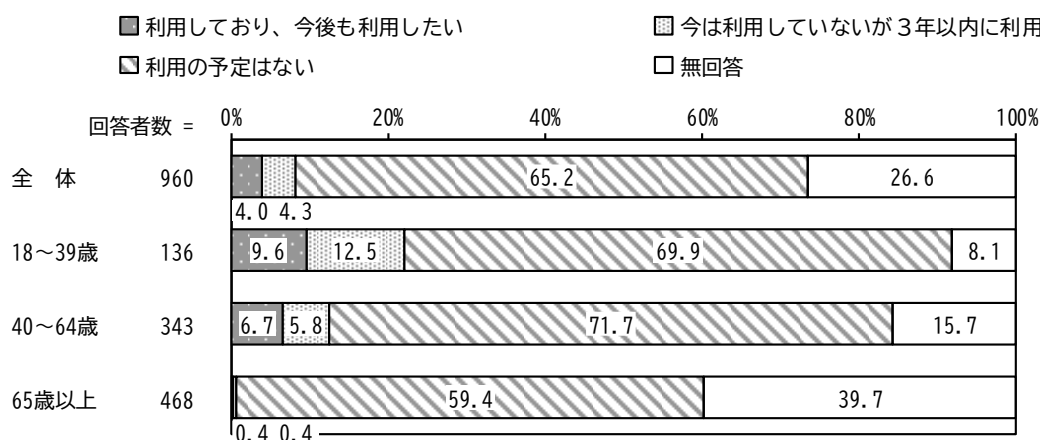
手帳の種類・診断別にみると、精神障害者保健福祉手帳、発達障害の診断を受けているで「今は利用していないが3年以内に利用したい」、自立支援医療（精神通院医療）を受けているで「利用の予定はない」の割合が高くなっています。



⑤就労継続支援（B型）

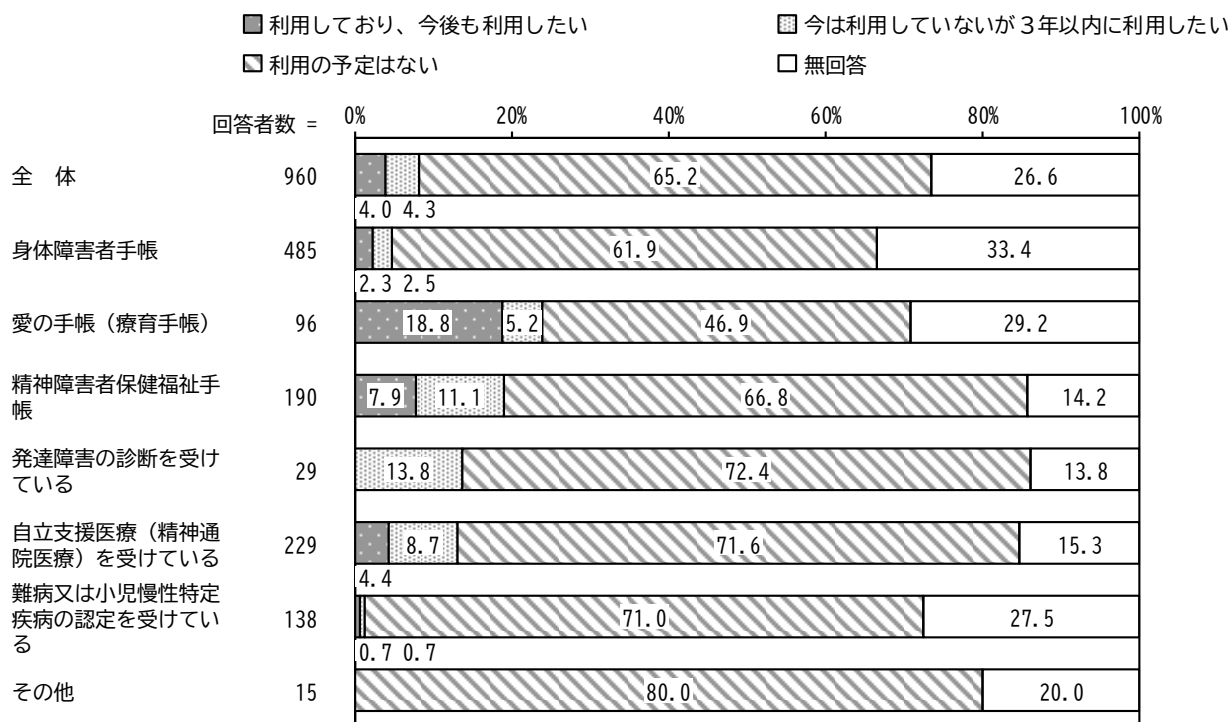
【年齢別】

年齢別にみると、年齢が下がるほど「今は利用していないが3年以内に利用したい」の割合が高くなっています。



【手帳の種類・診断別】

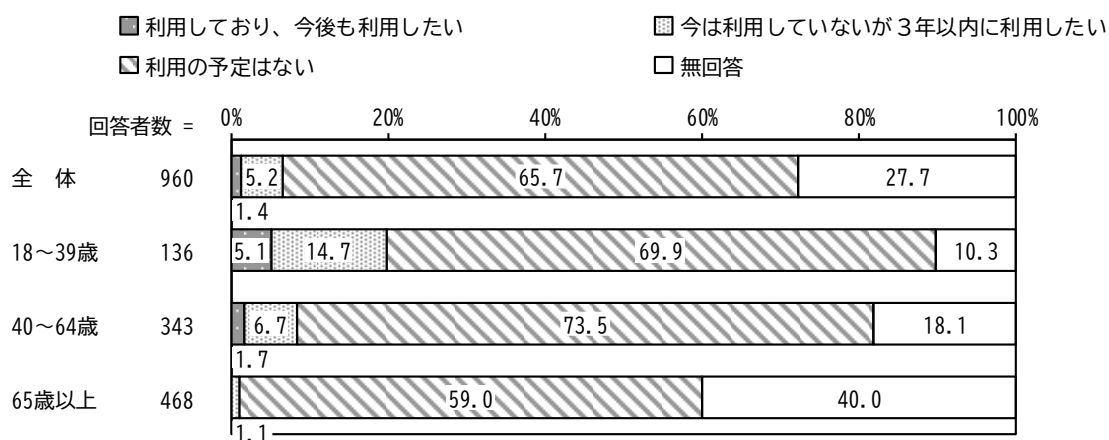
手帳の種類・診断別にみると、愛の手帳（療育手帳）で「利用しており、今後も利用したい」の割合が高く、「利用の予定はない」の割合が低くなっています。また、発達障害の診断を受けているで「今は利用していないが3年以内に利用したい」の割合が高くなっています。



⑥就労定着支援

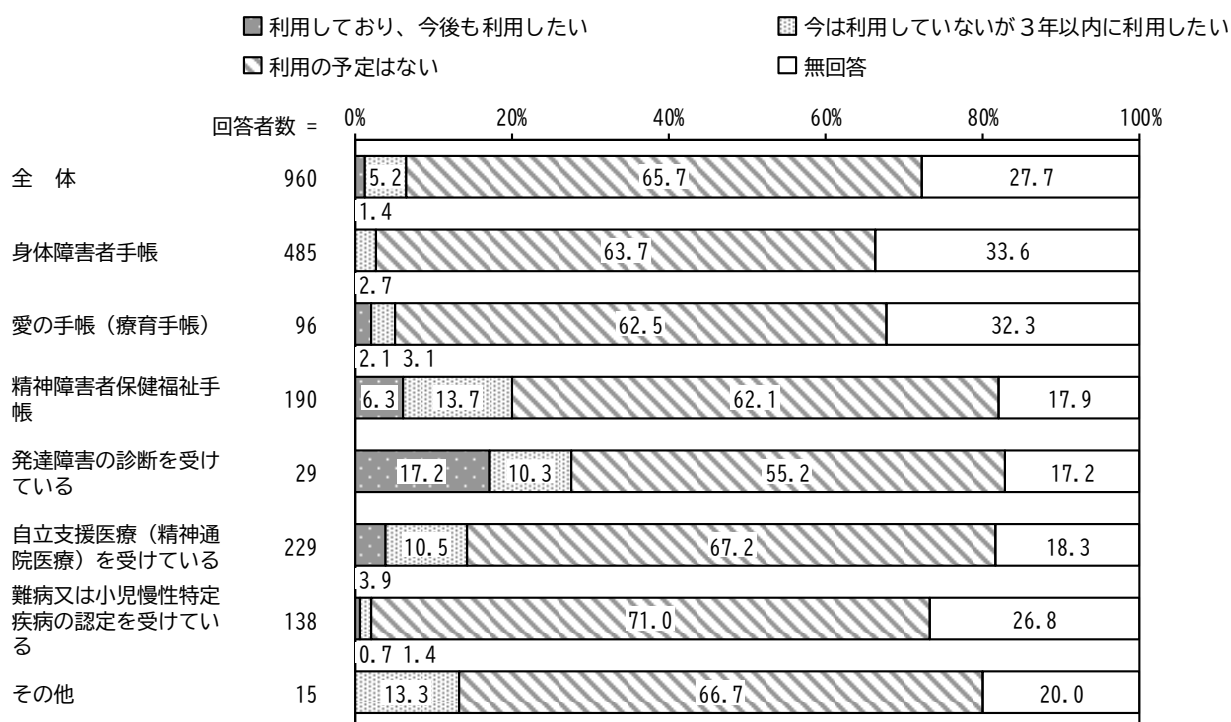
【年齢別】

年齢別にみると、年齢が下がるほど「今は利用していないが3年以内に利用したい」の割合が高くなっています。



【手帳の種類・診断別】

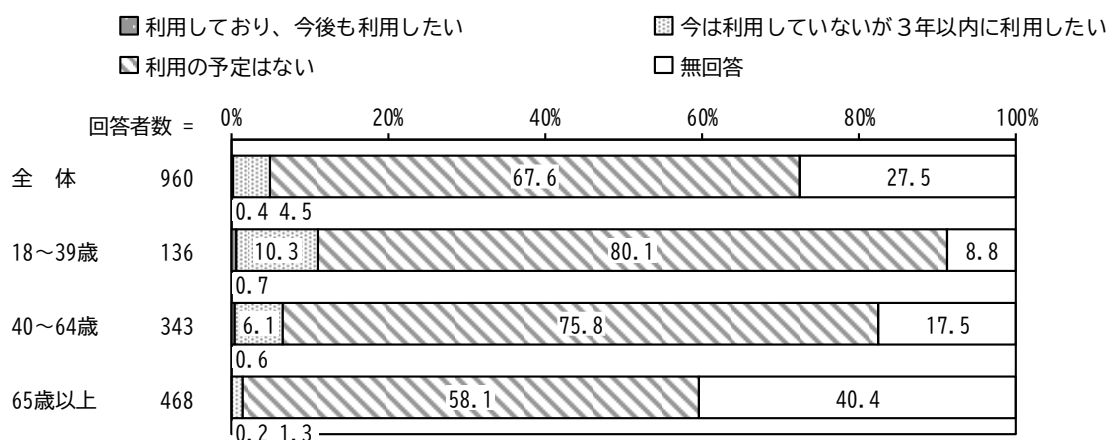
手帳の種類・診断別にみると、発達障害の診断を受けているで「利用しており、今後も利用したい」の割合が高く、「利用の予定はない」の割合が低くなっています。



⑦就労選択支援

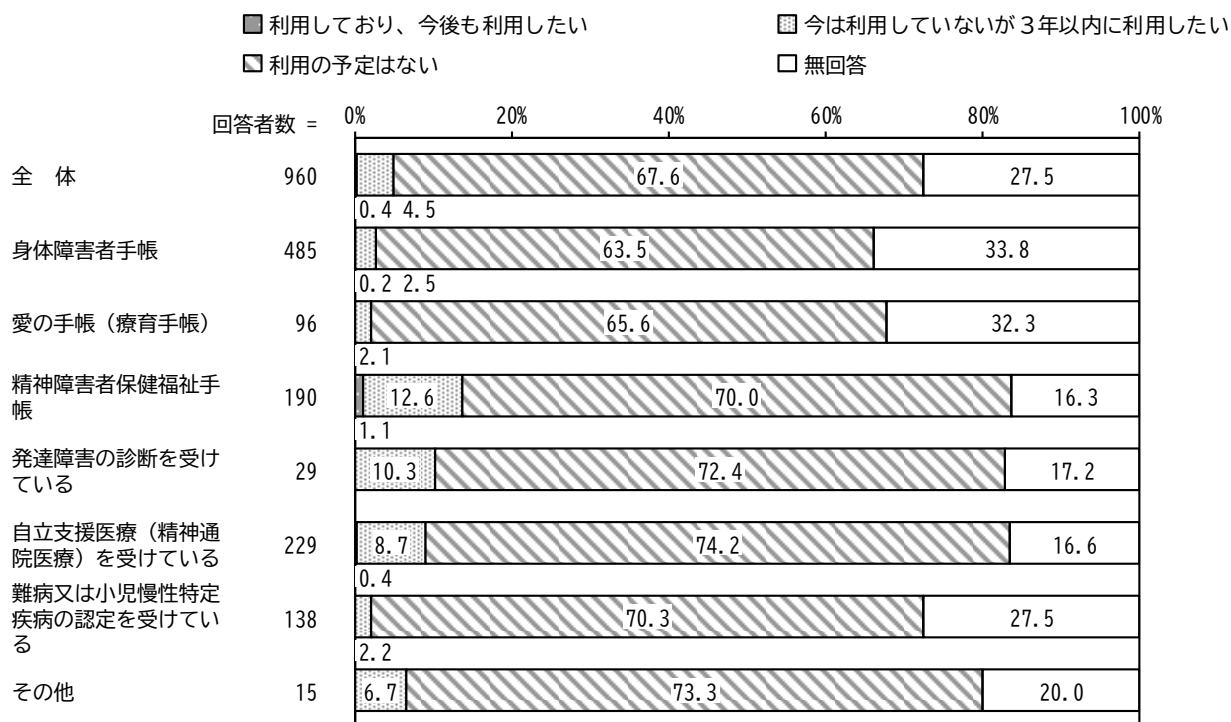
【年齢別】

年齢別にみると、年齢が下がるほど「今は利用していないが3年以内に利用したい」「利用の予定はない」の割合が高くなっています。



【手帳の種類・診断別】

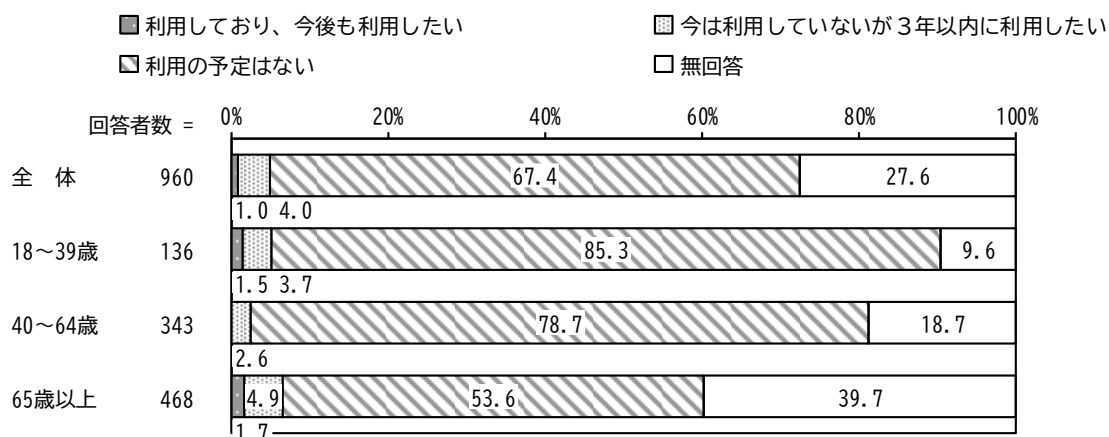
手帳の種類・診断別にみると、精神障害者保健福祉手帳、発達障害の診断を受けているで「今は利用していないが3年以内に利用したい」、自立支援医療（精神通院医療）を受けているで「利用の予定はない」の割合が高くなっています。



⑧療養介護

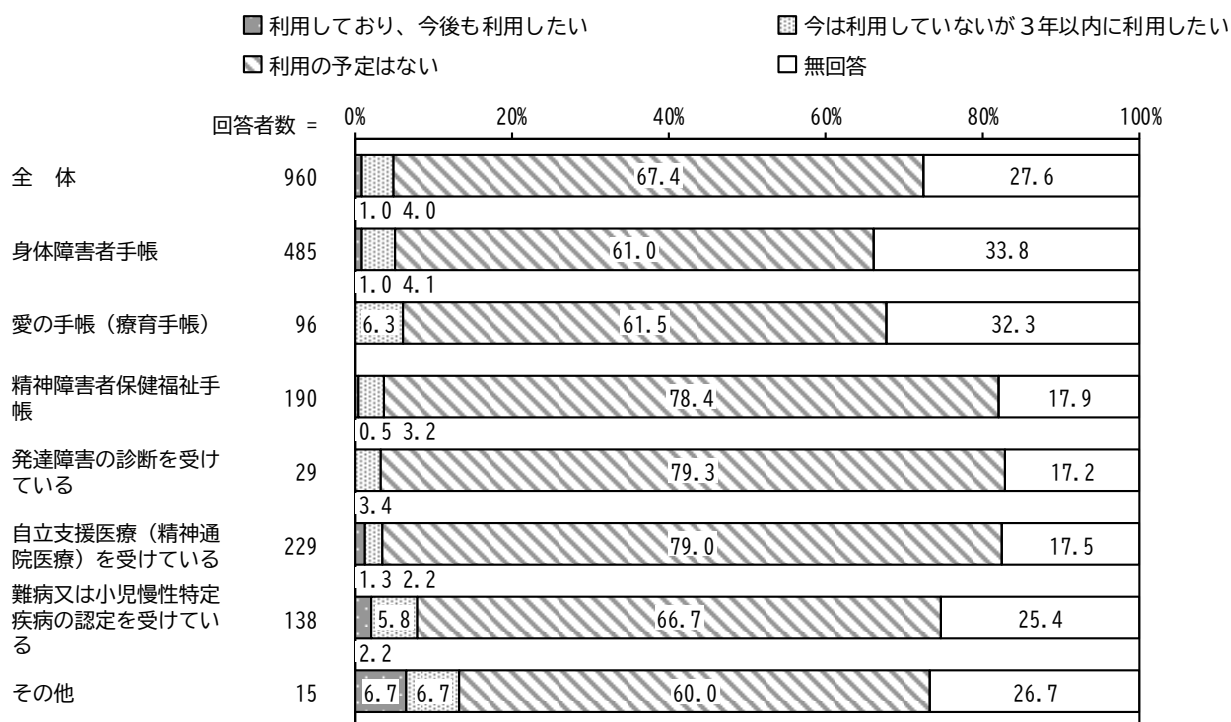
【年齢別】

年齢別にみると、年齢が下がるほど「利用の予定はない」の割合が高くなっています。



【手帳の種類・診断別】

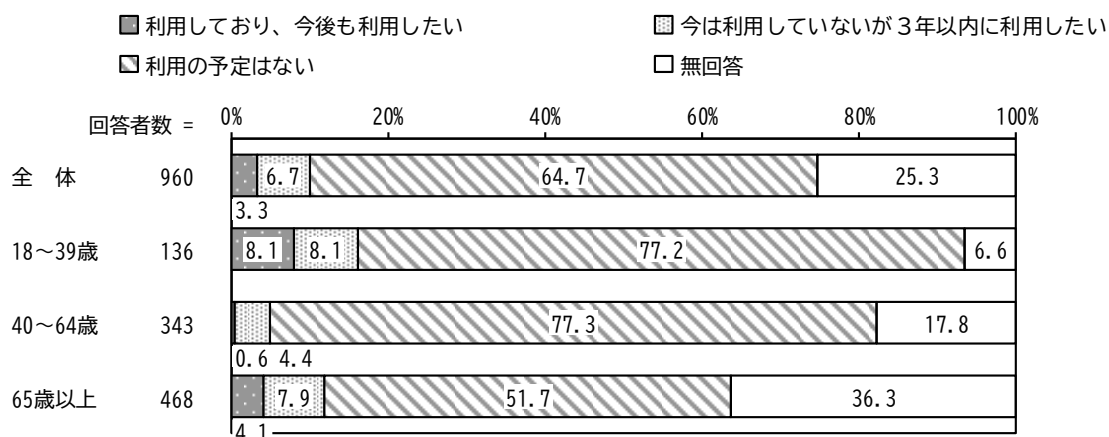
手帳の種類・診断別にみると、精神障害者保健福祉手帳、発達障害の診断を受けている、自立支援医療（精神通院医療）を受けているで「利用の予定はない」の割合が高くなっています。



⑨短期入所（ショートステイ）

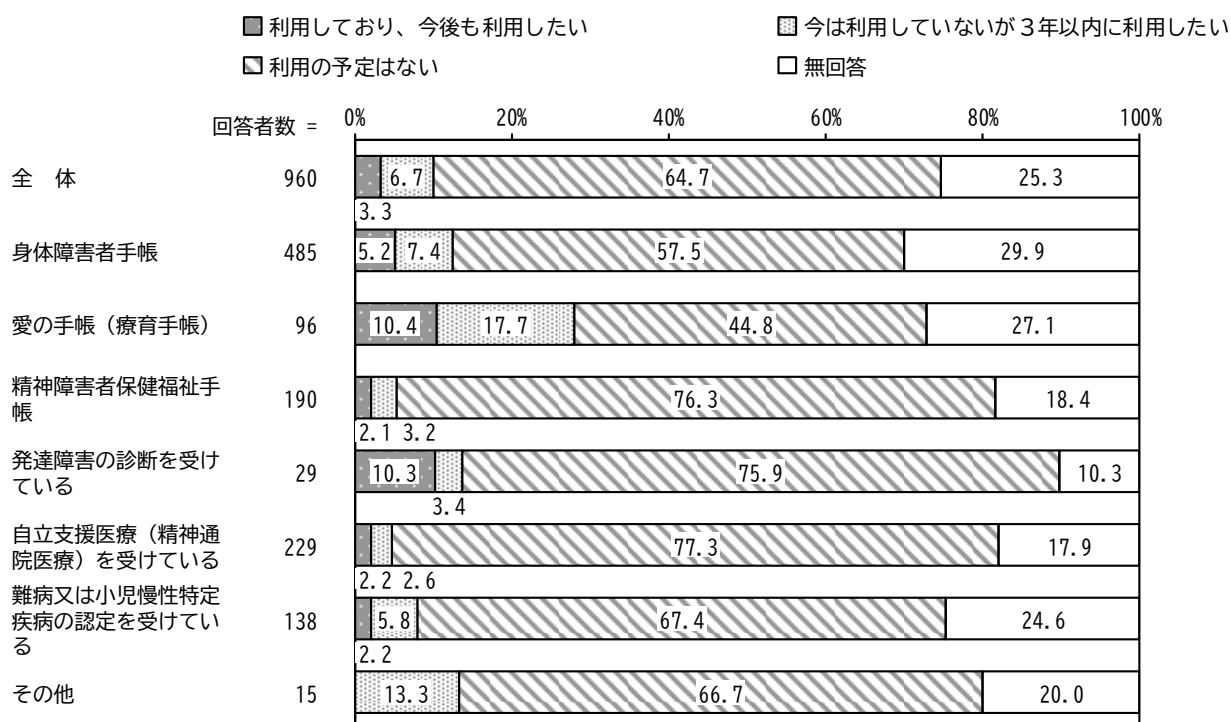
【年齢別】

年齢別にみると、18～39歳、40～64歳で「利用の予定はない」の割合が高くなっています。



【手帳の種類・診断別】

手帳の種類・診断別にみると、愛の手帳（療育手帳）で「今は利用していないが3年以内に利用したい」、精神障害者保健福祉手帳、発達障害の診断を受けている、自立支援医療（精神通院医療）を受けているで「利用の予定はない」の割合が高くなっています。

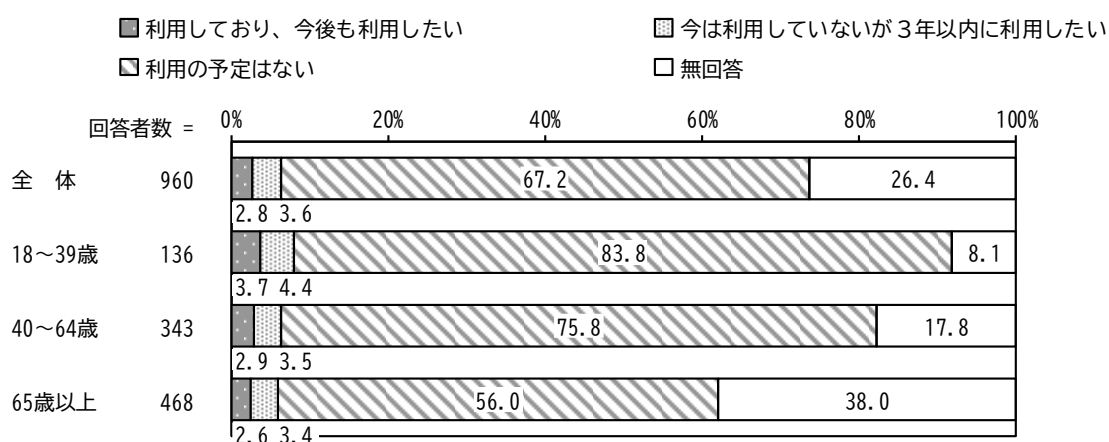


居住系サービス

①自立生活援助

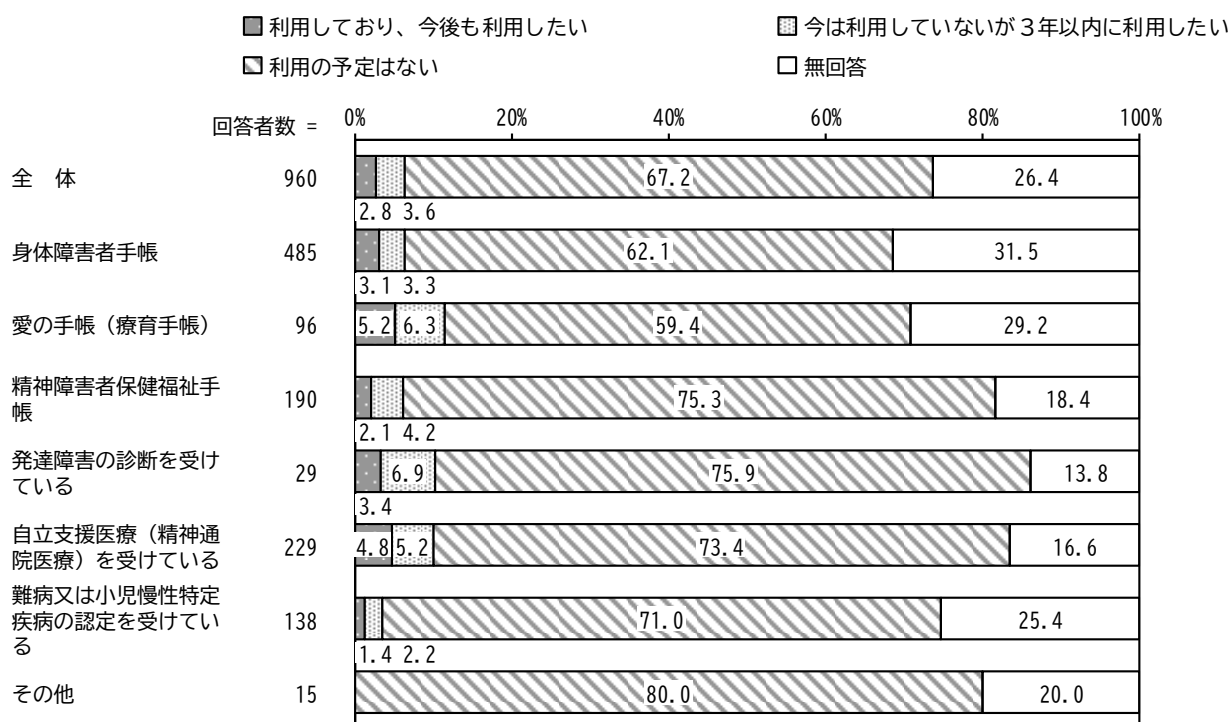
【年齢別】

年齢別にみると、年齢が下がるほど「利用の予定はない」の割合が高くなっています。



【手帳の種類・診断別】

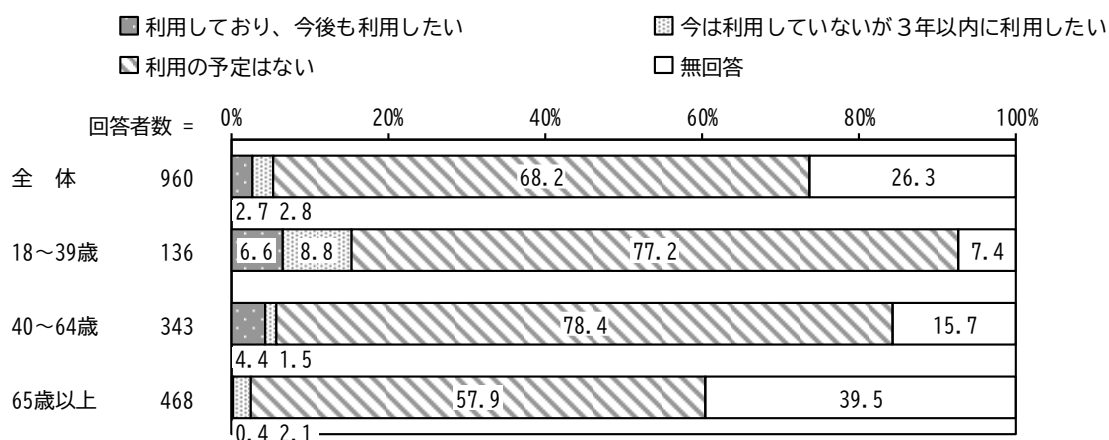
手帳の種類・診断別にみると、精神障害者保健福祉手帳、発達障害の診断を受けている、自立支援医療（精神通院医療）を受けているで「利用の予定はない」の割合が高くなっています。



②共同生活援助（グループホーム）

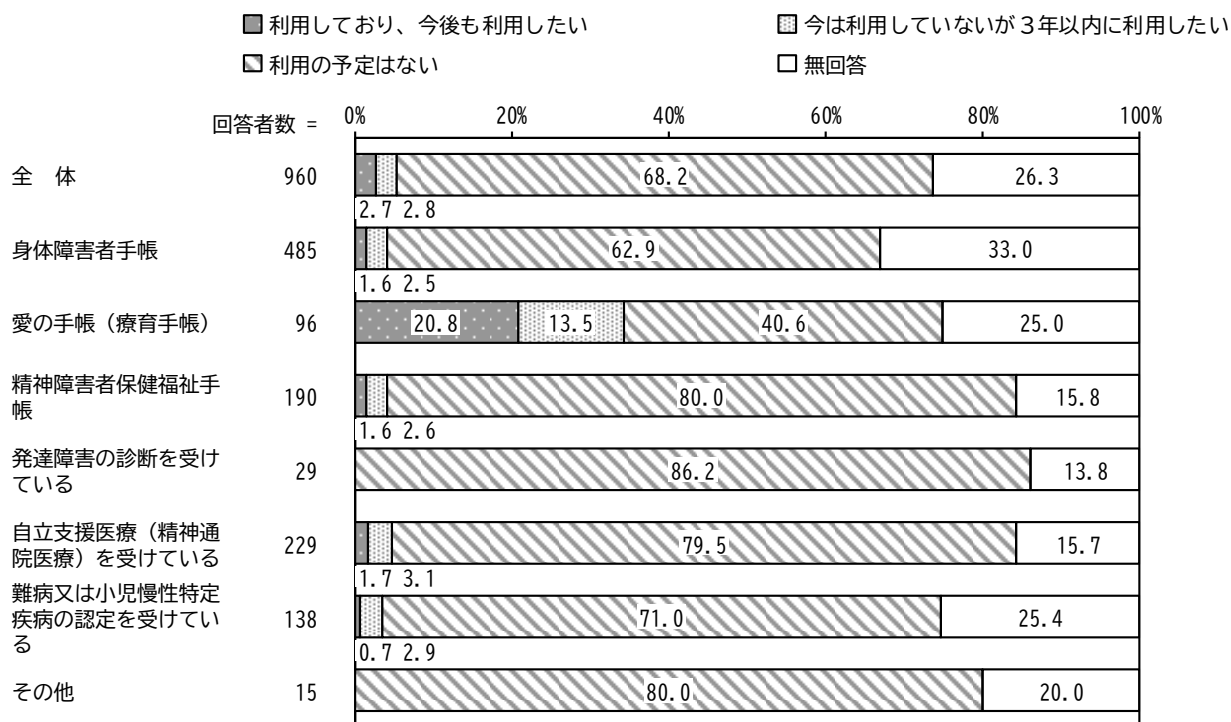
【年齢別】

年齢別にみると、18～39歳で「今は利用していないが3年以内に利用したい」、18～39歳、40～64歳で「利用の予定はない」の割合が高くなっています。



【手帳の種類・診断別】

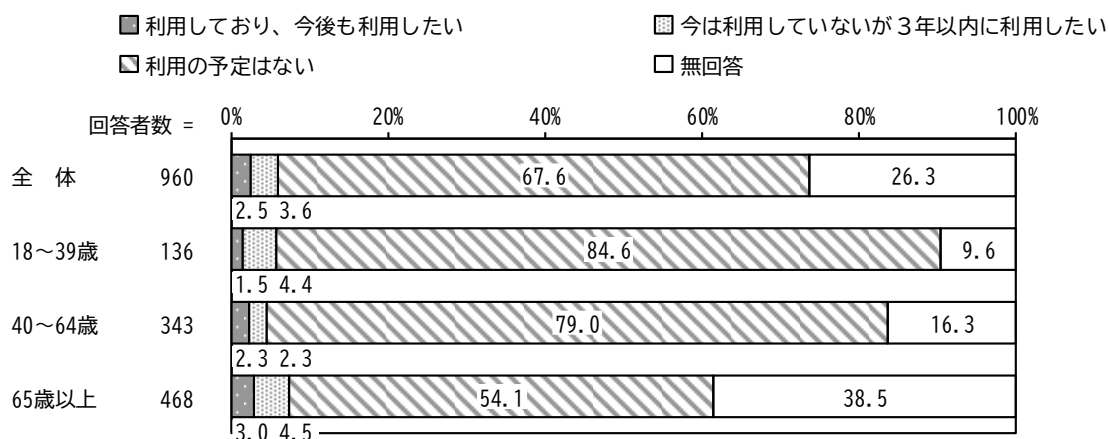
手帳の種類・診断別にみると、愛の手帳（療育手帳）で「利用しており、今後も利用したい」「今は利用していないが3年以内に利用したい」、発達障害の診断を受けているで「利用の予定はない」の割合が高くなっています。



③施設入所支援

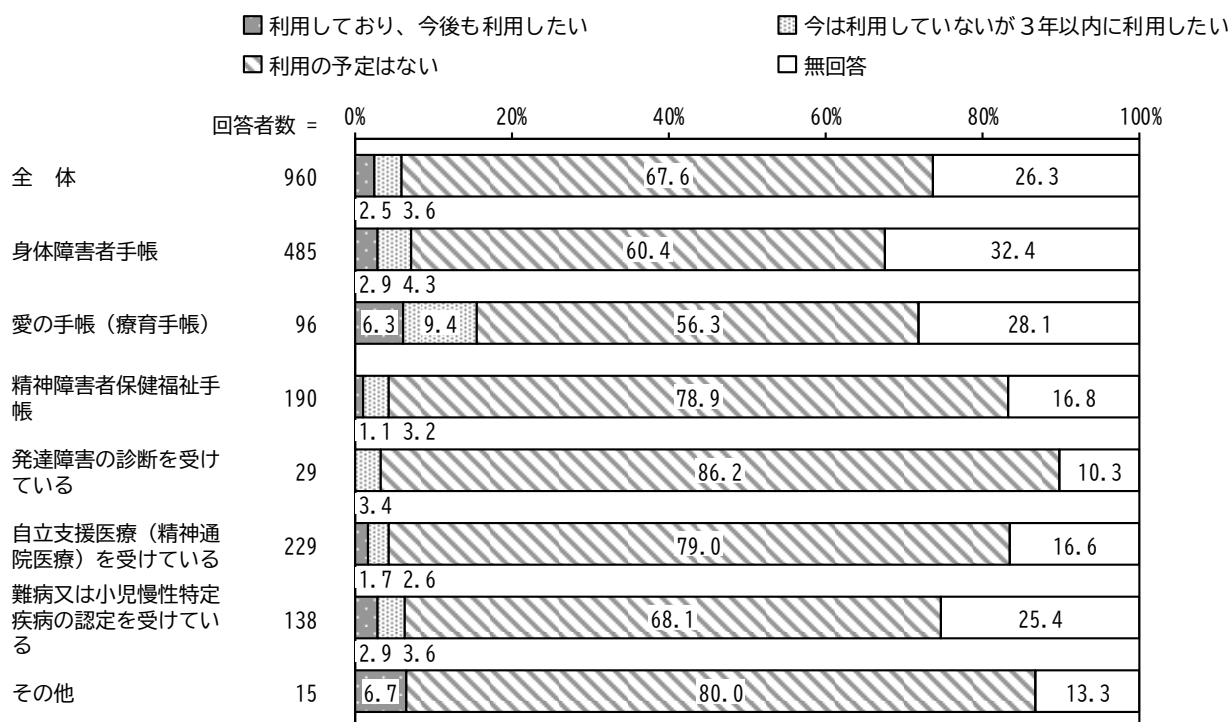
【年齢別】

年齢別にみると、年齢が下がるほど「利用の予定はない」の割合が高くなっています。



【手帳の種類・診断別】

手帳の種類・診断別にみると、愛の手帳（療育手帳）で「今は利用していないが3年以内に利用したい」、発達障害の診断を受けている「利用の予定はない」の割合が高くなっています。

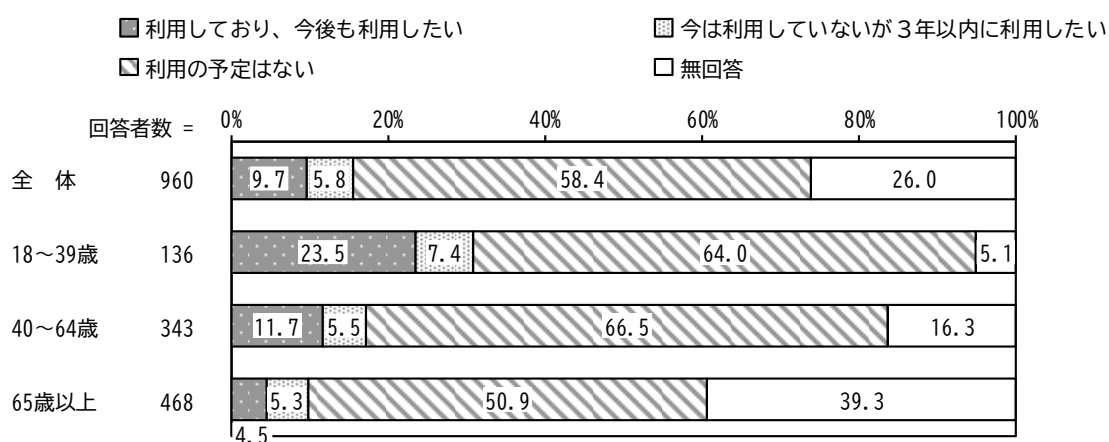


相談系サービス

①計画相談支援

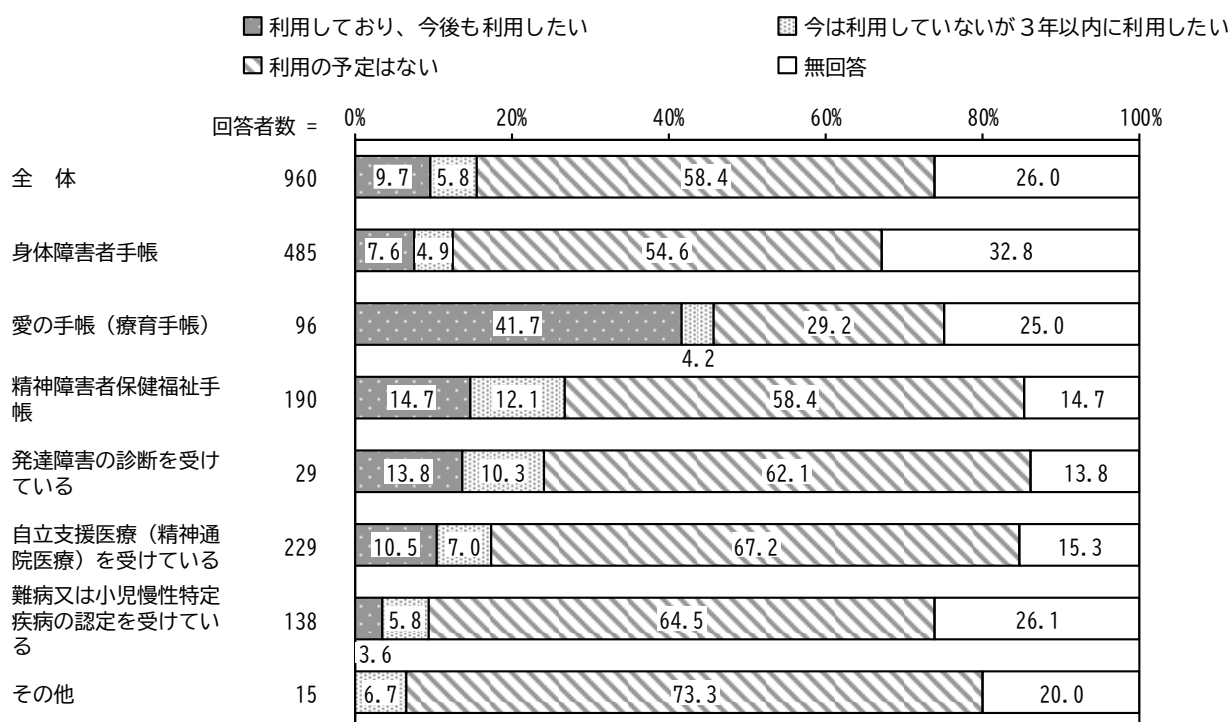
【年齢別】

年齢別にみると、年齢が下がるほど「利用しており、今後も利用したい」の割合が高くなっています。



【手帳の種類・診断別】

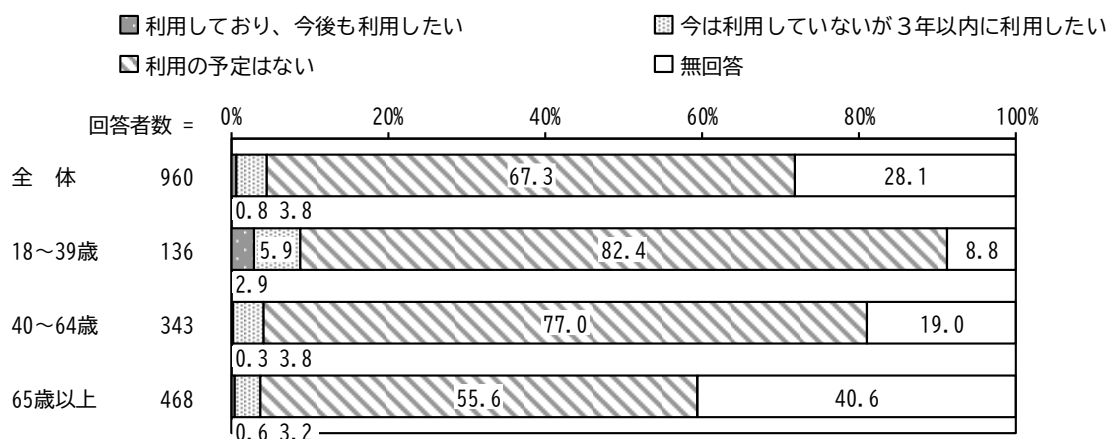
手帳の種類・診断別にみると、愛の手帳（療育手帳）で「利用しており、今後も利用したい」の割合が高く、「利用の予定はない」の割合が低くなっています。



②地域移行支援

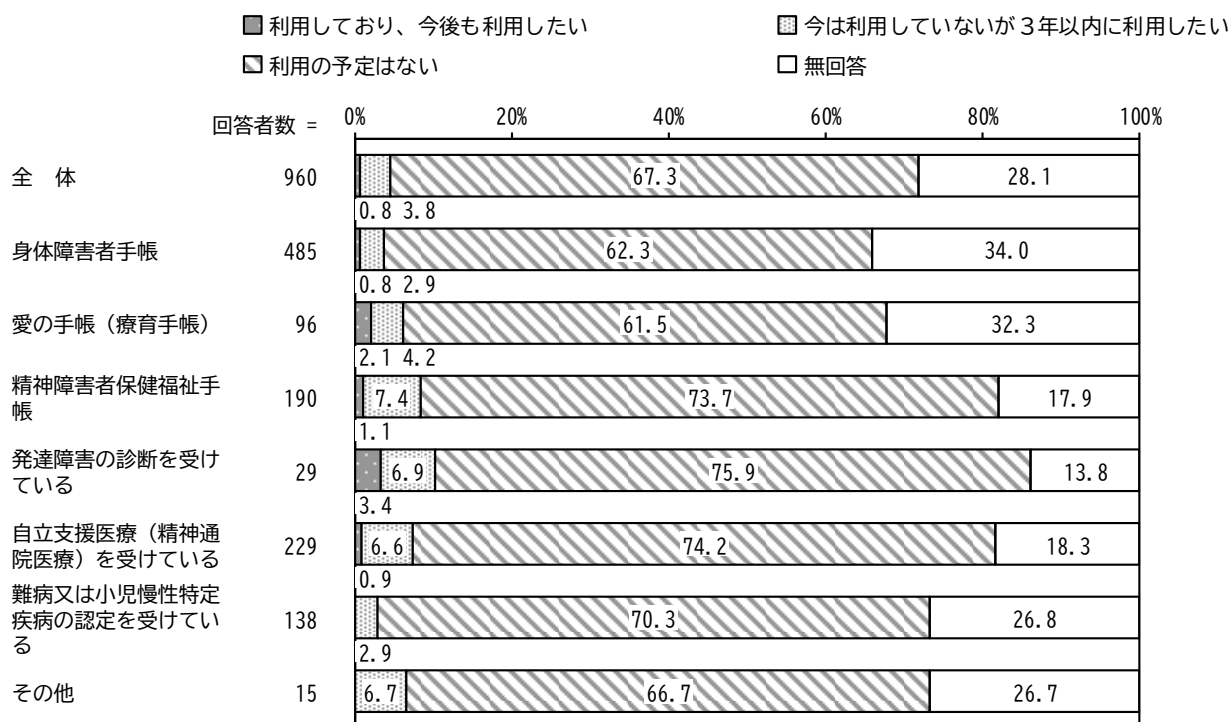
【年齢別】

年齢別にみると、年齢が下がるほど「利用の予定はない」の割合が高くなっています。



【手帳の種類・診断別】

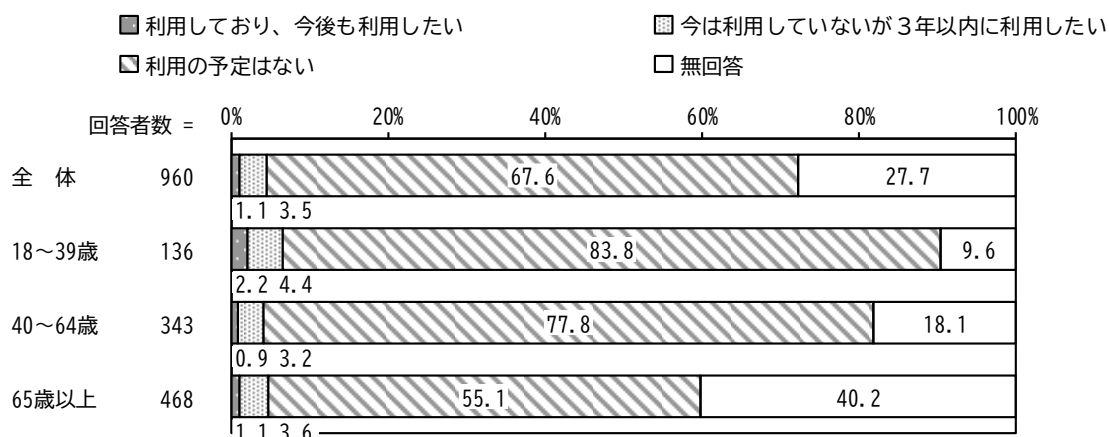
手帳の種類・診断別にみると、精神障害者保健福祉手帳、発達障害の診断を受けている、自立支援医療（精神通院医療）を受けているで「利用の予定はない」の割合が高くなっています。



③地域定着支援

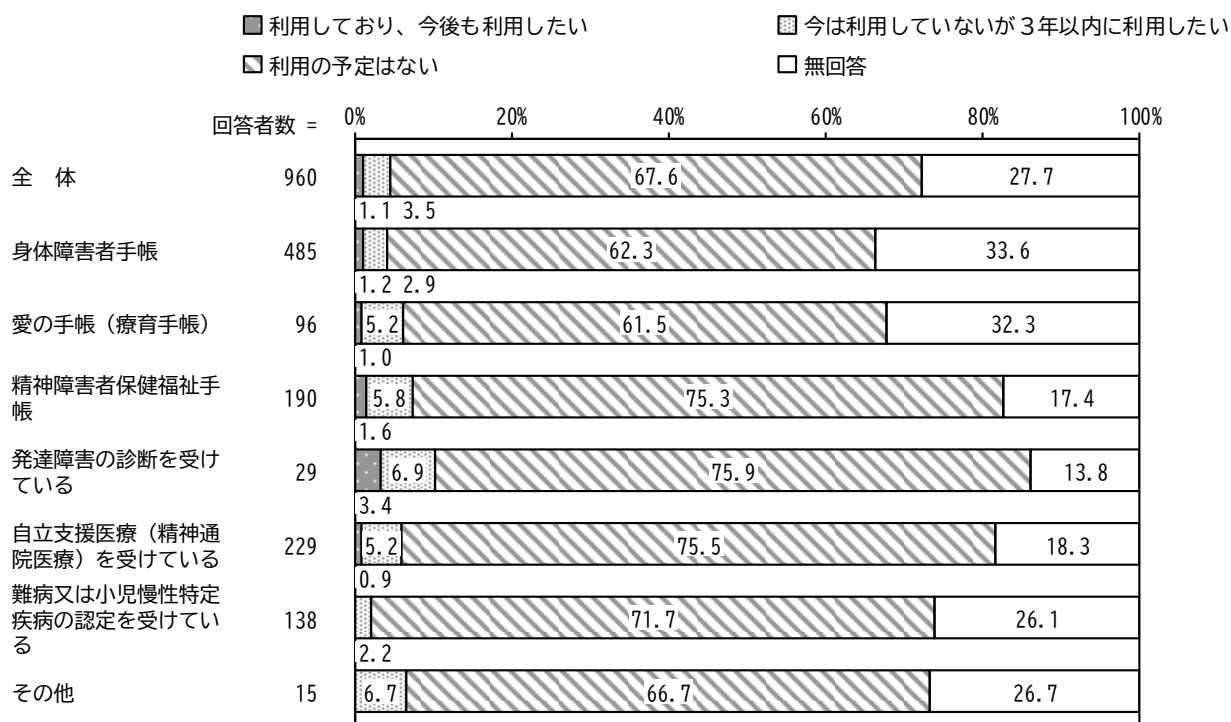
【年齢別】

年齢別にみると、年齢が下がるほど「利用の予定はない」の割合が高くなっています。



【手帳の種類・診断別】

手帳の種類・診断別にみると、精神障害者保健福祉手帳、発達障害の診断を受けている、自立支援医療（精神通院医療）を受けているで「利用の予定はない」の割合が高くなっています。

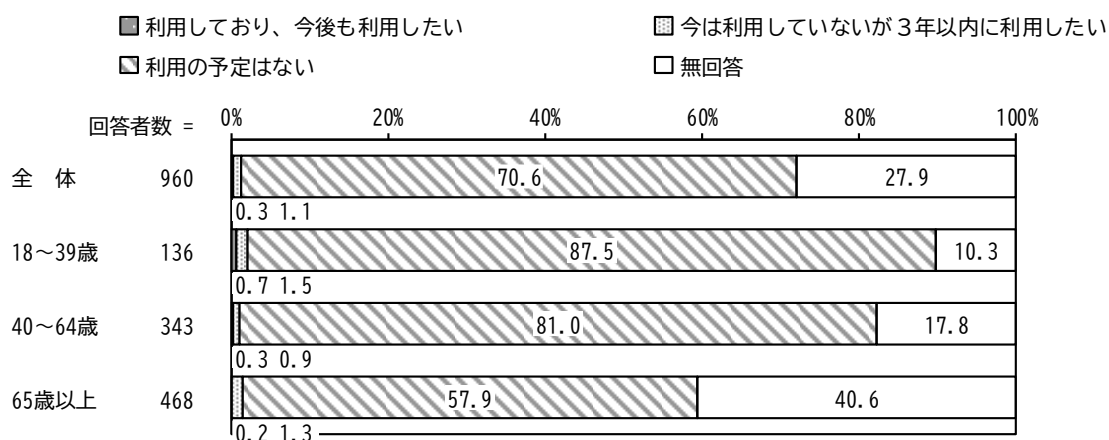


その他

①意思疎通支援事業（主に聴覚障害者への手話通訳の派遣）

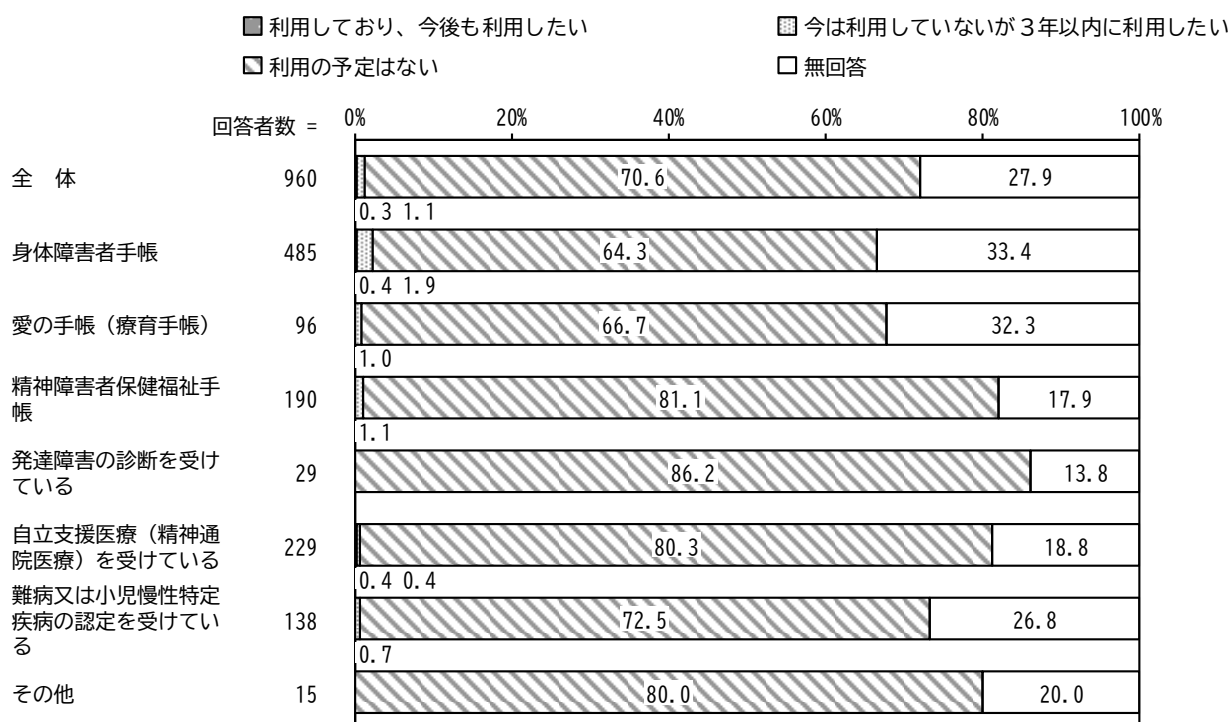
【年齢別】

年齢別にみると、年齢が下がるほど「利用の予定はない」の割合が高くなっています。



【手帳の種類・診断別】

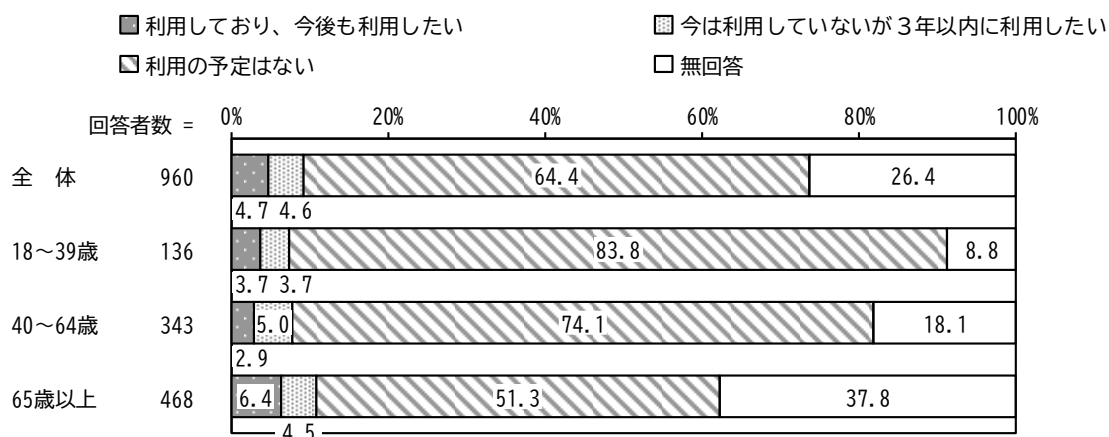
手帳の種類・診断別にみると、発達障害の診断を受けているで「利用の予定はない」の割合が高くなっています。



②日常生活用具給付等事業

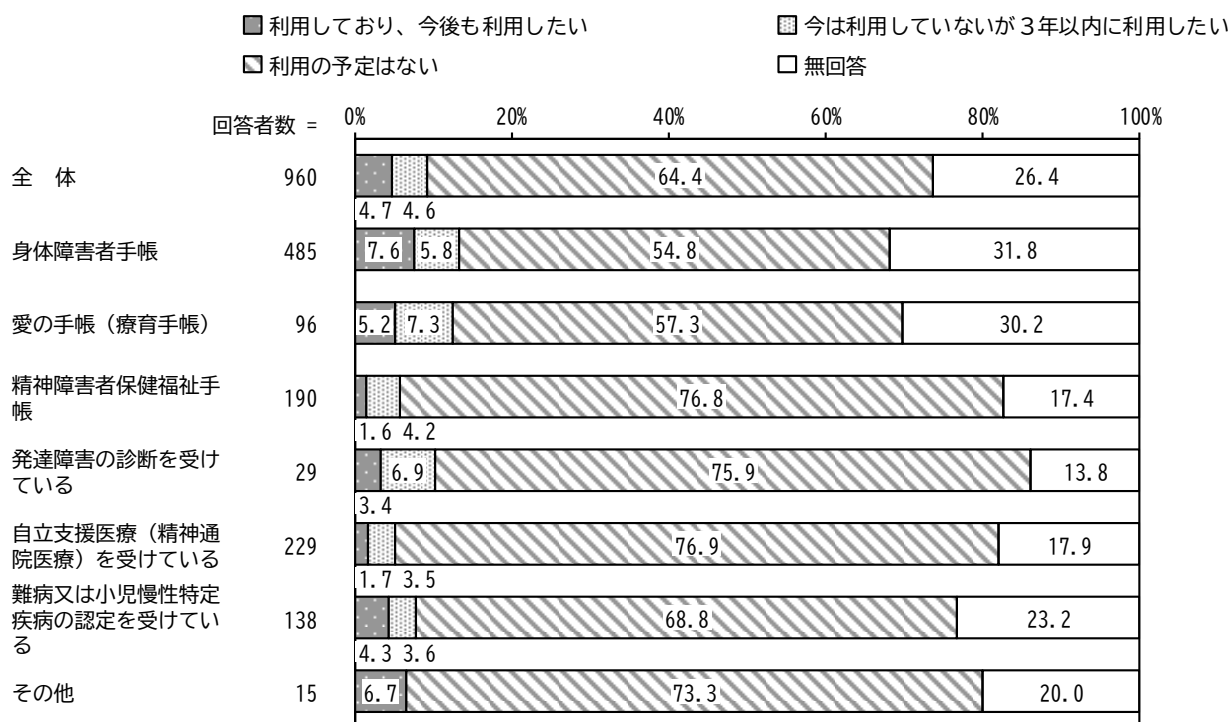
【年齢別】

年齢別にみると、年齢が下がるほど「利用の予定はない」の割合が高くなっています。



【手帳の種類・診断別】

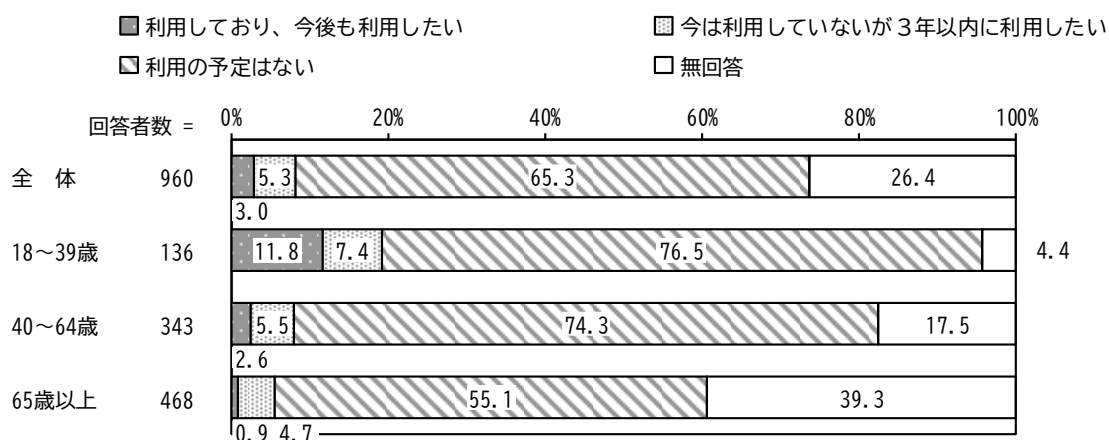
手帳の種類・診断別にみると、精神障害者保健福祉手帳、発達障害の診断を受けている、自立支援医療（精神通院医療）を受けているで「利用の予定はない」の割合が高くなっています。



③移動支援事業（外出時のガイドヘルプ）

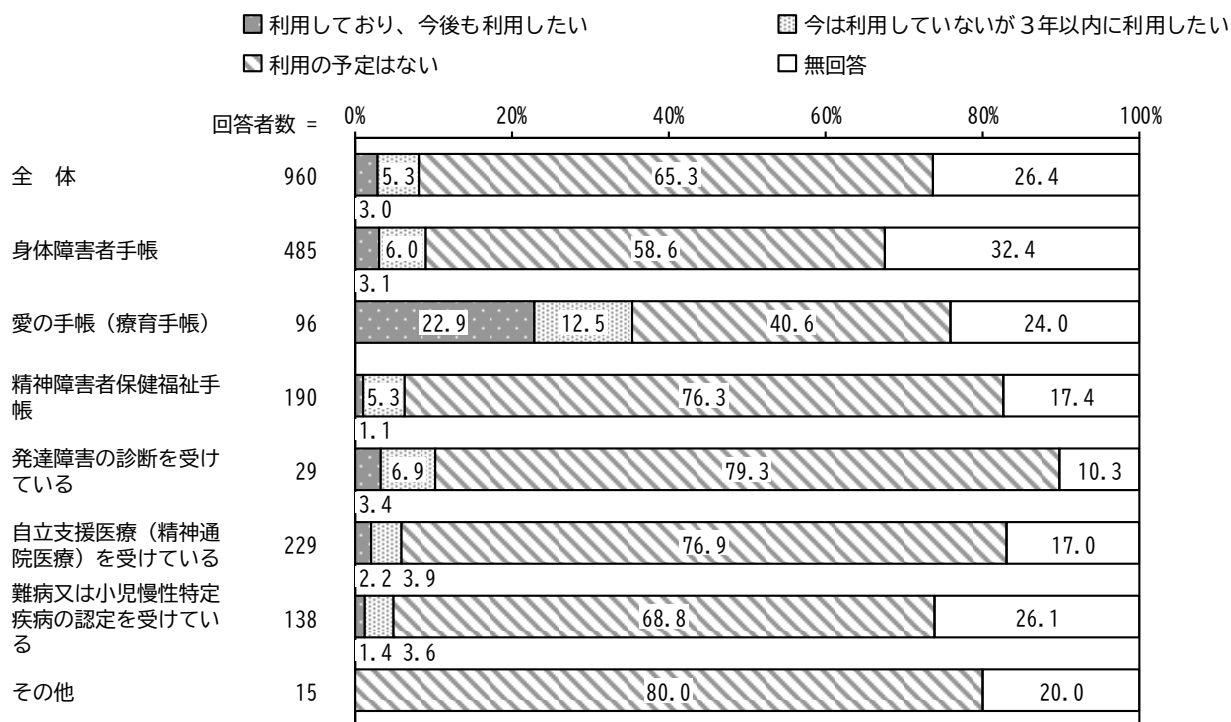
【年齢別】

年齢別にみると、年齢が下がるほど「利用しており、今後も利用したい」「利用の予定はない」の割合が高くなっています。



【手帳の種類・診断別】

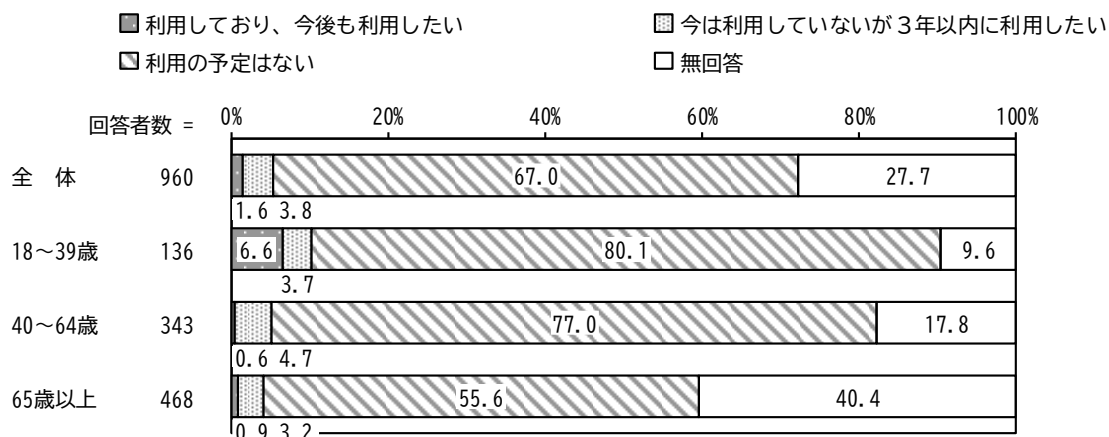
手帳の種類・診断別にみると、愛の手帳（療育手帳）で「利用しており、今後も利用したい」、精神障害者保健福祉手帳、発達障害の診断を受けている、自立支援医療（精神通院医療）を受けているで「利用の予定はない」の割合が高くなっています。



④日中一時支援事業（緊急一時保護）

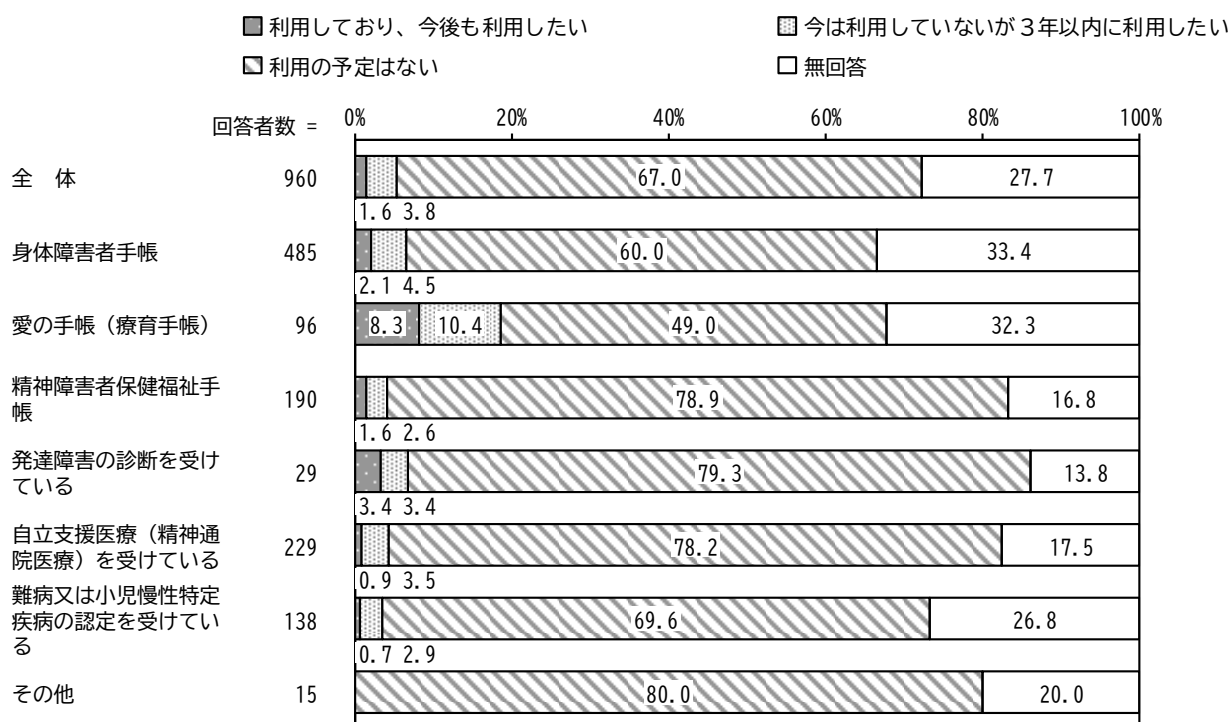
【年齢別】

年齢別にみると、年齢が下がるほど「利用の予定はない」の割合が高くなっています。



【手帳の種類・診断別】

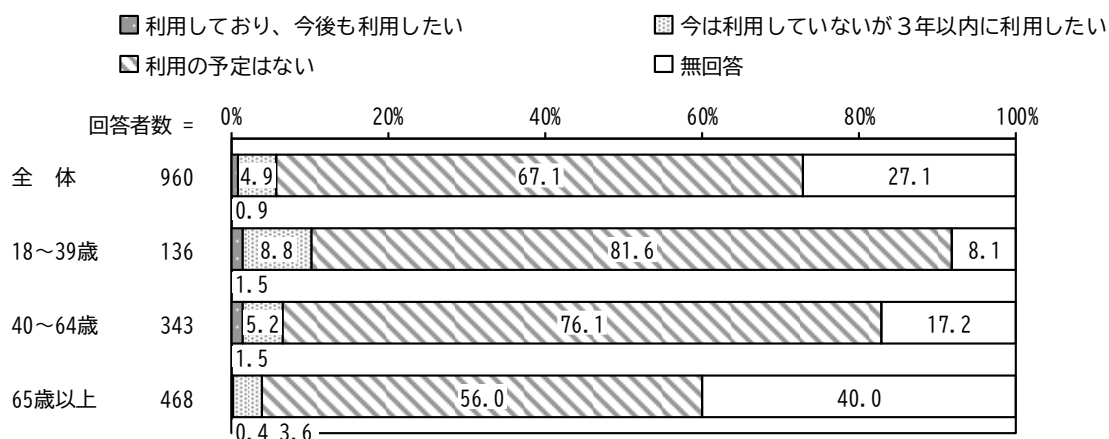
手帳の種類・診断別にみると、愛の手帳（療育手帳）で「利用しており、今後も利用したい」「今は利用していないが3年以内に利用したい」、精神障害者保健福祉手帳、発達障害の診断を受けている、自立支援医療（精神通院医療）を受けているで「利用の予定はない」の割合が高くなっています。



⑤成年後見制度

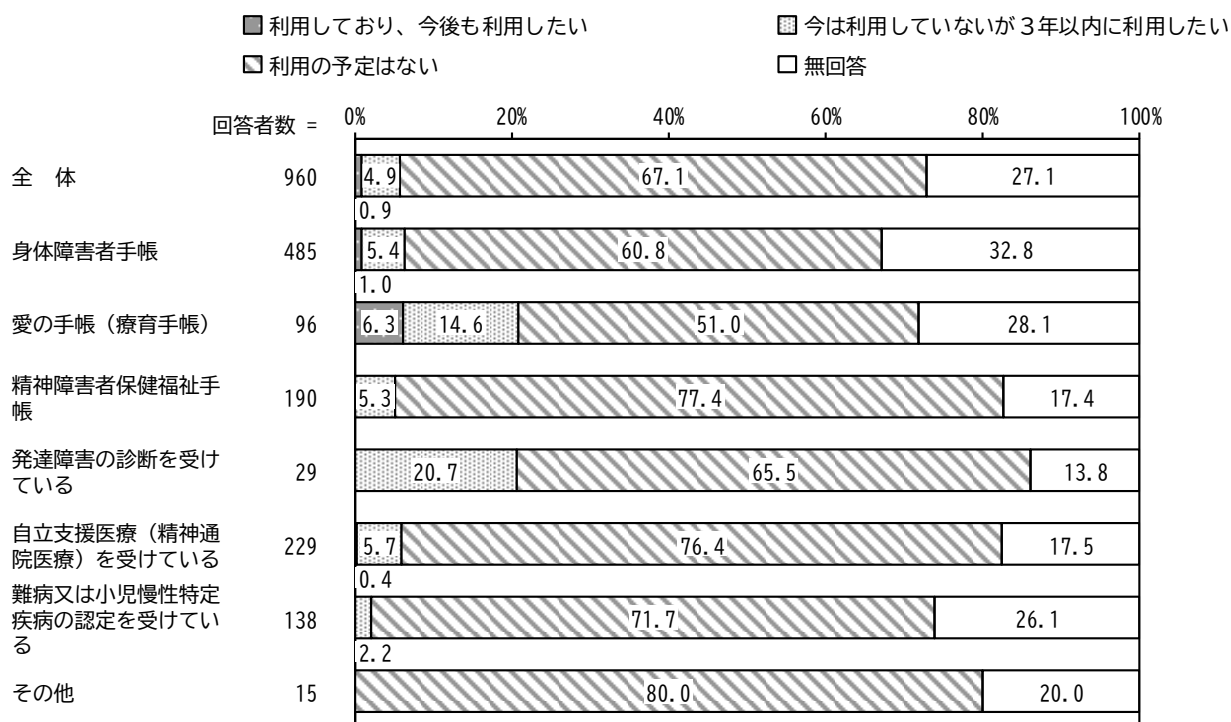
【年齢別】

年齢別にみると、年齢が下がるほど「利用の予定はない」の割合が高くなっています。



【手帳の種類・診断別】

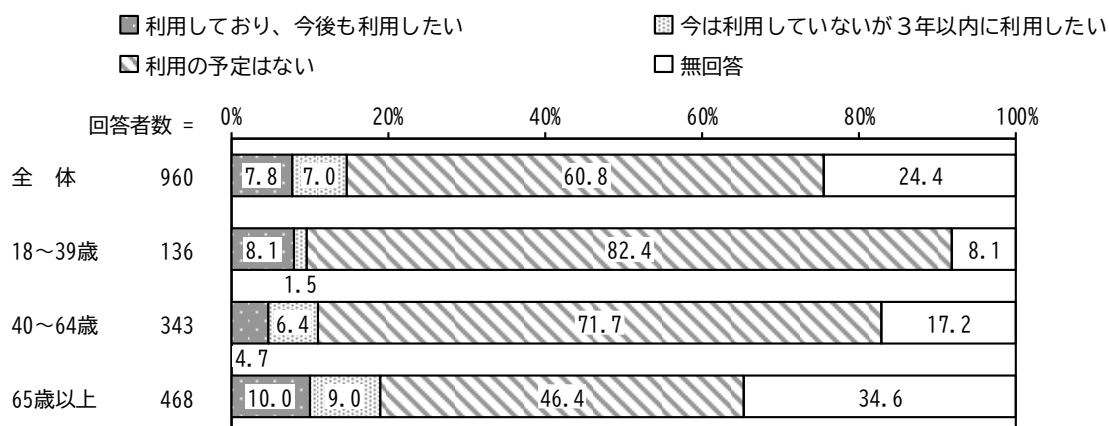
手帳の種類・診断別にみると、発達障害の診断を受けているで「今は利用していないが3年以内に利用したい」、精神障害者保健福祉手帳で「利用の予定はない」の割合が高くなっています。



⑥補装具費（車いす・補聴器等）の給付

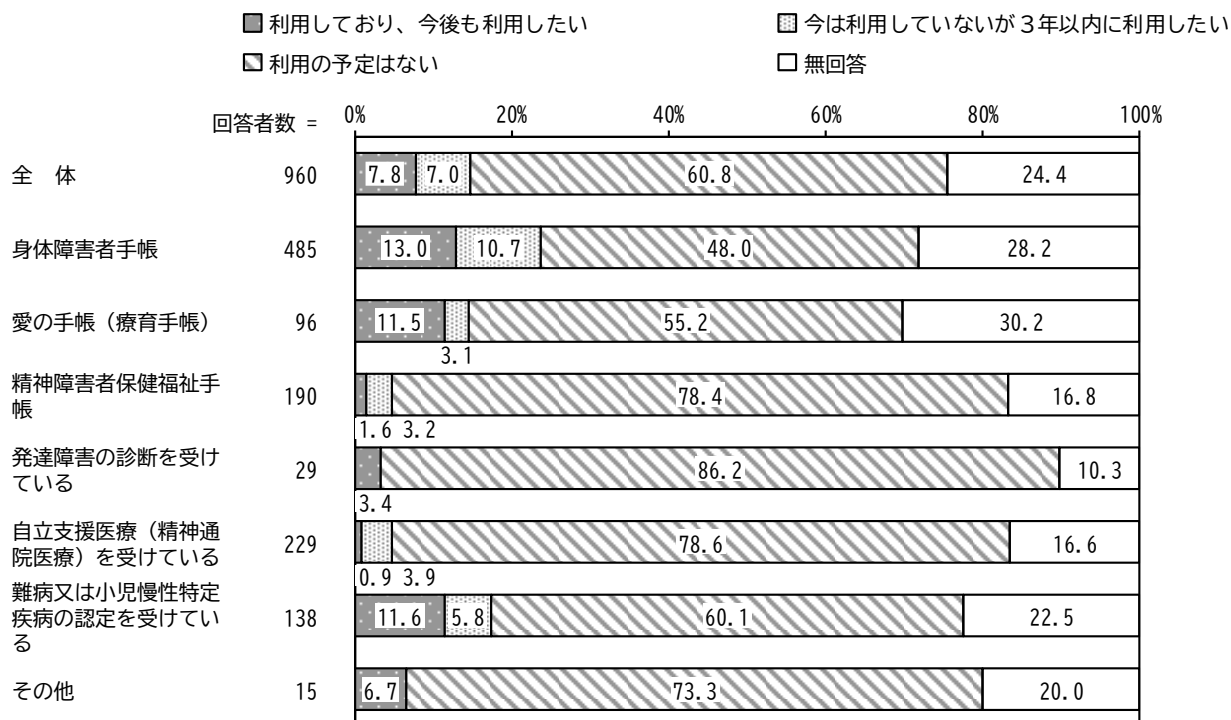
【年齢別】

年齢別にみると、18～39歳で「利用の予定はない」の割合が高くなっています。



【手帳の種類・診断別】

手帳の種類・診断別にみると、身体障害者手帳で「利用しており、今後も利用したい」、発達障害の診断を受けているで「利用の予定はない」の割合が高くなっています。



問 38 あなたは、普段の障害福祉サービスの利用に関して困っていることがありますか。（あてはまるものすべてに○印）

「制度がわかりにくい」の割合が 29.0%と最も高く、次いで「市役所での手続きが大変」の割合が 14.5%となっています。

【年齢別】

年齢別にみると、年齢が下がるほど「制度がわかりにくい」「利用できる日数が限られ利用回数が少ない」「事業所との日時などの調整が大変」「経済的負担が大きい」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	制度がわかりにくい	利用できない 利用したいサービスを	利用できる日数が限られ 利用回数が少ない	困っている サービスの質について	他の利用者との関係が大変	市役所での手続きが大変	事業所との日時などの調整が大変	事業所への移動が大変	経済的負担が大きい	利用したい内容のサービスがない	その他	特に困っていることは ない	無回答
全 体	960	29.0	4.4	4.4	2.9	3.5	14.5	4.1	3.9	9.7	7.1	3.9	41.7	11.7
18～39歳	136	39.0	8.1	11.0	8.8	8.1	15.4	11.0	9.6	14.7	15.4	5.9	34.6	2.9
40～64歳	343	32.4	5.5	5.2	3.8	4.7	17.8	3.8	3.8	10.8	5.0	4.4	43.4	6.7
65歳以上	468	23.9	2.6	1.9	0.4	1.5	11.8	2.1	2.4	7.5	6.2	2.8	42.5	17.7

【手帳の種類・診断別】

手帳の種類・診断別にみると、発達障害の診断を受けているで「制度がわかりにくい」「サービスの質について困っている」「他の利用者との関係が大変」「利用したい内容のサービスがない」、愛の手帳（療育手帳）で「利用できる日数が限られ利用回数が少ない」、精神障害者保健福祉手帳で「市役所での手続きが大変」の割合が高くなっています。

単位：％

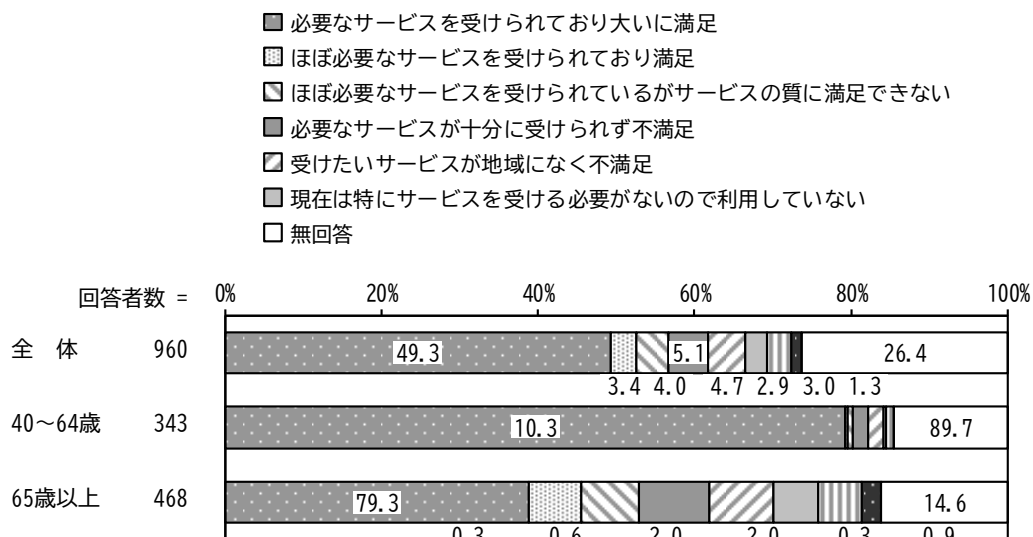
区分	回答者数（件）	制度がわかりにくい	利用できない 利用したいサービスを	利用できる日数が限られ 利用回数が少ない	困っている サービスの質について	他の利用者との関係が大変	市役所での手続きが大変	事業所との日時などの調整が大変	事業所への移動が大変	経済的負担が大きい	利用したい内容のサービスがない	その他	特に困っていることは ない	無回答
全 体	960	29.0	4.4	4.4	2.9	3.5	14.5	4.1	3.9	9.7	7.1	3.9	41.7	11.7
身体障害者手帳	485	25.8	2.5	3.7	0.4	1.6	12.2	2.9	3.3	8.5	6.0	3.1	44.3	13.8
愛の手帳（療育手帳）	96	30.2	10.4	17.7	6.3	5.2	11.5	11.5	6.3	13.5	12.5	6.3	30.2	10.4
精神障害者保健福祉手帳	190	43.2	8.4	6.8	8.4	10.5	27.4	7.4	9.5	17.4	10.5	6.8	26.3	5.3
発達障害の診断を受けている	29	51.7	10.3	13.8	17.2	20.7	24.1	13.8	10.3	17.2	20.7	10.3	17.2	3.4
自立支援医療（精神通院医療）を受けている	229	36.7	5.7	5.7	5.7	5.7	19.7	5.7	5.2	15.3	8.7	6.6	34.1	7.0
難病又は小児慢性特定疾病の認定を受けている	138	31.9	2.2	1.4	0.7	2.9	13.0	3.6	2.9	10.1	5.1	1.4	47.8	10.9
その他	15	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	20.0	6.7	0.0	33.3	13.3

問 39 あなたは、普段受けている障害福祉サービスに、満足していますか。(○印は1つ)

「現在は特にサービスを受ける必要がないので利用していない」の割合が 42.6%と最も高く、次いで「ほぼ必要なサービスを受けられており満足」の割合が 24.8%となっています。

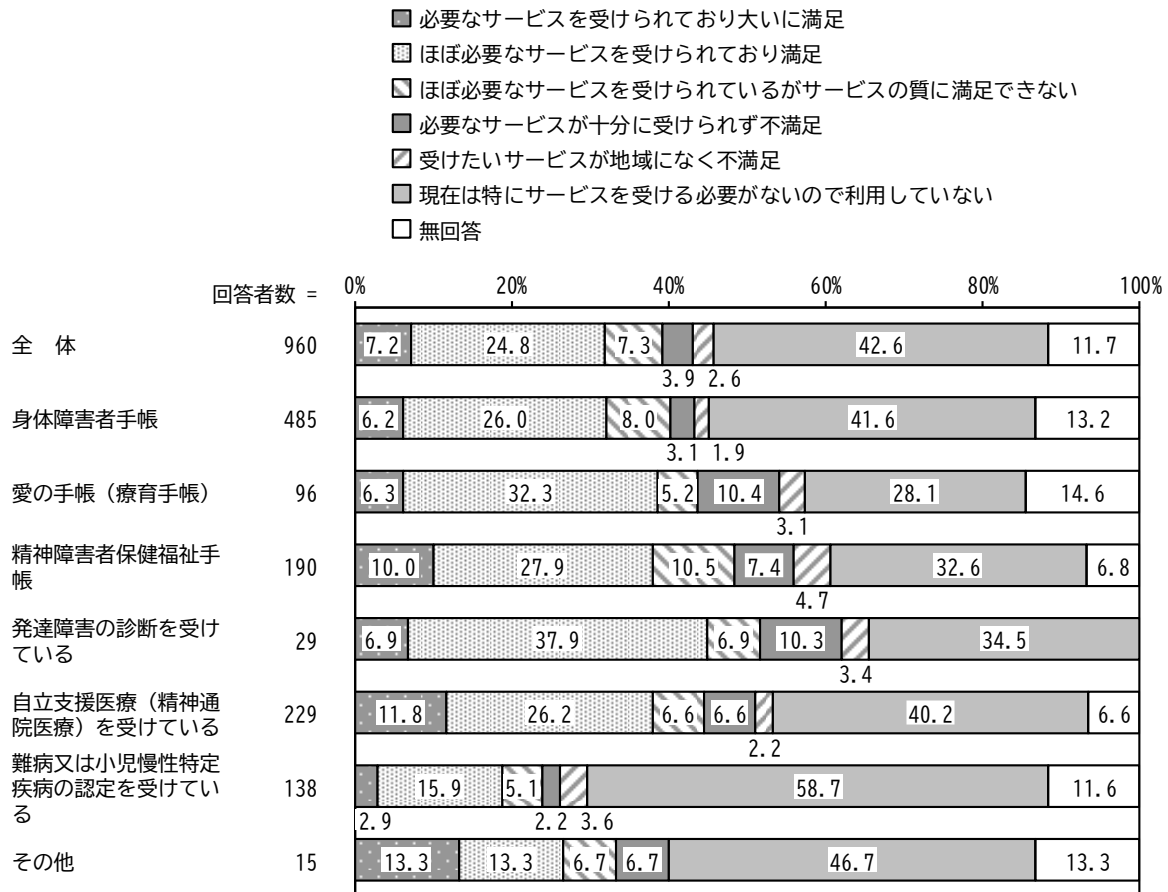
【年齢別】

年齢別にみると、18～39 歳で「ほぼ必要なサービスを受けられており満足」が、40～64 歳で「現在は特にサービスを受ける必要がないので利用していない」の割合が高くなっています。また、年齢が下がるほど「必要なサービスが十分に受けられず不満足」の割合が高くなっています。



【手帳の種類・診断別】

手帳の種類・診断別にみると、発達障害の診断を受けているで「ほぼ必要なサービスを受けられており満足」、愛の手帳（療育手帳）、発達障害の診断を受けているで「必要なサービスが十分に受けられず不満足」、難病又は小児慢性特定疾病の認定を受けているで「現在は特にサービスを受ける必要がないので利用していない」の割合が高くなっています。



問 39 で「必要なサービスが十分に受けられず不満足」か「受きたいサービスが地域になく不満足」に○をつけた方にお聞きします。

問 39－1 地域の中で、障害者に関するサービスのうち何が不足していると思いますか。

全体で 47 件の意見がありました。

No	内容	件数
1	個別状況に対応したサービス	12 件
2	移動	8 件
3	余暇・健康活動	8 件
4	制度上の問題	6 件
5	理解	4 件
6	就労	4 件
7	経済的支援	3 件
8	情報	2 件
9	その他	2 件

余暇・健康活動

くるぶーが、柳泉園風呂、プールに行きたいが行かないこと
友人や仲間とすごす場
施設入所者に対する、週末余暇外出のための支援サービス
母が一人で担っているが、健康不安、片親にて、本人（30 代）外出余暇の希望を支援してくれるサービスがない
基本、施設入所は人手不足のためムリ
プール
市内でお風呂サービスがない。他市は無料でやっている
健康を回復するサービス

住まい

該当の意見はありませんでした。

就労

就労施設
作業内容
就労支援や、ショートステイがなかなか使えないので、利用できる施設が増えてほしい
雇用

療育・障害児サービス

該当の意見はありませんでした。

理解

人間的に寄りそうのではなく、ビジネスライクで接する者が多い
心
サービス提供者との意思そつう
重度アレルギーの利用者のためのグループホームがない

情報がない

内容がわかりにくい。
情報

移動

バスの完全無料化
道路に段差が多すぎて危険、狭い。車イス、杖では通りたくない
私個人の移動がすぐに出来ない
通院手段
ガイドヘルパーの不足
公共交通機関が、1人では、出来ない。他の人がいると気になる
交通機関の改善が生活を楽しくしてくれると
移動支援の時間をもう少し長くとれるようにしてほしい

経済的支援

経済的支援
日常生活用具等給付事業の支給金額が不足している
経済を助けてくれる物がなく困っている

制度上の問題

グレーゾーンの人など制度の狭間にいる方への支援など
65才以上の為介護認定がとれなければ受けられるサービスはない
介護施設が東久留米市外のため、手続きが複雑なこと
複合的（精神・身体）障害に関する（私の現在の症状）サポートをお願いする要項がないです
家族が居ると家事サービスが受けられない
くるぶーは年齢や妊婦さんに限られていて 私は利用できない所、障害者は年齢に関係なく乗れるようにしてくれたら助かる

個別状況に対応したサービス

足の爪切り
サービスが不足しているのではなく、自分が受ける時間が作れない
私は記しておくことができず、スマホの操作を覚えられない。ペイペイとか全然意味がわからない
場所と時間の問題
既婚者の生活介護
きん急連絡先がない
老いるごとに障害がひどくなっているようで、十分に相談ができない
人員不足により受けられず
自立訓練の施設
支援員が不足している
デイケアが欲しい。多摩済生病院にはありました
障害者が希望する曜日だけヘルプして頂く様な自由な選択

その他

車いす修理に対して対応が遅いし返答もない
自治体の協力が不足、市の職員が役に立たない

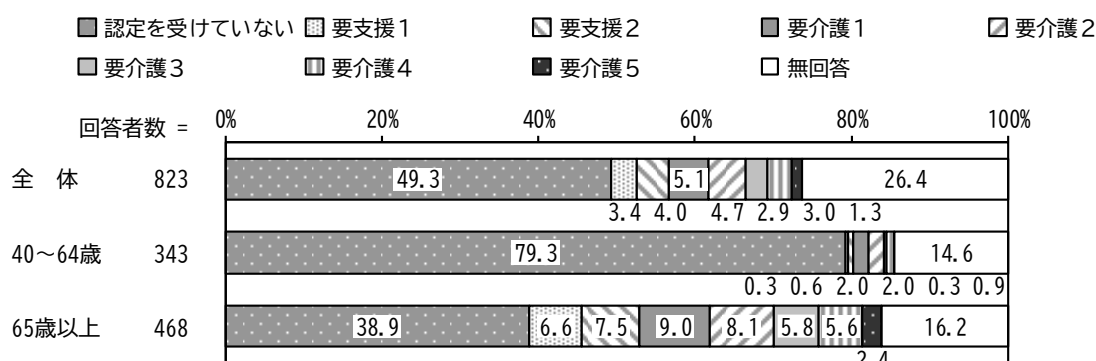
40 歳以上の方にお聞きします。

問 40 介護保険による認定を受けていますか。要介護・要支援認定を受けている方はあてはまる要介護度に○をつけてください。(○印は1つ)

「認定を受けていない」の割合が 49.3%と最も高くなっています。

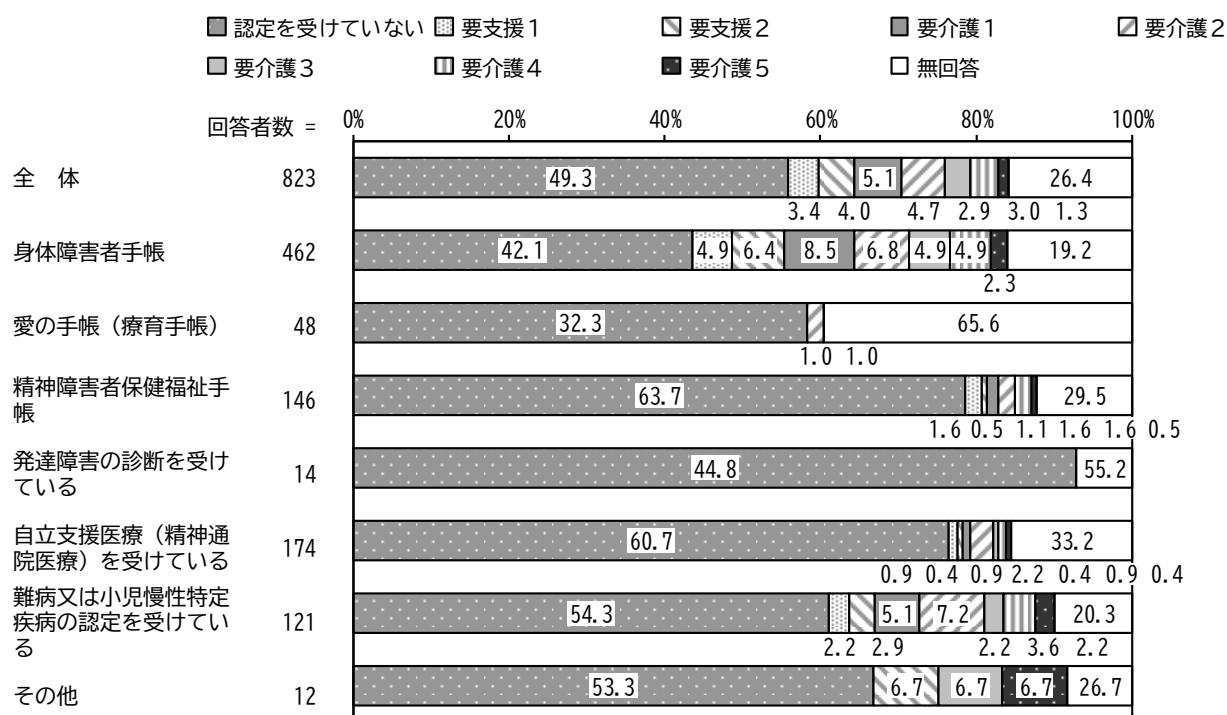
【年齢別】

年齢別にみると、40～64 歳で「認定を受けていない」の割合が高くなっています。



【手帳の種類・診断別】

手帳の種類・診断別にみると、精神障害者保健福祉手帳、自立支援医療（精神通院医療）を受けているで「認定を受けていない」の割合が高くなっています。



40 歳以上の方にお聞きします。

問 40－1 介護保険のサービスを受けるにあたり、不安に思うことはありますか。(あてはまるものすべてに○印)

「利用者負担が増えること」の割合が 27.1%と最も高くなっています。

【年齢別】

年齢別にみると、40～64 歳で「利用者負担が増えること」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	利用者負担が増えること	利用時間が少なくなること	これまで利用していた事業所が使えなくなること	これまで利用していた障害福祉の類似サービスよりも質が下がること	その他	特にない	無回答
全 体	823	31.2	6.8	5.3	6.4	3.3	43.3	19.2
18～39歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
40～64歳	343	32.9	7.0	6.4	7.3	3.5	46.1	14.6
65歳以上	468	30.3	6.8	4.7	6.0	3.2	41.5	21.8

【手帳の種類・診断別】

手帳の種類・診断別にみると、発達障害の診断を受けているで「これまで利用していた事業所が使えなくなること」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	利用者負担が増えること	利用時間が少なくなること	これまで利用していた事業所が使えなくなること	これまで利用していた障害福祉の類似サービスよりも質が下がること	その他	特にない	無回答
全 体	823	31.2	6.8	5.3	6.4	3.3	43.3	19.2
身体障害者手帳	462	29.7	7.6	5.4	7.1	2.8	42.4	21.4
愛の手帳（療育手帳）	48	25.0	8.3	12.5	12.5	4.2	31.3	37.5
精神障害者保健福祉手帳	146	39.0	6.2	8.9	6.2	8.9	39.0	10.3
発達障害の診断を受けている	14	42.9	14.3	21.4	14.3	7.1	42.9	7.1
自立支援医療（精神通院医療）を受けている	174	32.8	5.2	5.2	5.7	5.2	47.7	13.8
難病又は小児慢性特定疾病の認定を受けている	121	34.7	5.0	3.3	6.6	0.0	52.1	11.6
その他	12	50.0	8.3	0.0	0.0	0.0	41.7	8.3

雇用・就労について

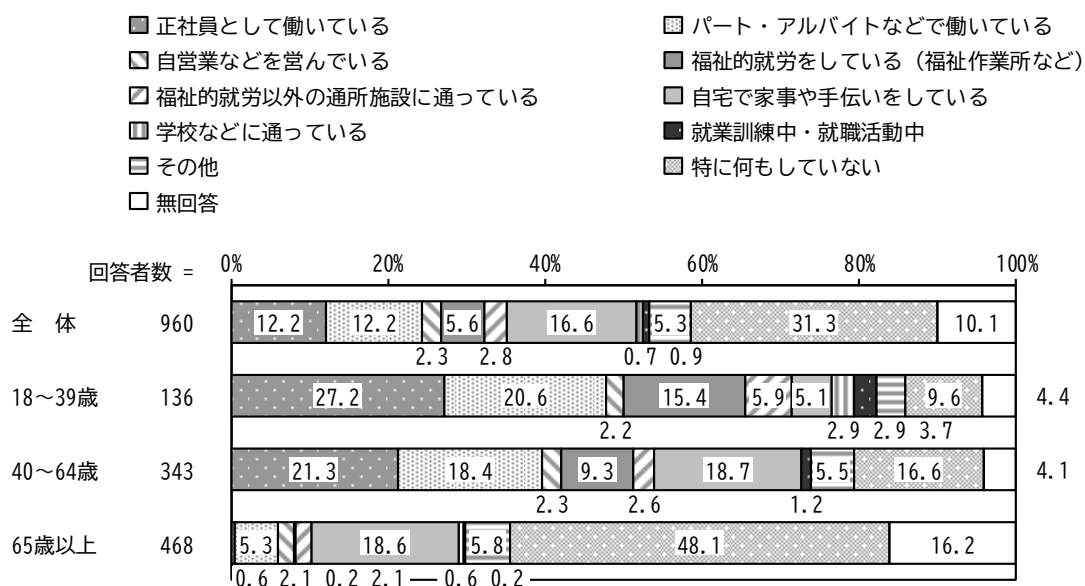
あなた（あて名のご本人）が18歳以上の場合のみお答えください。

問 41 あなたは普段、平日の日中をどのように過ごしていますか。（○印は1つ）

「自宅で家事や手伝いをしている」の割合が16.6%と最も高く、次いで「正社員として働いている」、「パート・アルバイトなどで働いている」の割合が12.2%となっています。

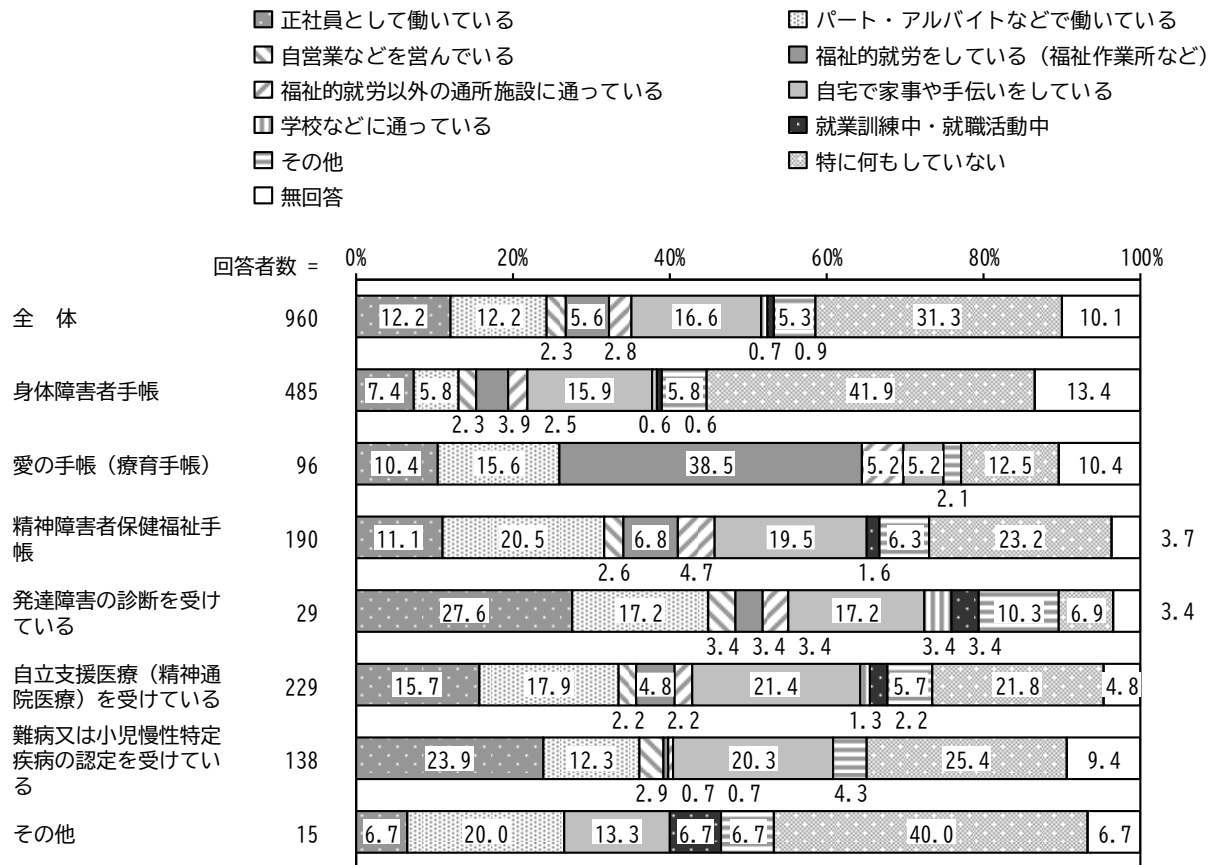
【年齢別】

年齢別にみると、年齢が下がるほど「正社員として働いている」「パート・アルバイトなどで働いている」「福祉的就労をしている（福祉作業所など）」の割合が高くなっています。また、40～64歳で「自宅で家事や手伝いをしている」の割合が高くなっています。



【手帳の種類・診断別】

手帳の種類・診断別にみると、発達障害の診断を受けているで「正社員として働いている」、精神障害者保健福祉手帳、自立支援医療（精神通院医療）を受けているで「パート・アルバイトなどで働いている」、愛の手帳（療育手帳）で「福祉的就労をしている（福祉作業所など）」の割合が高くなっています。



問 41 で「正社員として働いている」～「福祉的就労をしている（福祉作業所など）」に○をつけた方にお聞きます。

問 41－1 あなたが仕事をする上で困っていることはなんですか。（あてはまるものすべてに○印）

「給与・工賃などの収入が少ない」の割合が 32.3%と最も高く、次いで「精神的な負担が大きい」の割合が 20.0%、「通勤が大変」の割合が 19.0%となっています。

【年齢別】

年齢別にみると、年齢が下がるほど「給与・工賃などの収入が少ない」「通勤が大変」「精神的な負担が大きい」「職場の人間関係」「仕事が自分には合わない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	給与・工賃などの収入が少ない	通勤が大変	身体的な負担が大きい	精神的な負担が大きい	障害に対する職場の理解が不足している	職場の人間関係	仕事が自分には合わない	その他	特に困っていることはない	無回答
全 体	310	32.3	19.0	14.5	20.0	6.8	15.2	5.2	4.2	30.0	3.9
18～39歳	89	42.7	22.5	11.2	25.8	7.9	23.6	10.1	6.7	23.6	2.2
40～64歳	176	31.3	18.8	17.0	21.6	7.4	14.2	4.0	3.4	27.8	3.4
65歳以上	39	15.4	12.8	10.3	2.6	2.6	2.6	0.0	2.6	51.3	10.3

【手帳の種類・診断別】

手帳の種類・診断別にみると、愛の手帳（療育手帳）で「給与・工賃などの収入が少ない」、難病又は小児慢性特定疾病の認定を受けているで「身体的な負担が大きい」、発達障害の診断を受けているで「精神的な負担が大きい」「障害に対する職場の理解が不足している」、精神障害者保健福祉手帳で「職場の人間関係」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	給与・工賃などの収入が少ない	通勤が大変	身体的な負担が大きい	精神的な負担が大きい	障害に対する職場の理解が不足している	職場の人間関係	仕事が自分には合わない	その他	特に困っていることはない	無回答
全 体	310	32.3	19.0	14.5	20.0	6.8	15.2	5.2	4.2	30.0	3.9
身体障害者手帳	94	23.4	23.4	11.7	8.5	3.2	9.6	1.1	7.4	38.3	6.4
愛の手帳（療育手帳）	62	48.4	19.4	4.8	6.5	3.2	12.9	1.6	6.5	24.2	4.8
精神障害者保健福祉手帳	78	39.7	21.8	17.9	35.9	17.9	25.6	11.5	5.1	15.4	1.3
発達障害の診断を受けている	15	33.3	13.3	6.7	46.7	26.7	13.3	6.7	6.7	6.7	0.0
自立支援医療（精神通院医療）を受けている	93	36.6	21.5	19.4	37.6	10.8	21.5	10.8	2.2	22.6	0.0
難病又は小児慢性特定疾病の認定を受けている	55	23.6	14.5	25.5	23.6	5.5	12.7	1.8	1.8	32.7	1.8
その他	4	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0

問 41 で「福祉的就労をしている（福祉作業所など）」、「福祉的就労以外の通所施設に通っている」に○をつけた方にお聞きします。

問 41－2 日中活動終了後、どのように過ごしていますか。また、どのように過ごしたいですか。自由にご記入ください。

全体で 61 件の意見がありました。

No	内容	件数
1	余暇活動・休息	24 件
1	自宅で過ごす	18 件
4	家事等をして過ごす	7 件
5	グループホームで過ごす	7 件
6	その他	5 件

余暇活動・休息

ゆっくりしたい
何も出来ない。休みたい
寝る（同内容ほか 1 件）
疲れるので横になる
活動終了後に仮眠をとっています。休憩がとれる場所で静かにすごしたいです
会社の休める場所にとどまるなどして元気が戻るのを待つ、独りで静かにしたい
ゆっくりと過ごしたい
家で TV を見たりして、翌日の仕事のためにゆっくり休む
仕事の事を考えない様にゆっくりしている
セルフケアのため、音楽を聴いてる。
休みの日は、きぶんでんかんをでかけるようにしたい
ほぼ部屋の中で TV を見て居る
気軽に行ける場所で気にしないで話せる人とがいるといい
自宅で楽器練習を行っている
買い物、自宅で過ごす。行きたい所にアクティブに行けるようになりたい、趣味活動もしたい
動画を見たり、配信をしたりして過ごしています
（月）居宅介護サービス、（木）青年余暇活動施設、隔週（火）ダンスサークル、月 2 回映像体験、月 1 回祖父宅訪問、年 3 回家族旅行それ以外は自宅
スポーツ観戦
夜仕事が終われば食事に帰宅、余暇を楽しむ。朝仕事が終われば食事や散歩を楽しむ
自宅で過ごすことが多いが、親と散歩したり、外食したり、イベントがあると、一緒に行ったりしている
無料でのコンサートをさがして行っている。月 1 回くらい行く。よく歩くことを毎日している
デイサービスから帰ってからは家でテレビを観て過ごしている
なるべく外に出て町を歩くようにしています

自宅で過ごす

家でテレビを見ています
家にいたい（同内容ほか1件）
家で体をやすめる
家
家で家族と過ごしている。車椅子とベッド間の移動は家族が、食事は家族と共に摂る。訪問リハビリと訪問看護を受けている。自室のテレビを見る
週3回午前中の通所リハビリでお世話になっています1人では活動出来ないし介助者が高齢者なのでほとんど家に居るより方法はない
自宅で過ごしている
自宅でゆっくりする
自宅でノンビリと過ごす（同内容ほか1件）
自宅にまっすぐ帰っています自宅
自宅
自宅で体を休めて、ゆっくり過ごしている。たまに長時間街歩きをしたりしたい
1秒でも早く自宅に帰りたいので直帰している。自宅で1人になる時間を作ってほとんどスマホを利用して過ごしている。今後なるべく1人になりたい
なるべく自宅で過ごしたい
自宅に帰る。人と関わるのがいやですが、年金だけだと生活ができないので、月に5～10日くらい働いているが、それ以外は、1日中家に居る
週4日間、パートで働いています。帰宅後、自宅での仕事をしています

家事等をして過ごす

子どものおむかえ、家事、育児
少しの買い物を含む家事手伝い
家事、家のこと
難聴ですが補聴器利用して98才の主人と生活しています。歩行器を使って買物もしていますが時々冷凍の弁当で食事しています
娘が仕事から帰宅するまで、孫の世話
子どものおむかえ、家事、育児
少しの買い物を含む家事手伝い。気軽に行ける場所で気にしないで話せる人とがいるといい

グループホームで過ごす

グループホームで過ごしたい
グループホームでテレビを観たり、ゲームをしたりして過ごしている
グループホームに戻りいつものルーティンワークをこなしている
所沢のグループホーム(ソーシャル、インクル荒幡)と言う所に入所しています。そこに居て(月～土)までしあわせの里と言う所からバスでおくり迎えしてくれてます(朝～夕方まで)
グループホームで過ごしたり、ガイドヘルパーさんとプールに行ったりしている
仕事が早く終わるので、グループホームに戻ってからや、休みの日はテレビかユーチューブばかり見ている支援を受けて、カラオケやカフェに行きたい
グループホームに帰り、居室で過ごしたり、仲間と過ごしたりしている

その他

特になし
自由に生活したい
今は仕事をしていない
もう少し工賃を上げてもらいたい
週4日9時から16時15分まで授産所で仕事をしている

問 41 で「福祉的就労以外の通所施設に通っている」、「自宅で家事や手伝いをしている」、「その他」に○をつけた方にお聞きします。

問 41－3 あなたが就労していない理由はなんですか。(あてはまるものすべてに○印)

「高齢だから」の割合が 44.7%と最も高く、次いで「障害や病気が重いから」の割合が 27.0%、「働くための知識や能力に自信がないから」、「通勤が困難だから」の割合が 12.7%となっています。

【年齢別】

年齢別にみると、年齢が下がるほど「自分に合った仕事が見つからないから」「働くための知識や能力に自信がないから」の割合が高く、「高齢だから」の割合が低くなっています。また、40～64 歳で「障害や病気が重いから」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	障害や病気が重いから	高齢だから	自分に合った仕事が見つからないから	希望に合った求人が見つからないから	働くための知識や能力に自信がないから	職場の障害理解に不安があるから	通勤が困難だから	仕事以外のことをしたいから	その他	わからない	無回答
全 体	237	27.0	44.7	9.7	11.0	12.7	7.2	12.7	3.4	15.6	3.4	10.5
18～39歳	20	30.0	0.0	30.0	15.0	30.0	10.0	10.0	5.0	15.0	5.0	15.0
40～64歳	92	39.1	14.1	15.2	17.4	20.7	14.1	21.7	4.3	27.2	6.5	7.6
65歳以上	124	17.7	74.2	2.4	5.6	4.0	1.6	6.5	2.4	7.3	0.8	12.1

【手帳の種類・診断別】

手帳の種類・診断別にみると、愛の手帳（療育手帳）で「障害や病気が重いから」「働くための知識や能力に自信がないから」「職場の障害理解に不安があるから」、身体障害者手帳で「高齢だから」、精神障害者保健福祉手帳で「自分に合った仕事が見つからないから」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	障害や病気が重いから	高齢だから	自分に合った仕事が見つからないから	希望に合った求人が見つからないから	働くための知識や能力に自信がないから	職場の障害理解に不安があるから	通勤が困難だから	仕事以外のことをしたいから	その他	わからない	無回答
全 体	237	27.0	44.7	9.7	11.0	12.7	7.2	12.7	3.4	15.6	3.4	10.5
身体障害者手帳	117	23.9	59.8	3.4	5.1	7.7	6.0	11.1	3.4	10.3	3.4	12.0
愛の手帳（療育手帳）	12	50.0	0.0	16.7	16.7	33.3	25.0	16.7	8.3	16.7	8.3	16.7
精神障害者保健福祉手帳	58	41.4	15.5	22.4	17.2	24.1	12.1	17.2	5.2	20.7	6.9	8.6
発達障害の診断を受けている	9	44.4	0.0	44.4	22.2	55.6	33.3	33.3	22.2	33.3	0.0	22.2
自立支援医療（精神通院医療）を受けている	67	34.3	26.9	16.4	16.4	16.4	10.4	16.4	3.0	31.3	1.5	9.0
難病又は小児慢性特定疾病の認定を受けている	35	31.4	54.3	2.9	8.6	8.6	2.9	17.1	5.7	5.7	2.9	2.9
その他	3	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0

全ての方にお聞きします

問 42 あなたは、就労していくためには、どのような支援が必要だと思いますか。（あてはまるものすべてに○印）

「障害や病気などに応じた柔軟な勤務体制」の割合が 34.7%と最も高く、次いで「仕事探しから就労までの総合的な相談支援」の割合が 34.5%、「障害の特性にあった職業・雇用の拡大」の割合が 30.1%となっています。

【年齢別】

年齢別にみると、年齢が下がるほど「仕事探しから就労までの総合的な相談支援」「働くための知識や能力を身につけるための訓練」「職場を理解するための就労体験」「障害の特性にあった職業・雇用の拡大」「障害に対する理解を深めるための職場への働きかけ」「職場のバリアフリー化」「障害や病気などに応じた柔軟な勤務体制」「ジョブコーチや介助者が職場に定着し、支援を受けられる環境」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	仕事探しから就労までの総合的な相談支援	働くための知識や能力を身につけるための訓練	職場を理解するための就労体験	障害の特性にあった職業・雇用の拡大	障害に対する理解を深めるための職場への働きかけ	職場のバリアフリー化	障害や病気などに応じた柔軟な勤務体制	ジョブコーチや介助者が職場に定着し、支援を受けられる環境	その他	無回答
全 体	960	34.5	22.1	12.7	30.1	21.3	12.1	34.7	10.8	11.5	27.5
18～39歳	136	58.8	36.8	25.0	51.5	33.1	14.7	55.1	22.1	13.2	4.4
40～64歳	343	39.7	26.5	17.5	35.6	28.0	13.1	43.4	11.4	10.2	16.0
65歳以上	468	23.9	14.3	5.6	19.9	12.4	10.5	22.4	7.3	11.8	42.7

【手帳の種類・診断別】

手帳の種類・診断別にみると、発達障害の診断を受けているで「仕事探しから就労までの総合的な相談支援」「働くための知識や能力を身につけるための訓練」「職場を理解するための就労体験」「障害の特性にあった職業・雇用の拡大」「障害に対する理解を深めるための職場への働きかけ」「障害や病気などに応じた柔軟な勤務体制」、愛の手帳（療育手帳）、発達障害の診断を受けているで「ジョブコーチや介助者が職場に定着し、支援を受けられる環境」の割合が高くなっています。

単位：％

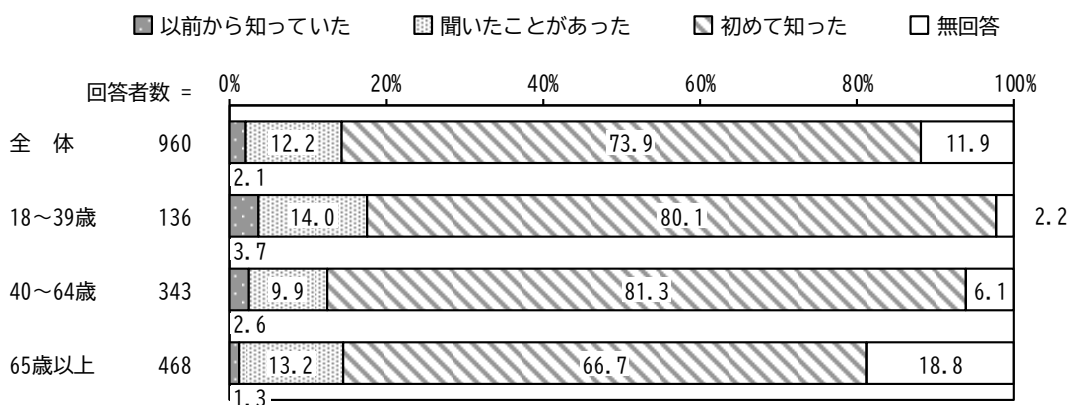
区分	回答者数（件）	仕事探しから就労までの総合的な相談支援	働くための知識や能力を身につけるための訓練	職場を理解するための就労体験	障害の特性にあった職業・雇用の拡大	障害に対する理解を深めるための職場への働きかけ	職場のバリアフリー化	障害や病気などに応じた柔軟な勤務体制	ジョブコーチや介助者が職場に定着し、支援を受けられる環境	その他	無回答
全 体	960	34.5	22.1	12.7	30.1	21.3	12.1	34.7	10.8	11.5	27.5
身体障害者手帳	485	25.6	14.8	6.2	24.7	16.5	13.8	28.0	7.6	13.2	35.7
愛の手帳（療育手帳）	96	42.7	28.1	26.0	47.9	33.3	14.6	35.4	28.1	13.5	14.6
精神障害者保健福祉手帳	190	46.8	33.7	22.1	44.7	31.6	9.5	50.0	17.4	12.1	15.3
発達障害の診断を受けている	29	65.5	58.6	37.9	62.1	55.2	10.3	72.4	31.0	17.2	0.0
自立支援医療（精神通院医療）を受けている	229	45.4	32.8	23.6	38.4	28.8	11.8	50.7	18.3	10.5	11.8
難病又は小児慢性特定疾病の認定を受けている	138	34.1	18.1	6.5	26.8	18.1	10.1	32.6	3.6	8.7	31.2
その他	15	46.7	6.7	6.7	20.0	6.7	6.7	0.0	26.7	6.7	33.3

問 43 令和7年10月1日から、障害者本人が就労先及び働き方についてより良い選択ができるよう、就労アセスメント（就労系サービスの利用意向がある障害者との協同による、就労ニーズの把握や能力・適正の評価及び就労開始後の配慮事項等の整理）の手法を活用して、本人の希望、就労能力、適性等に合った選択を支援する「就労選択支援」が創設されました。あなたは、「就労選択支援」について知っていますか。（○印は1つ）

「以前から知っていた」の割合が2.1%、「聞いたことがあった」の割合が12.2%、「初めて知った」の割合が73.9%となっています。

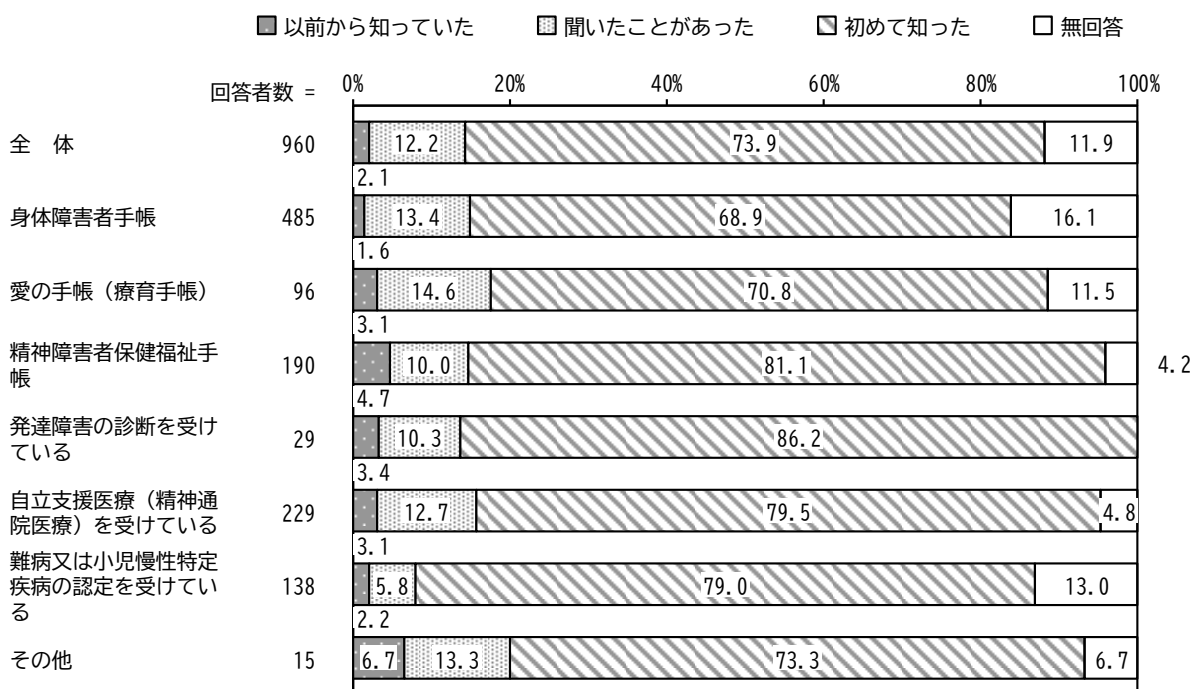
【年齢別】

年齢別にみると、18～39歳、40～64歳で「初めて知った」の割合が高くなっています。



【手帳の種類・診断別】

手帳の種類・診断別にみると、発達障害の診断を受けているで「初めて知った」の割合が高くなっています。

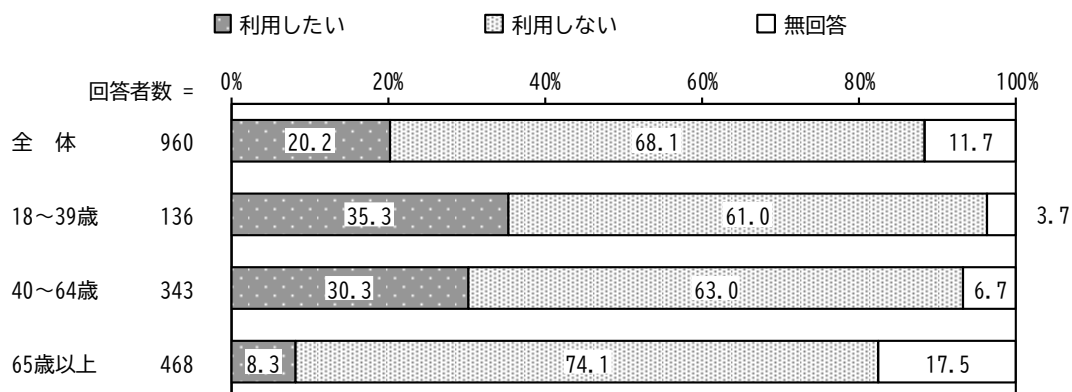


問 44 あなたは今後、就労選択支援を利用したいと思いますか。(○印は1つ)

「利用したい」の割合が 20.2%、「利用しない」の割合が 68.1%となっています。

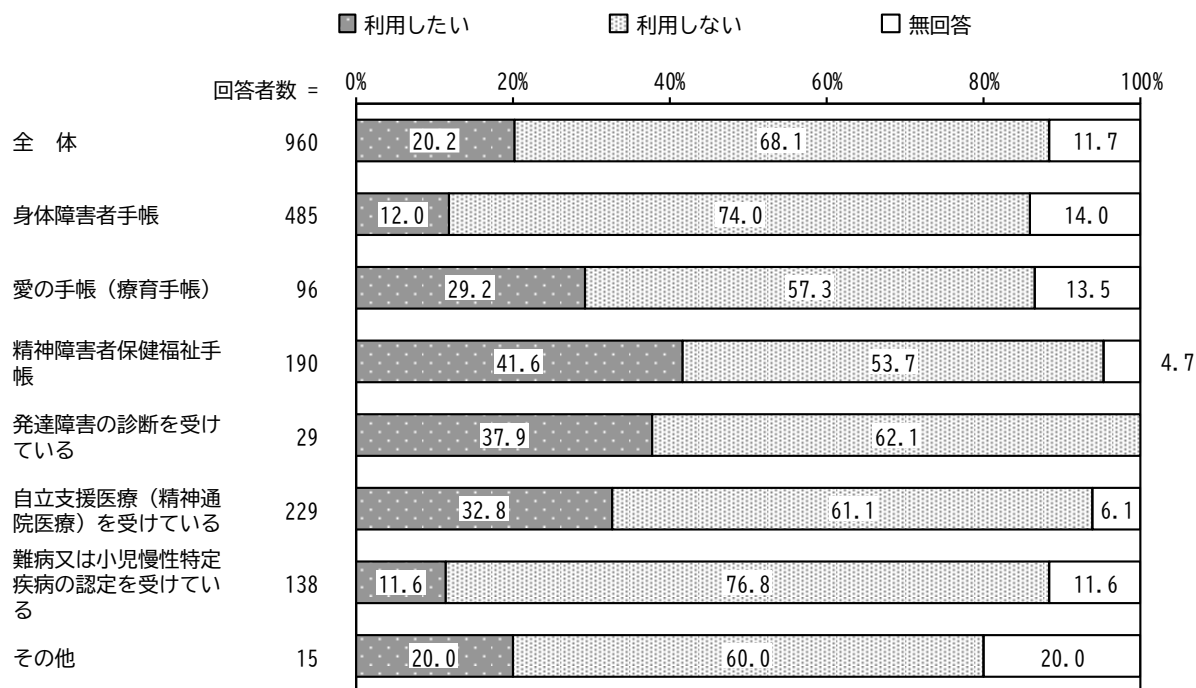
【年齢別】

年齢別にみると、年齢が上がるほど「利用しない」の割合が高くなっています。



【手帳の種類・診断別】

手帳の種類・診断別にみると、精神障害者保健福祉手帳で「利用したい」の割合が高くなっています。



東久留米市の障害福祉施策について

問 45 福祉に関する情報は、主にどこから得ていますか。(○印は3つまで)

「市や社会福祉協議会等の広報紙」の割合が 46.5%と最も高く、次いで「インターネット」の割合が 17.6%、「市や都の窓口」の割合が 15.6%となっています。

【年齢別】

年齢別にみると、年齢が上がるほど「市や社会福祉協議会等の広報紙」「テレビやラジオ」「新聞・雑誌」の割合が高く、「インターネット」の割合が低くなっています。また、18～39 歳で「家族・親戚」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	市や社会福祉協議 会等の広報紙	声の広報	テレビやラジオ	新聞・雑誌	インターネット	障害者団体	民生委員・児童委 員、身体・知的障害 者相談員	ホームヘルパー
全 体	960	46.5	1.1	8.6	8.1	17.6	1.6	2.0	3.1
18～39歳	136	36.8	0.7	5.1	2.2	33.8	3.7	1.5	0.0
40～64歳	343	43.4	0.9	7.0	4.1	25.1	2.6	1.7	1.7
65歳以上	468	51.5	1.3	10.9	12.8	7.5	0.2	2.4	5.1

区分	家族・親戚	友人・知人	医療機関	市や都の窓口	障害者の福祉施設	その他	情報は得られてい ない	無回答
全 体	10.4	6.9	15.0	15.6	6.7	2.9	11.0	9.0
18～39歳	21.3	10.3	20.6	17.6	14.0	4.4	9.6	2.2
40～64歳	8.5	5.5	18.1	14.3	8.5	2.3	14.6	5.5
65歳以上	9.0	6.8	11.1	15.8	3.4	3.0	8.8	13.5

【手帳の種類・診断別】

手帳の種類・診断別にみると、発達障害の診断を受けているで「インターネット」「家族・親戚」「友人・知人」「医療機関」、愛の手帳（療育手帳）で「障害者の福祉施設」の割合が、身体障害者手帳で「市や社会福祉協議会等の広報紙」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	市や社会福祉協議会等の 広報紙	声の広報	テレビやラジオ	新聞・雑誌	インターネット	障害者団体	民生委員・児童委員、身 体・知的障害者相談員	ホームヘルパー
全 体	960	46.5	1.1	8.6	8.1	17.6	1.6	2.0	3.1
身体障害者手帳	485	51.8	1.4	10.5	11.3	11.8	0.8	2.3	5.2
愛の手帳（療育手帳）	96	39.6	0.0	3.1	0.0	7.3	10.4	5.2	1.0
精神障害者保健福祉手帳	190	40.5	0.5	7.9	5.3	31.1	1.1	1.6	1.6
発達障害の診断を受けている	29	37.9	0.0	0.0	0.0	51.7	0.0	0.0	0.0
自立支援医療（精神通院医療）を受けている	229	41.9	1.3	8.7	5.2	31.0	1.7	1.3	2.2
難病又は小児慢性特定疾病の認定を受けている	138	43.5	0.7	8.0	6.5	16.7	0.0	1.4	1.4
その他	15	26.7	0.0	0.0	6.7	13.3	0.0	20.0	0.0

区分	家族・親戚	友人・知人	医療機関	市や都の窓口	障害者の福祉施設	その他	情報は得られていない	無回答
全 体	10.4	6.9	15.0	15.6	6.7	2.9	11.0	9.0
身体障害者手帳	9.9	6.4	11.1	16.3	6.2	3.5	9.3	9.9
愛の手帳（療育手帳）	14.6	8.3	5.2	19.8	30.2	1.0	10.4	8.3
精神障害者保健福祉手帳	11.1	9.5	24.2	18.9	7.9	4.2	9.5	4.7
発達障害の診断を受けている	20.7	20.7	27.6	13.8	10.3	6.9	10.3	6.9
自立支援医療（精神通院医療）を受けている	11.4	7.9	24.9	14.0	5.2	3.9	10.0	6.6
難病又は小児慢性特定疾病の認定を受けている	8.7	6.5	17.4	15.2	1.4	1.4	15.9	10.1
その他	0.0	0.0	6.7	33.3	0.0	6.7	13.3	20.0

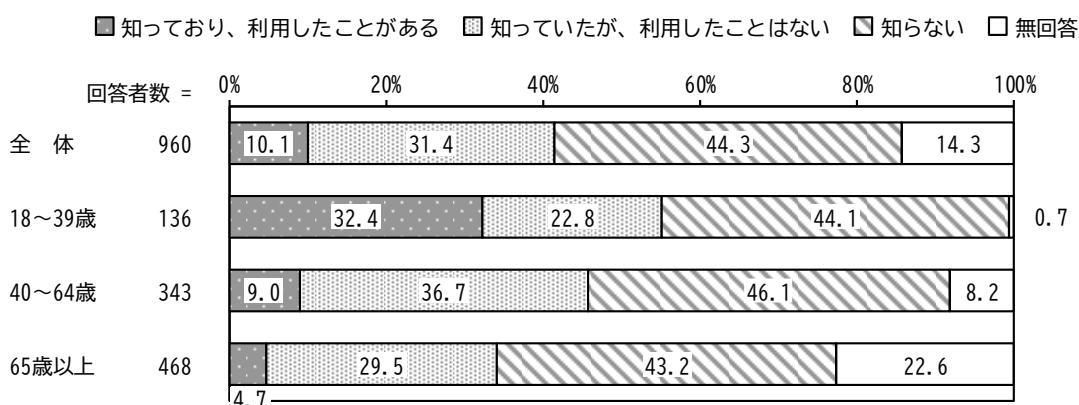
問 46 次の障害者（児）に関する市の相談窓口を知っていますか。また、それらを利用したことはありますか。（①～⑦までそれぞれに○印は1つ）

『④市役所内ワークコーナー（ハローワーク窓口）』で「知っており、利用したことがある」が、『⑥社会福祉協議会』で「知っていたが、利用したことはない」が、『⑤障害者虐待防止センター（市障害福祉課）』で「知らない」が高くなっています。

①さいわい福祉センター

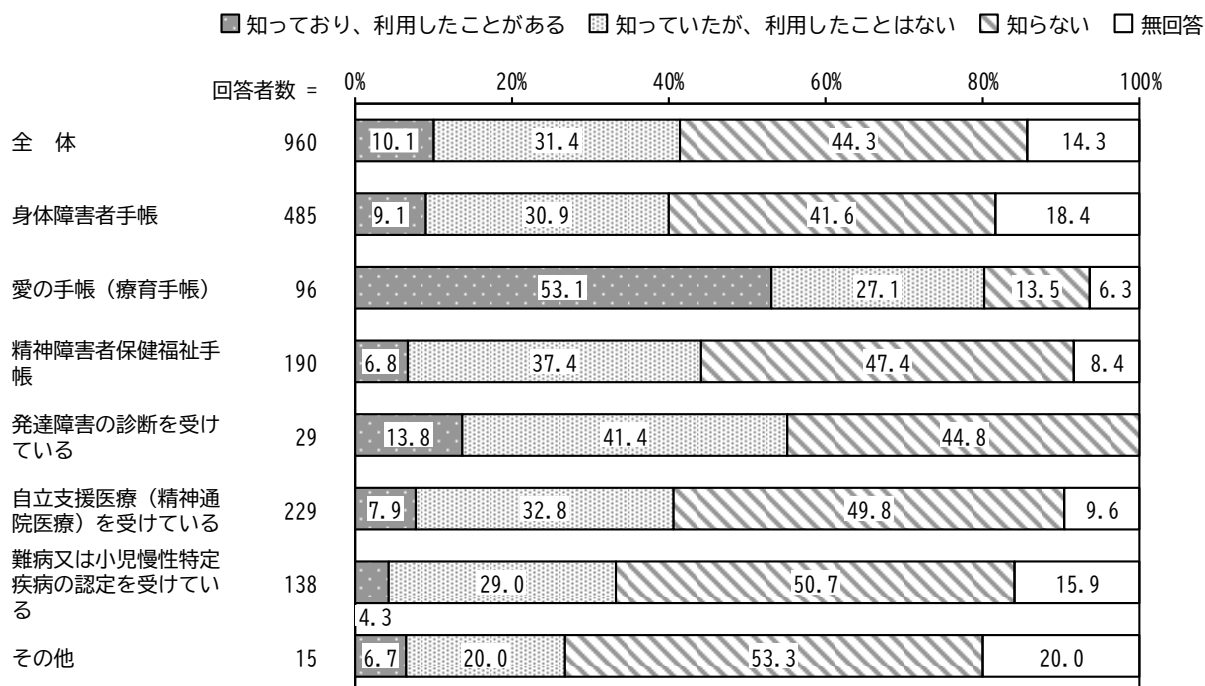
【年齢別】

年齢別にみると、年齢が下がるほど「知っており、利用したことがある」の割合が高くなっています。



【手帳の種類・診断別】

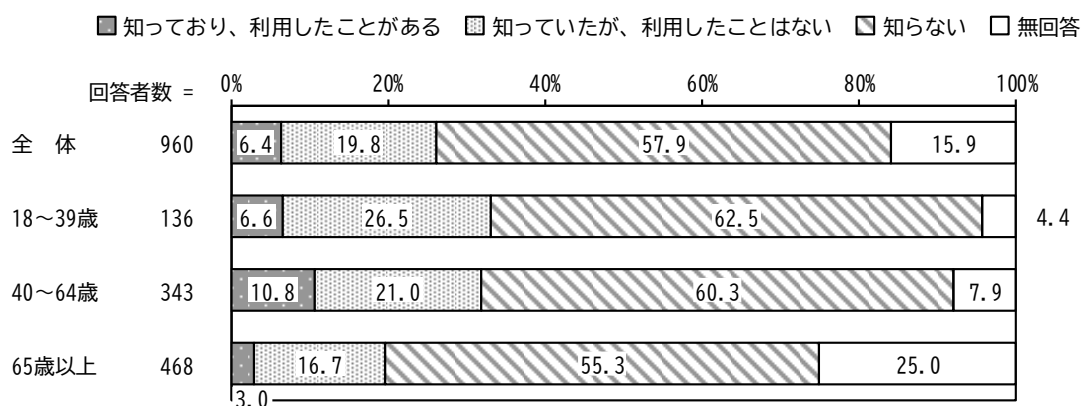
手帳の種類・診断別にみると、愛の手帳（療育手帳）で「知っており、利用したことがある」、発達障害の診断を受けているで「知っていたが、利用したことはない」の割合が高くなっています。



②地域生活支援センターめるくまーる

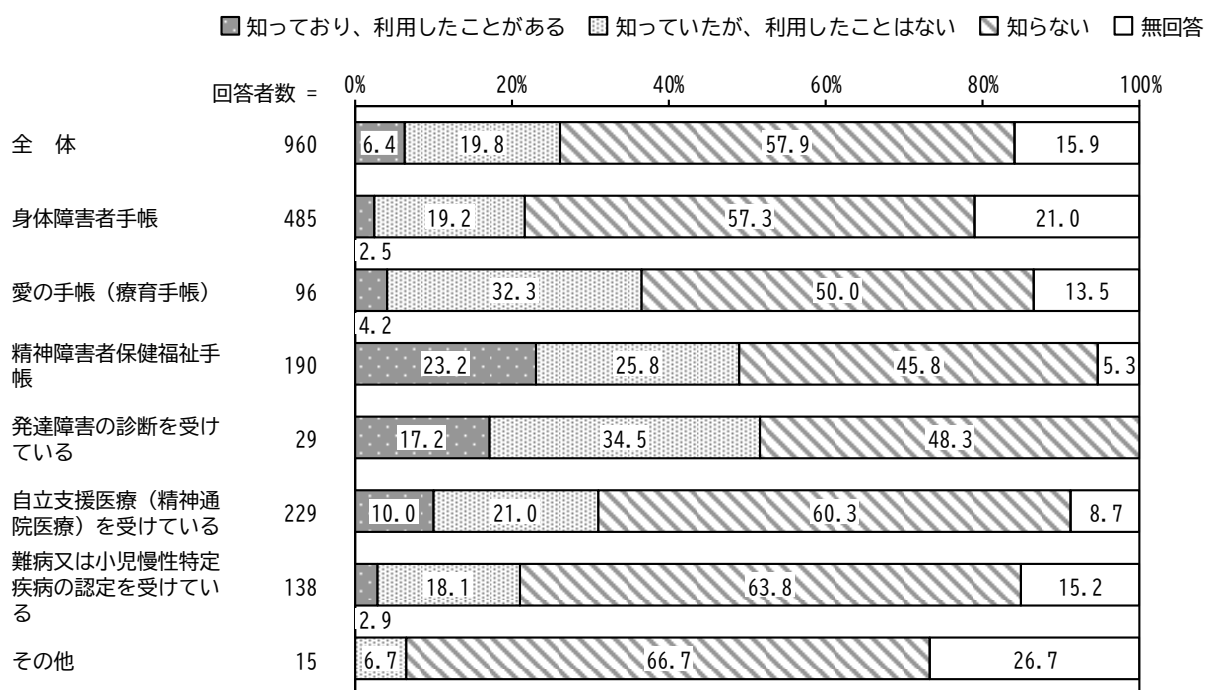
【年齢別】

年齢別にみると、年齢が下がるほど「知っていたが、利用したことはない」「知らない」の割合が高くなっています。



【手帳の種類・診断別】

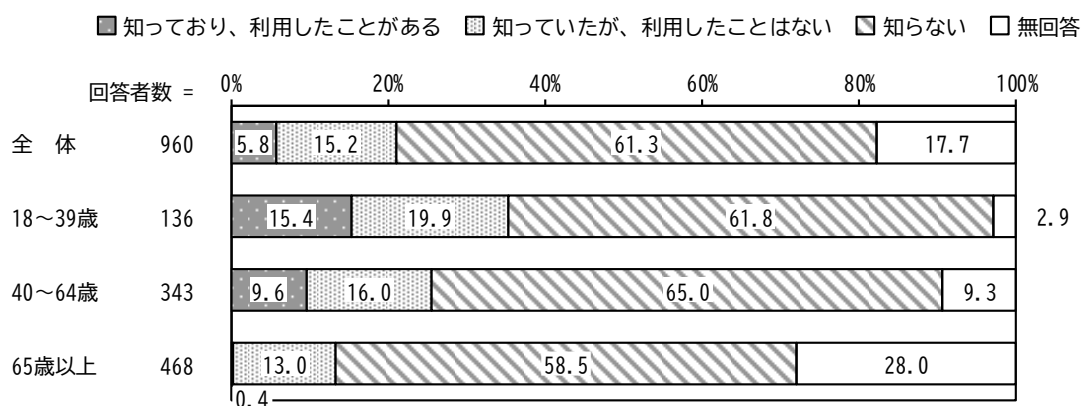
手帳の種類・診断別にみると、精神障害者保健福祉手帳で「知っており、利用したことがある」、愛の手帳（療育手帳）、発達障害の診断を受けているで「知っていたが、利用したことはない」の割合が高くなっています。



③障害者就労支援室「さいわい」「あおぞら」

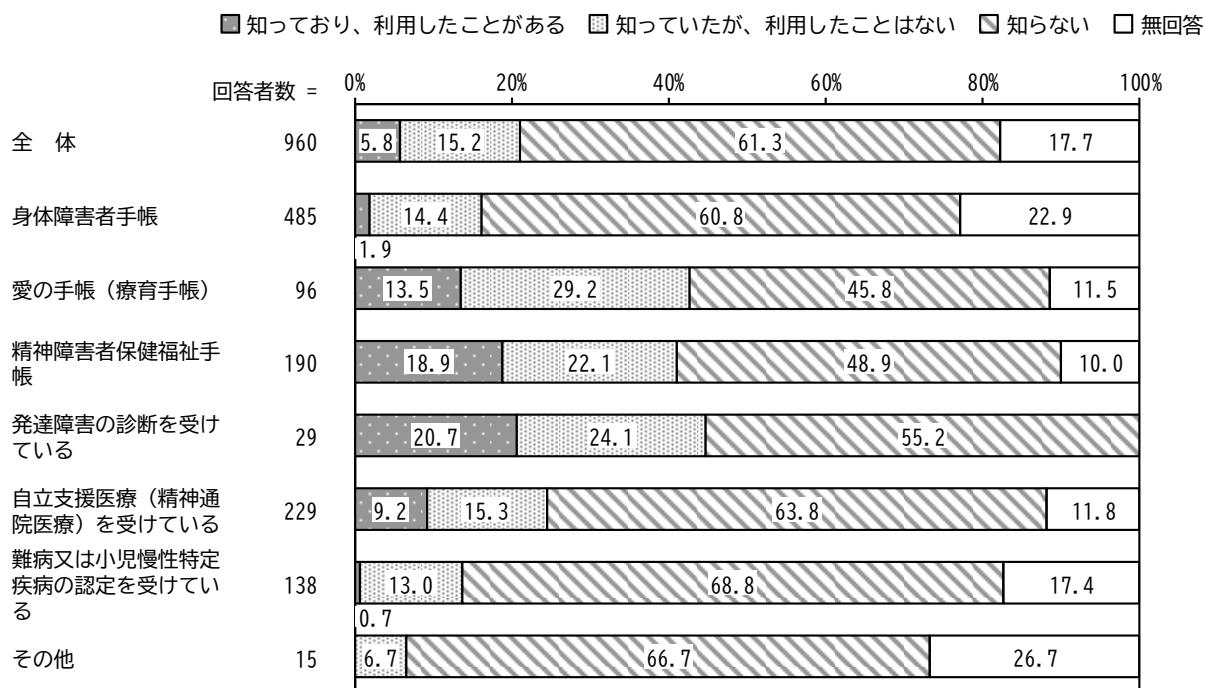
【年齢別】

年齢別にみると、年齢が下がるほど「知っており、利用したことがある」「知っていたが、利用したことはない」の割合が高くなっています。



【手帳の種類・診断別】

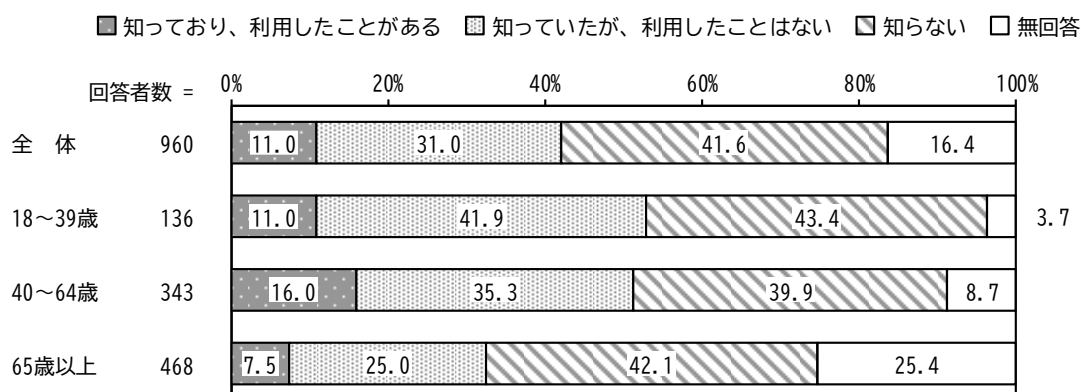
手帳の種類・診断別にみると、精神障害者保健福祉手帳、発達障害の診断を受けているで「知っており、利用したことがある」、愛の手帳（療育手帳）で「知っていたが、利用したことはない」の割合が高くなっています。



④市役所内ワークコーナー（ハローワーク窓口）

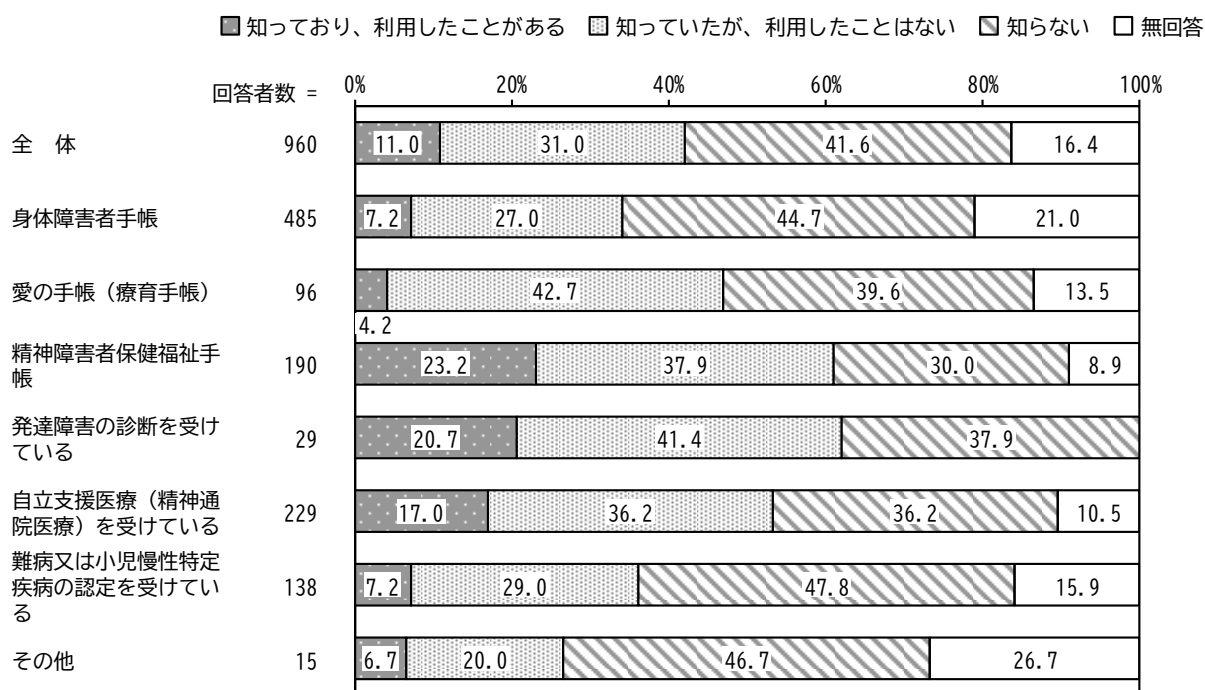
【年齢別】

年齢別にみると、年齢が下がるほど「知っていたが、利用したことはない」の割合が高くなっています。



【手帳の種類・診断別】

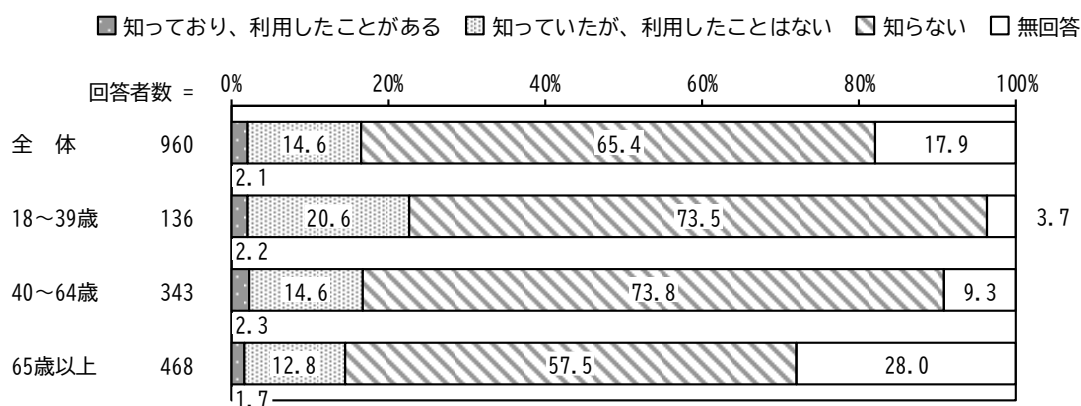
手帳の種類・診断別にみると、精神障害者保健福祉手帳で「知っており、利用したことがある」、愛の手帳（療育手帳）、発達障害の診断を受けているで「知っていたが、利用したことはない」の割合が高くなっています。



⑤障害者虐待防止センター（市障害福祉課）

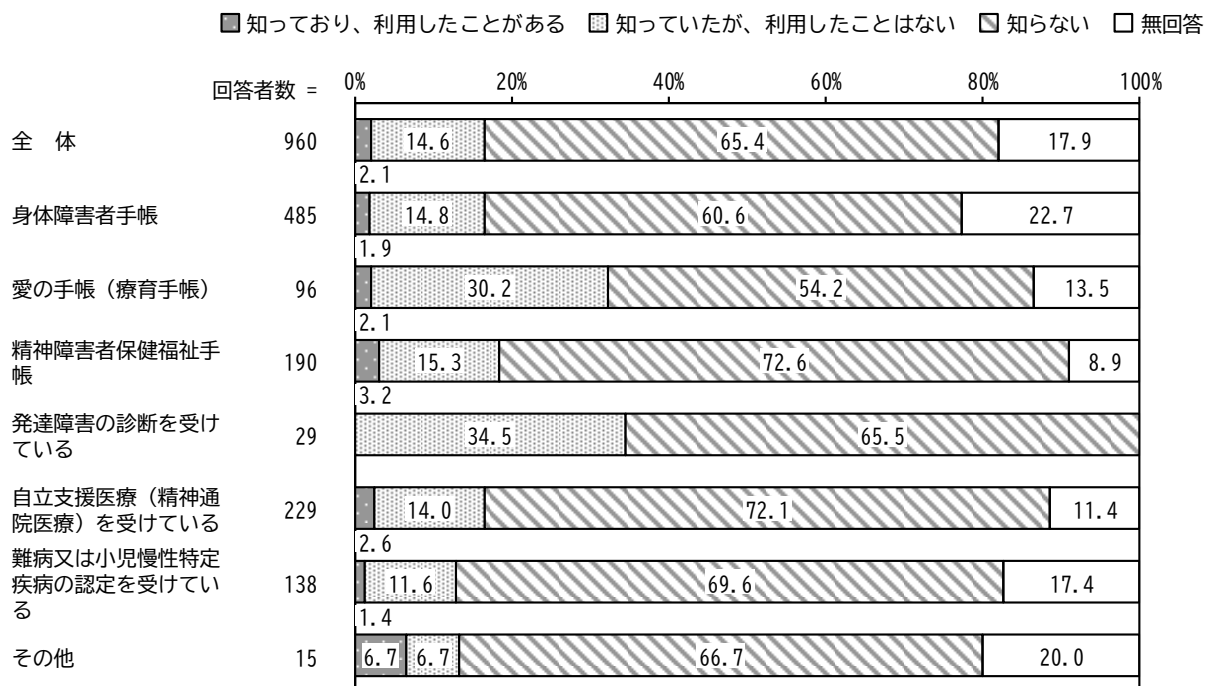
【年齢別】

年齢別にみると、年齢が下がるほど「知っていたが、利用したことはない」の割合が高くなっています。



【手帳の種類・診断別】

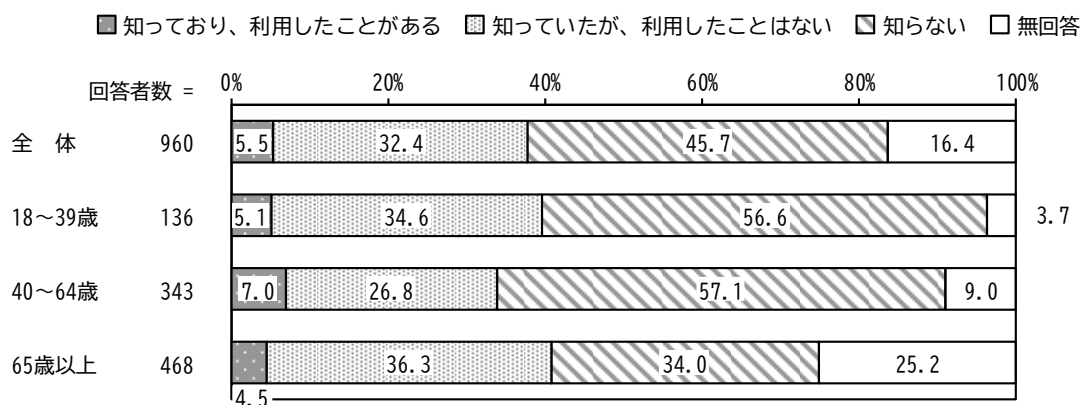
手帳の種類・診断別にみると、発達障害の診断を受けているで「知っていたが、利用したことはない」の割合が高く、愛の手帳（療育手帳）で「知らない」の割合が低くなっています。



⑥社会福祉協議会

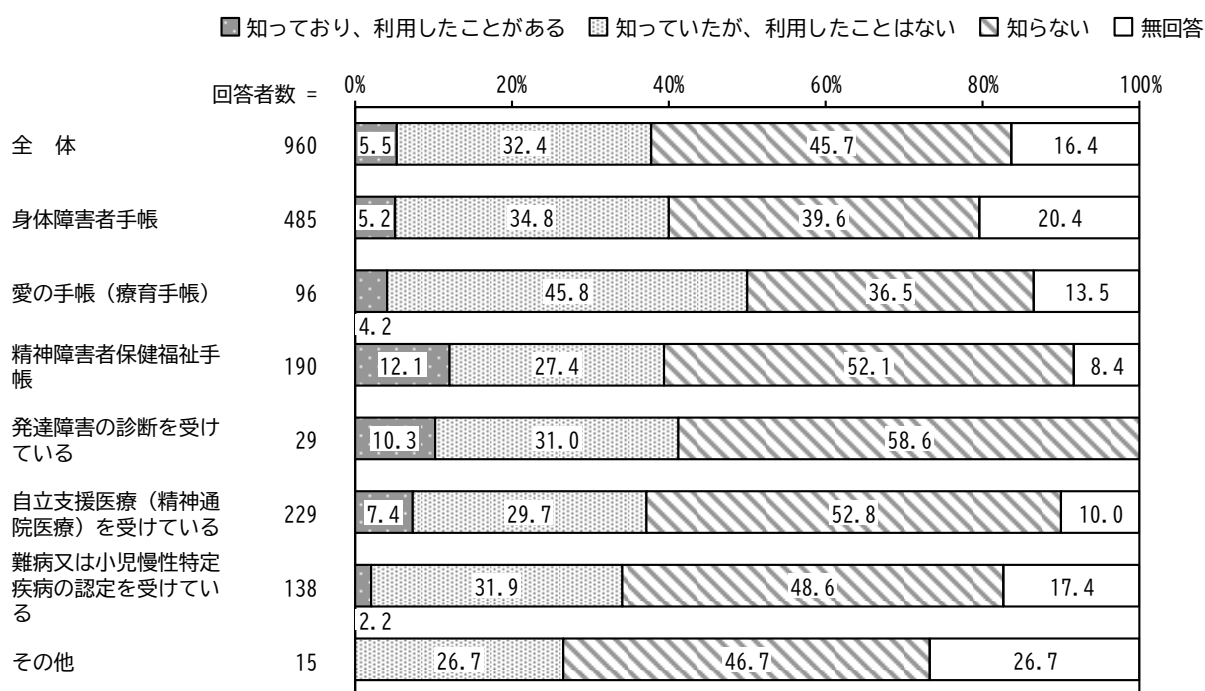
【年齢別】

年齢別にみると、18～39歳、40～64歳で「知らない」の割合が高くなっています。



【手帳の種類・診断別】

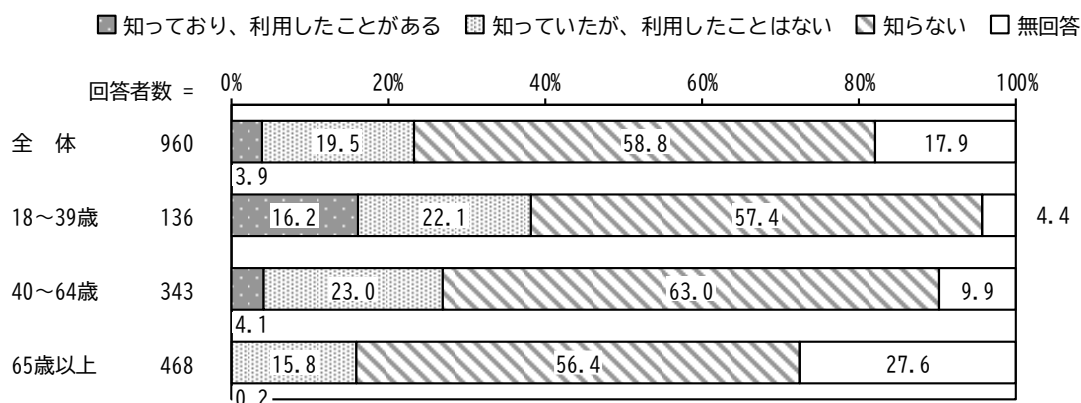
手帳の種類・診断別にみると、愛の手帳（療育手帳）で「知っていたが、利用したことはない」、発達障害の診断を受けているで「知らない」の割合が高くなっています。



⑦児童発達支援センターわかさ学園（児童）

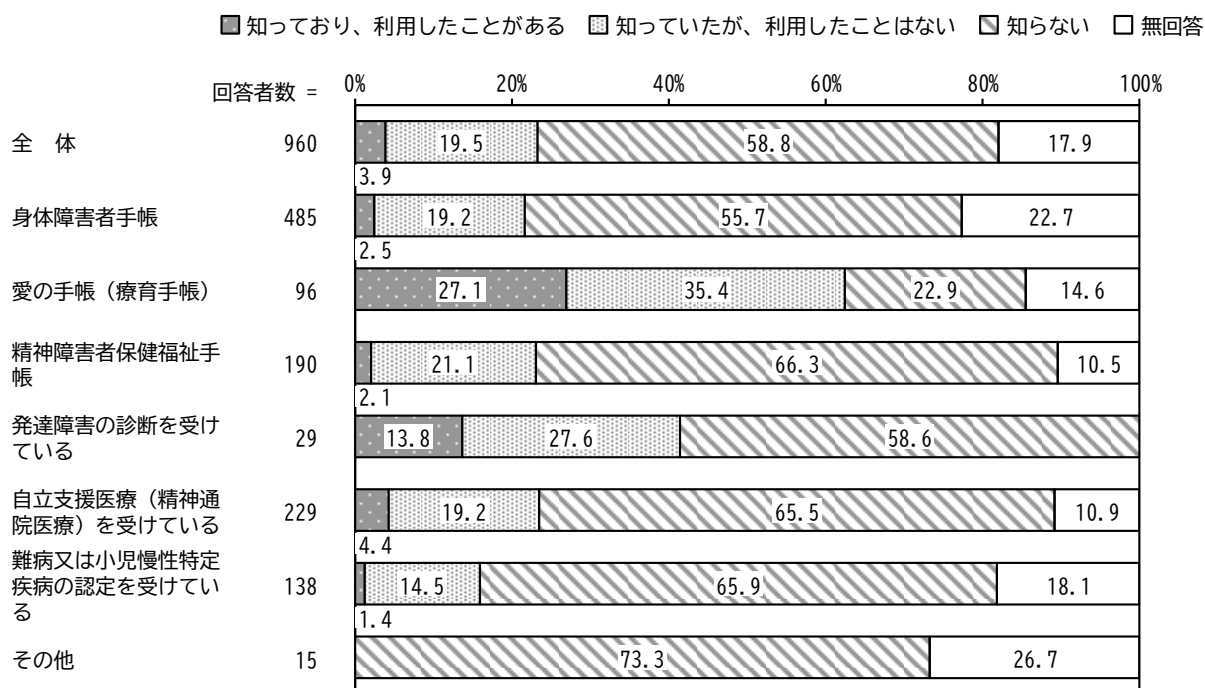
【年齢別】

年齢別にみると、年齢が下がるほど「知っており、利用したことがある」の割合が高くなっています。



【手帳の種類・診断別】

手帳の種類・診断別にみると、愛の手帳（療育手帳）で「知っており、利用したことがある」「知っていたが、利用したことはない」の割合が高くなっています。



問 47 あなたは、悩み事などを相談するときに、困り事や心配事がありますか。(あてはまるものすべてに○印)

「どこに問い合わせたらよいかわからない」の割合が 29.8%と最も高く、次いで「身近な場に相談するところがない」の割合が 12.8%となっています。

【年齢別】

年齢別にみると、年齢が下がるほど「どこに問い合わせたらよいかわからない」「身近な場に相談するところがない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	どこに問い合わせたら よいかわからない	身近な場に相談する ところがない	電話やFAXを使っ て情報収集や相談を することができない	インターネットを使 って情報収集や相談 をすることができない	点字版や音声コード 、録音テープなどによ る情報提供が少ない	相談先で、周りの方 に相談内容が聞こえ てしまう	その他	家族や知人に相談 したり、情報を得ら れるのに特に困っ ていない	無回答
全 体	960	29.8	12.8	4.7	7.9	0.9	3.5	5.3	44.6	13.2
18～39歳	136	39.7	20.6	8.8	9.6	0.7	5.1	8.1	38.2	6.6
40～64歳	343	34.4	16.0	2.3	5.2	0.6	5.0	6.4	43.4	8.5
65歳以上	468	23.7	7.7	5.3	9.4	1.3	1.9	3.8	47.6	18.6

【手帳の種類・診断別】

手帳の種類・診断別にみると、精神障害者保健福祉手帳、発達障害の診断を受けているで「どこに問い合わせたらよいかわからない」、発達障害の診断を受けているで「身近な場に相談するところがない」「相談先で、周りの方に相談内容が聞こえてしまう」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	どこに問い合わせたら よいかわからない	身近な場に相談する ところがない	電話やFAXを使っ て情報収集や相談を することができない	インターネットを使 って情報収集や相談 をすることができない	点字版や音声コード 、録音テープなどに よる情報提供が少な い	相談先で、周りの方 に相談内容が聞こえ てしまう	その他	家族や知人に相談 したり、情報を得ら れるのに特に困っ ていない	無回答
全 体	960	29.8	12.8	4.7	7.9	0.9	3.5	5.3	44.6	13.2
身体障害者手帳	485	24.3	8.9	6.2	8.5	1.4	2.5	4.5	47.4	17.3
愛の手帳（療育手帳）	96	29.2	11.5	8.3	9.4	0.0	4.2	6.3	44.8	12.5
精神障害者保健福祉手帳	190	42.6	23.7	4.2	8.4	0.5	7.9	10.5	32.1	5.3
発達障害の診断を受けている	29	41.4	34.5	0.0	3.4	0.0	13.8	6.9	37.9	3.4
自立支援医療（精神通院医療）を受けている	229	39.3	21.0	3.5	6.6	0.4	6.1	7.9	38.4	7.0
難病又は小児慢性特定疾病の認定を受けている	138	30.4	12.3	1.4	5.1	0.0	5.1	1.4	51.4	9.4
その他	15	26.7	0.0	0.0	0.0	0.0	6.7	6.7	33.3	33.3

問 48 今後、市行政で重点的に取り組むべきと思う施策は何ですか。(○印は3つまで)

「災害時の支援」の割合が 25.4%と最も高く、次いで「障害者の就労支援の充実」の割合が 21.6%、「在宅でも医療を受けられる体制づくり」の割合が 20.0%となっています。

【年齢別】

年齢別にみると、年齢が下がるほど「教育と福祉の連携を強めること」「成人期の余暇活動のための居場所づくり」「障害者の就労支援の充実」「グループホームの施設整備」の割合が高く、「在宅でも医療を受けられる体制づくり」「バリアフリーのまちづくり」「災害時の支援」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	児童の発達相談を 切れ目なく受けら れる体制づくり	特別支援教育のい つその充実	教育と福祉の連携 を強めること	障害児の放課後や 余暇活動の充実	成人期の余暇活動 のための居場所づ くり	障害者(児)への虐 待の予防・権利擁護	障害者の就労支援 の充実	障害児保育の充実 等による親の就労 支援	就労系事業所の定 員の拡大	重度の障害者(児) の日常活動の充実 と場所の確保
全 体	960	8.6	5.4	11.5	3.4	7.4	6.0	21.6	2.9	4.0	2.2
18～39歳	136	11.8	5.9	19.1	6.6	22.1	8.8	33.8	3.7	7.4	4.4
40～64歳	343	7.9	6.1	11.4	3.5	7.9	7.6	25.9	2.9	5.8	1.7
65歳以上	468	8.3	4.7	9.0	2.6	2.8	4.1	15.0	2.8	1.7	1.7

区分	在宅でも医療を受 けられる体制づく り	グループホームの 施設整備	バリアフリーのま ちづくり	障害特性に応じた 情報提供	相談支援体制の強 化	障害者(児)への理 解を深めるための 講習やイベント	研修等による支援 者やボランティア の育成	災害時の支援	その他	無回答
全 体	20.0	10.4	16.1	12.4	12.8	2.4	4.8	25.4	4.5	20.2
18～39歳	11.8	17.6	9.6	14.0	14.7	5.1	5.1	15.4	7.4	10.3
40～64歳	14.3	10.5	15.5	14.3	12.0	2.3	3.8	25.7	5.8	16.6
65歳以上	26.3	8.1	18.6	10.0	12.8	1.7	5.6	28.2	2.6	25.9

【手帳の種類・診断別】

手帳の種類・診断別にみると、愛の手帳（療育手帳）で「成人期の余暇活動のための居場所づくり」「グループホームの施設整備」、精神障害者保健福祉手帳で「障害者の就労支援の充実」、発達障害の診断を受けているで「障害特性に応じた情報提供」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	児童の発達相談を切れ目なく受けられる体制づくり	特別支援教育のいっそうの充実	教育と福祉の連携を強めること	障害児の放課後や余暇活動の充実	成人期の余暇活動のための居場所づくり	障害者（児）への虐待の予防・権利擁護	障害者の就労支援の充実	障害児保育の充実等による親の就労支援	就労系事業所の定員の拡大	重度の障害者（児）の日常活動の充実と場所の確保
全 体	960	8.6	5.4	11.5	3.4	7.4	6.0	21.6	2.9	4.0	2.2
身体障害者手帳	485	7.6	4.3	8.9	3.5	4.7	4.1	17.3	2.3	2.9	2.1
愛の手帳（療育手帳）	96	7.3	5.2	8.3	4.2	26.0	4.2	21.9	0.0	4.2	5.2
精神障害者保健福祉手帳	190	6.3	6.3	12.1	3.7	6.8	6.8	36.3	4.7	6.8	1.6
発達障害の診断を受けている	29	13.8	13.8	3.4	6.9	10.3	13.8	31.0	10.3	3.4	0.0
自立支援医療（精神通院医療）を受けている	229	10.5	8.7	16.6	3.9	8.7	9.2	27.1	3.1	3.9	1.7
難病又は小児慢性特定疾病の認定を受けている	138	10.9	5.1	11.6	2.2	7.2	7.2	16.7	5.8	5.1	2.2
その他	15	6.7	6.7	6.7	0.0	6.7	13.3	20.0	0.0	6.7	0.0

区分	在宅でも医療を受けられる体制づくり	グループホームの施設整備	バリアフリーのまちづくり	障害特性に応じた情報提供	相談支援体制の強化	講習やイベント	障害者（児）への理解を深めるための研修等による支援者やボランティアの育成	災害時の支援	その他	無回答
全 体	20.0	10.4	16.1	12.4	12.8	2.4	4.8	25.4	4.5	20.2
身体障害者手帳	24.9	9.3	21.4	12.0	12.4	1.9	3.7	28.7	3.1	22.7
愛の手帳（療育手帳）	9.4	40.6	8.3	13.5	8.3	1.0	6.3	21.9	6.3	20.8
精神障害者保健福祉手帳	11.1	5.8	7.9	15.8	12.6	5.8	2.1	19.5	8.4	16.8
発達障害の診断を受けている	3.4	3.4	0.0	24.1	17.2	6.9	0.0	13.8	24.1	20.7
自立支援医療（精神通院医療）を受けている	16.2	6.6	7.4	13.1	13.1	3.9	5.2	19.7	8.7	15.7
難病又は小児慢性特定疾病の認定を受けている	28.3	10.1	21.0	7.2	15.2	1.4	8.7	30.4	2.9	15.2
その他	6.7	6.7	13.3	0.0	13.3	0.0	0.0	13.3	6.7	46.7

東久留米市の障害福祉施策について、ご意見やご要望などがありましたら、自由にご記入ください。

全体で 141 件の意見がありました。

No	内容	件数
1	サービス基盤に関すること	27 件
2	経済的支援に関すること	26 件
3	相談支援に関すること	19 件
4	市政全般に関すること	16 件
5	アンケートに関すること	14 件
6	移動支援に関すること	8 件
7	情報提供に関すること	6 件
8	地域で暮らすためのバリアフリー化に関すること	6 件
9	就労に関すること	6 件
10	生きがいづくりに関すること	2 件
11	障害児への療育、特別支援教育に関すること	2 件
12	その他	9 件

相談支援に関すること

現在は、親（父）が介護しているので、あまり心配はないと思うが、父が病気になったり、死亡したらどうしていいかわからない。父も 76 才で高齢者なので、将来が不安である
どこかの作業所に入所したいが、どの様にすれば入所できるかわからない
成年後見制度は、どの様にするのか
必ずしも、家族、家庭で、支えあえるわけではなく、いろいろな事状があります。それらに対応して頂きたいです
人に自分の言いたい事が伝わらない。どう伝えるかわからない。今からスマホで何でもしないとイケない。私にはついていけない
高齢者のため、当アンケートのお役に立てない解答で申しわけありません。パーキンソン病に伴う認知症が進行して、家族としては、不安でいっぱいですが、そのような心配事を聞いていただける機関をお教えいただけると助かります。以前地域包括センターに相談したことがありますが、具体的な内容にしかお答えできませんとお断りされたので
あまり遠くに行けない為、最寄りに相談する施設があってほしいです
色々な事がむずかしすぎて、何をどうしていいかわからない
きびしい時に助けてもらえる制度がなくて、とてもくるしです。又、日本なのに日本人にはやさしくなく様にしか思えませんでした
障害者に対して、病状、みまわり、など相談出来る体制があれば
今は、夫の理解があり自分で出来ない事（買い物や洗たく、ゴミ出し等）が何とかなっていますが 1 人になってしまった時、どうしたら良いか分からなくなりそうで怖いです
高齢で足の障害がある。色々なサービスを受け様と思っても、近所に協力者がいないと受けられない
家族は離れた所に居住。知人等は、高齢になり頼めない。どうしたら
現在夫以外に頼れる人があらず、今後夫が先立つようなら一人で生きて行けないので自分も死ぬつもりです。買物依存症で借金も多く整理できていない。又その荷物も家中に散乱しており片付けられず放置したまま心身障害者福祉手当等申請も考えたが、社会保険では通らないことが多いと言われて断念。考えてもわからない

い。疲れるので病気になってからは深くあれこれ思い悩まないようにあえてしているが今後どうすればいいのか不安は続く
定年後の生活が心配です。うまく就労できても、ストレスがあったり、仕事上の事を聞いてもらえる場所があれば良い
障害者が、簡単に困り事を相談できる場所がもっとほしい
高齢でも元気な人はケアマネジャーがいないので高齢者が相談できる窓口や対応する人が必要だと思う
今後については親の高齢もあり、不安だらけです。福祉課にご相談することも今後増えていくと思います。よろしくお願いいたします
親の死後、安心して暮らしていける場所（施設）の充実と具体的に相談が進められる行政

サービス基盤に関すること

私の母が認知症で施設にお世話になったのですが、体中にまっ黒なアザがありました。障害者施設の職員の方が、やさしい人であることを、切に願うだけです
現在、一人親、30代の知的障害、行動障害のある子を入所施設でみてもらい、週末に自宅に帰り、余暇を母が担っています
母一人となり、高齢、健康問題をかかえて、親亡き後、親が倒れた後の子供の余暇を支援してくれるサービスが使えません。制度も人もいない状態です
施設では、園の中に入れっぱなし、人が足りません
入所後も親が担えなくなった後、週末余暇、公園や散歩に外出できるような支援サービスが利用できる制度や、施設の余暇充足をはかるとりくみをぜひともお願いしたいです。施設の中に入れっぱなしは可哀想です
障がい者の親が高齢になると、グループホームなどの施設に子供を預かってもらうしかない。だが、老人ホームと同様に、施設の質に差があることに不安を感じている保護者がたくさんいる。(数も少ない) 障がいの特性を正しく理解して対応することはとても大変なことなので、支援者の研修や育成に力を入れてくださることを望みます
現在、スポーツ、ヨガ等センター体育館等を少額で利用させていただき予防につとめております。御指導いただいている先生方には感謝しております。この様に多くの障害者福祉施策が有るのを知りませんでした。これからお世話になる事で知るのだと思いました。お世話にならない様頑張ります
今のグループホームの制度では、お昼を作ってもらえず、お弁当もつくってもらえず、重度のアレルギーの娘は入れません
それならば、在宅で、アレルギーに理解のあるヘルパーさん等の派遣をお願いしたいと思います
重度のアレルギーで、農薬、化学肥料のものが食べられません
オーガニックもほとんどだめで、肥料も使わない自然栽培のしか受け付けません。そういったアレルギーへの理解や、マクロビオティック等の食事に詳しいヘルパーさんがほしいです
障害については軽症な為特に重大な障害はないが、年齢を重ねるにつれ身体的に処々動けなくなっている。介護福祉の手厚い施策をお願いしたいと思います
私は 45 分の介護を受けております。一人で暮しておりますのでせめて1時間にしていただけませんか会話も元気が出ますので
体力が落ちてくるので自立訓練の機会を増やしてほしい、いろいろ世話になり有りがとうございます
現在はGホームを利用中です。明るい笑顔で、過ごしています
障害者が在宅で生活できるような、支援体制の強化をできるようお願いしたい
学校に通っている時は、放課後デイサービス等のサービスが充実していたが、卒業後はなくなってしまう。卒業後の居場所を作るために、卒業後のデイサービスのようなサービスをつくってほしい
いつもお世話になっております。息子がB型作業に通いながら、グループホームで生活をしています。多くの支援を受けて、働く喜びを感じながら充実した生活を送っており、今は満足しています。しかし、助けてくれるスタッフさんの高齢化や人員不足、親なき後の経済的な問題など、先を考えると不安ばかりです。愛の手帳を持っている人の医療費の無料化は絶対必要です。継続してOTやPTを受けることで、生活の質がかなりよくなります。親亡き後も安心して医療サービスを受けられるよう、市としても尽力して下さい。グループホームの設置スタッフの確保、就労する障害者の余暇活動についてもよろしくお願い致します

わが家は、53 年東久留米市に住んでいます。落合川、黒目川、そして冬には富士山の見えるこの町が大好きです。年をとったら東久留米市を離れて暮らす、ではなくずーとこの街に居られる。そのような入所施設ができれば、本当に親子して嬉しいです。是非お願いしたいと思います。宜しくお願いします
市内の生活介護定員がいっぱいで、市外に通う事になる
生活介護の福祉施設を増やしてほしい
グループホームを増やしてほしい。特に強度行動障害の方を受けいれてくれるグループホームが必要です
施設の増加（老人ホームの安い入居を特に希望）
公共の施設やヘルプをもっと手軽に利用したい。将来は生活保護など、必要な人に必要な特うけやすい様にして。ケアマネさんを増やしケアマネさん自身の負担もへらして、より細かなサービスを受けたい。ケアマネさんの知らないのも多いので、その為の指導、勉強も希望スル
ケースワーカーさんによって対応の質や親切さに差がありすぎます
手帳、自立支援は本当に助かっています。ありがとうございます。これからも、福祉 よろしくお願い致します
現在は家で生活に支障は無いが、将来的に在宅で医療を受けられたり、コミュニティバスなどで出かけられる様になってほしい

経済的支援に関すること

タクシー代を（年2回・2万円以内）いただけるのは、大変ありがたいのですが、先払いではなくタクシー券で支給いただける方が助かります。手持ちが少ない時タクシーを我慢して、バスを乗りついで病院等に行くことがあります。ご検討おねがいいたします
社会の迷惑にならないためにも、無条件のベーシックインカムを導入を希望。システムだと働けなくなったら、すぐにでも死んでほしいと言われているような気がします
日常生活用具給付等事業の支給額について、実態を調べて頂きたい。不足しているとの現状があります
“子そだて”は力を入れているみたいだけど“高齢者”にも手あつい支援をしてほしい。我々年金受給者はいろいろ高くなり（健康保険など）手もとにのこる年金は少なくなっている気がする
障害年金2級を受給しているが、ほぼ金額に満足している。しかし乍（なが）ら、物価高騰で、段々、金銭的に厳しくなっています。主人と息子（大学生→2年生）がいるので日々の生活が楽しいです。又、私の貯金が昨年から増えないので、節約も大変厳しいと感じています
2018年に実家の土地を売却し、その譲渡所得があったため、身体障害手帳・毎月4000円が支給打切りになったままです。もう大分年月が過ぎているので、そろそろ復活させて下さい。物価値上げで生活が困っておりますので
今の生活保護だけの収入だと、お金が足りない。年金も受給しているが、その分生活保護費から引かれるのは意味がわからない。年金を受給している意味がない
親ですが精神障害2級に手当をお願いしたい。他の障害で2級はほとんど手当てがあると思いますが精神2級にはなぜないのか…と思います
この先も自立支援医療がなくなることを願います
東京都の助成金を市の都合で支給停止にするのはやめて欲しい。生活する為の資金は少しでも多い方が良いので、お願いします
障害者のいる家族には特に高齢者が施設に入所するとお金がかかる 負担が大きく年金生活している人には大変きびしい生活になります
福祉課のご支援有難うございます。ペースメーカー保持者で難聴者です高齢者になり腰から足先へとケイレを起きて急に動けなくなることが多くなりケガして入院か施設にお世話にならなければならなくなった時98歳の主人も施設に入ることになったら年金では費用が足りなくなるのじゃないかと心配です。
どちらかというと高齢者や障害者への支援はきちんとしているか障害児に対しての手当や支援が少ないと思う
日常生活用具給付事業でストマケア用品を購入しています。率直に申し上げます。東久留米市の給付額は厚生労働省の基準そのまま、低すぎます。都内他の自治体は12000円ほどとなっています。住む場所が違っててもケア用品にかかる費用は変わりません個人差もあります。体系に合わせてパウチを選ぶので10枚4000円の商品でOKな人もいれば私のように8000円超のパウチは必要な人もいます。武蔵野赤十字病院のストマ外来では「中二日くらいでパウチを交換して」と指導されましたが、その頻度では給付額を軽く超えてしま

いパウチがダメになる限界まで入浴を制限せざるをえないのが日常です。ストマケア用品は全てナフサ由来であり、原料高からの値上げが予想されます。給付額を増やしてください
賃貸に住んでいますが、昨今の物価高などで、年金だけでは普通に生活するのが困難、住宅保護で4ヶ月に1度支払いされる額では、とうてい生活できません。もう少し額を上げて欲しい。70代で仕事を続けるのは、身体面でも無理がくると思う。なるべく人と関わるのがいやなのですが、生活の為にアルバイトしていますが、いつまで続けられるのか不安。不安障害もあるので、自宅から電車に乗って病院に行ったり、買い物するのが、困難な時もあるが、病院で処方された薬で頑張るしかない
呼吸機能障害、脳梗塞の為、一人では立ったり、座ったり、歩いたりする事が出来ません。ほとんどがベット上の為、おしめを使用しています。介護の為仕事が出来ません。現在は国民年金を受けていますが、介護費用とおしめ代が経済的に大変です。おしめ代の費用をひきあげてくれると大変たすかるのですが（テープ式だけではなくパットも、範囲にして頂けるとありがたいです。たくさん使用しますので）
いろいろとサービスを受けています。ありがとうございます
本人、家族の希望で家で暮らしたいと思います。介護者が88才の高齢のため、いつまでがんばれるか不安です
もちろんお金はありません。1日1日が勝負の毎日です
特養に入所したので手当がなくなる。経済的に苦しくなった
とりあえず金はなんぼあっても困らるので、金は用意して
補聴器やコルセット、風呂場、室内での補助用具をもっと安くしてほしい（現在の用具は高すぎる）
通院につきそう、ヘルパーなどの代金にも、介護保険適用で負担を軽くしてほしい。病院内で介護保険が使えないのは、おかしい
訪問リハビリ、非常時のナース登録なども公費で営業、安く掛けられたらもっと必要な利用を助けられるともうが
介護・用具などの安価を希望
通院のつきそいにも介護保険のてき用を（もっと安くしてほしい）

障害児への療育、特別支援教育に関すること

特別支援学校の教職員の現場の声も聞いて。どのくらい大変か？どういう支援が必要か？は市役所の人らも実際に介護（助）の仕事をやってみたらええと思うで。ヒヤリングだけやと分からんやろ
--

地域で暮らすためのバリアフリー化に関すること

ベンチ、を街中に増やして欲しい
医療施設に向かう時 駅を利用しますが、エレベーターはいつも混んでて、エスカレーターを昇降の2つがあれば助かります。因みに見たては、障害がないように見えるので、エレベーターを利用するには気が引けるので、降りるエスカレーターを早く設置していただきたいと思います
歩道の段差・車イスを押してわかるのですが歩行者用の道の傾斜 エレベーターの大きさ
街のバリアフリーをふやす
近所の歩道はとても狭く、雨の日傘をさしている時は、すれちがいなく、いつも車道におりている
この町はバリアフリーがちゃんとしているなあーと感じていて、良いことだと思います

就労に関すること

自立してほしいと言われても工賃が安すぎてそれだけでは生活ができません。働く量にもよるのだろうけど少しでも最低賃金がいただける様にがんばります
東久留米市役所では、障がい者雇用（特に会計年度）が導入されていないのが残念です。武蔵野市等ではR2年から実施している。東久留米市内での雇用が少なすぎてこまっている
40代より脳出血の後遺症で左手足のマヒ、しびれで職探しは特別な障害者の就労大会により2年前迄の大手スーパー内での職を得られました。但、70才になったシルバー世代での就労相談を市役所で話したところ、

働きたいの?!と云う感じで冗談扱いされた感じでした。年金だけでは家電がこわれた時購入困難な為、何とか自力で月々少しずつ手持ちに残したい思いからです
他の街を見てるとドライバーが減ったり外国人に運転させようとしてるので、今からドライバーの賃金上げて若い人雇った方がええで。送迎バスとか。待遇も良くしてね
介助・介護の仕事もめっちゃ賃金上げたら人来るで。間違っても補助金目当てで外国人雇うなよ。アイツら日本語読めん上に仕事増やすから。何なら治安悪くするで。※全ての外国人全員悪人・犯罪者でない事は分かっていますよ。
息子は、調理師の資格をとりましたが、使って働く場所がありません。地域で仕事をさせて頂ける、飲食店があれば良いと思いますし、ジョブコーチ的な方がいて下さると安心です

生きがいづくりに関すること

今のところ障害が重症ではないので美術館やコンサートとか無料で鑑賞できる時はうれしくたのしみのひとつです
成人の余暇を楽しめる活動する場やイベントが増えると良いと思います

移動支援に関すること

杖を使用しているのでクルブーの乗りおりが大変です
障害のある人は特に、学園町は、市役所が遠くて、交通手段が乏しく、非常に不便。ミニバスを早く通してほしい
我々老人は、車の免許を返納し、自転車にも乗るなど言われている（介護保険から）ので、とにかく「足」がない。デマンドバスは使い勝手が悪い。「満杯です。」と言われることが多い。など。是非巡回型のバスにしてほしい
通院にかかるタクシー代の援助は1万円×年に2回だが、それだと全く足りない。片道1回分にしかない。通院が多いとかなり困っている。もう少し額を増やして欲しい
「福祉タクシー」への要望 上期（4～9月）及び下期（10～3月）を合計して、年間2万円を支給してほしい。例えば、上期8千円の時は、残り2千円を下期に加えて下期は1万2千円とする。下期は年末年始でタクシーを使う機会が多く、下期だけで1万2千円～1万5千円ぐらいになるケースが多々ありますので
現在、市外のグループホームを利用しているが、たまに帰省の時は移動支援や行動援護を使いたい
介護タクシーの量をふやしてほしい
自宅からバス停まで歩行することも難しいです。近隣の場所に行くにもタクシー利用が常です。増々高額になり、補助があると助かります。囲りの方の様な、地域内を運航するコミュニティーバスがあればどれ程有難いかと、よく話しています。難題あると思いますが、是非希望するところです

情報提供に関すること

高齢で身寄りのない独居の方への支援をもっとお願いしたいと思っています。そういう方は市の支援等について情報が入って来ない等で障害がある、ないにかかわらず支援を知らない方有料だから結構ですと勘違いして利用できない方…随分いると思います。市はそんな方を把握していますか？是非ともそんな方へまず支援が届くようにしてあげて欲しいです
(心臓機能障害、腰部せきちゅう管狭窄症 要支援2 令和7/4/1～令和8/3/31)今現在日常的な生活は、食料品他、通院は主人の車でしてもらっています。又ゴミ出し、洗濯物は2階の干し場まで運んでもらっていますが食事の仕度など長時間立っているとだんだん大変になってきています。(主人も腰が悪く、障害者手帳持っています。車の免許は4月から3年の更新になりました)私は自宅での生活をもう少し何とかがんばるつもりです。もし施設に入所するようになってきた時、東久留米市は年金だけでは無理と聞いていますので、入所の条件、場所等の案内の情報があると便利かと思います
ケアマネジャーからの情報が少ない。もっと、福祉、障害者への行政サービス情報を適切に教えてほしい 今までも自力で調べ、やって来た。ケアマネが、事務的で、機能していない。もっと勉強してほしい、おしゃべりだけで帰ってしまう
私は87才要支援2です。あまりくわしくなにも知りません支援2はなりにをどこまでしていただけるのかわかりませんどんな事までしてくれるのかわかりません良いお知らせを行っています

現在、生活保護を受け乍ら、妻の介護を訪問介護（週3回）受けていますが年齢も夫（81才）妻（84才）どちらが先に逝った時の対処が定かではありません。最悪の時を想定した時に市の対処、指導がありません。高齢化社会に対し、市の方向性を明らかに願いたいと念じています。介護人（夫、81才）より
母親です。親亡きあと、どうなるんだろう？全て行政でとは思いませんがどうすれば良いのか情報がほしいです

市政全般に関すること

市行政はもっと色々な場を通じて、市民への認識に取り組むべきだと思います。よろしくお願い致します
自立支援の更新作業が年に1度はとても大変です。2年に1度かそれ以上にして頂きたいです。小山に住んでいます。市の運営するプールを近所（自転車10分以内）に作ってほしいです
市の障害福祉対策は、未だ未だ不十分で、未成熟と観ている。今後一層の充実と発展を要望します
出来れば個人を個人として見て話しを聞いていただけると幸いです
以前タクシー代の申請をした時、期日になっても振込がなく福祉課に行った所、レシートにミスがあった。その時担当の人が「家に何回も電話したんですよ」と言った。きちんとFAXと書いていたし家族は全員、聴障で呼び出し音すら聞こえないと伝えたが、文句言われただけだった。「福祉～」の申請の時、その人がどんな障害なのか調べないのかなあ？と思った。こちらにミスがあったら職員に怒られるのは理不尽だと思う
水際対策をやめてほしい。もう少し人間扱いをしてほしい。何度も精神的負担と金銭的負担をかけてくるのをやめてほしい
今回、障害者手帳の申請を行った際、発行まで3ヶ月以上かかった。もう少し早く発行される事を望む
役所に対して、土日祝も通常通りにやってほしい。市役所でのたらいまわしや、分らない（担当不在）などで時間を取られるのでイライラする
障害福祉の施策については満足していますが、横のつながりがあるのかということはきぐしています。二年前、障害者年金の申請（継続としての切り替え）書類を年金課に提出した際に、昼休み中なので受け取れないし、第一こちらでは受け取ることは出来ない（←これは間違っていますので）と当番の方に言われて、出直したことがあります。担当でないと全くわからないのかと絶望したことがあります。親が代理で出していて（何回も）突き返されたのは初めてでとてもびっくりしました。昼休み中に出した私もよくないのかとも思いますが改善を希望します（年金課に）
書類等、配布が遅い気がしています。ガソリン税免除申請用紙年4回分昨年末に申請した車いす修理が半年近くとどこうっている
職員を教育してほしい。こんなアンケートで何がわかるのか、よく考えてほしい
みなさんが親切にいやな顔もしないで書類提出を手使ってくれることに感謝していますありがとうございます
障害福祉課にはいつもお世話になっております。ありがとうございます。これからもお世話になると思いますのでよろしくお願いいたします
ちょっと話がちがうかもしれませんが、昨年の難病医療費受給の限度額が今までの4倍に上ってしまいました。二つあった病名も一つ減ってしまったにもかかわらず東京都に電話してもいつも話中でつながりません。どうすればいいのでしょうか一年間は仕方ないと思いますが、次年度も同じような事になったら困ります
“障害者”という文字を今も使用していることにおどろいています。アンケートの前にそのことから考えていただけたら幸いです
これは市役所に相談してもしょうがないのですが西武バスの運転手さん（人によりますが）が障害者手帳を提示して「お願いします」と言っても見てくれなかったり不機嫌そうに対応されて怖いです

アンケートに関すること

この度は私共障害者の為に、障害者施策に関するアンケート調査をして頂きありがとうございます。ご質問の種類にもびっくりしましたが知なったことを学びました。これからも、どうぞ宜しくお願い致します。ありがとうございました
アンケート内容がむずかしい。本人、介助者に大きな負担増
返信用封筒が小さい。精神科に通っていて自立支援を受けているだけなのに障害者扱いされるのは気分が悪い。アンケート対象を手帳所持者に絞るべきだ。
アンケートの量が多すぎる

回答してる途中から本人と介護者の区別がわからなくなり、返答が食い違ってるかもしれません
これは1人で暮らしてるアンケートなのですか？介護施設に入所しているので、書きようがないです。年齢が年なので今生きるか死のせとぎわなのです。年令をかくにんして出してください（このアンケート）
障害者が安心して生活できるサービスなど充実してほしいが、正直このようなアンケートに答えるのも負担になると思います。項目が多かったり、こまかすぎたりわかりづらい印象です。でもこのアンケートが必要なのも理解しますが
理解できませんでした
できるだけ頑張って記入しました
このアンケート用紙の返信用の封筒が小さい
私にとってこのアンケートは負担でした
平成 21 年（72 才）の時、身体障害 1 級と認定されましたが、80 才まで勤務しましたが障害発生せず、又退職後 9 年を過ぎていますが特に障害発生せず過してまいりました。今回アンケート調査に深入り出来ず申し訳ありません
年齢により福祉サービスに対する要望が異なるのでアンケートは 若者と高齢者は分けた方が答えやすいと思う
今回のアンケートに関しては、様々な障害者に対してのもので、量も多く、わかりにくい文章もいくつかあり、迷いました。それぞれの状態により、「問」に進めるものを増やしていただけると助かります

その他

お世話になっております。有難うございます
3 級と 4 級が同じな訳は？足の爪切りは？
情報をあつめていないので意見がわからない
あきらめず あせらず あわてず 笑顔で対応しましょう
毎夜 8：30～翌朝 7 時頃まで、機械音が続いて、もう半年（6 ヶ月以上）になるのに、止められないでいる。警察を何度か、呼んだことがあるのに…。小平の公社・公団は止められないでいる。キチント仕事をしてほしい。公務員という地位にあぐらをかいている、としか思えない。異状すぎると思いませんか
毎日有りがとう御座います。頑張ってください。宜しく御願い致します
自分のことは自分でやり、人様にめいわくをかけないように日々少しでも楽しくすごしていこうと思っています
いつもお世話になっております。地域でくらす事が大切だと思い今は親と兄弟と同居して作業所に通っています。本当は一人暮らしや、グループホームに行きたいのかなーとおもいつつ、一番本人にとって良いことは何だろうと思います。幸せに心ゆたかにくらししてほしいと願うばかりです
心房細動によるペースメーカー使用関節リウマチによる両上肢、下肢機能障害で車椅子(介護)使用特に困るのは病院等外出時におむつ(ホープレ型)交換する場所ベッドがない